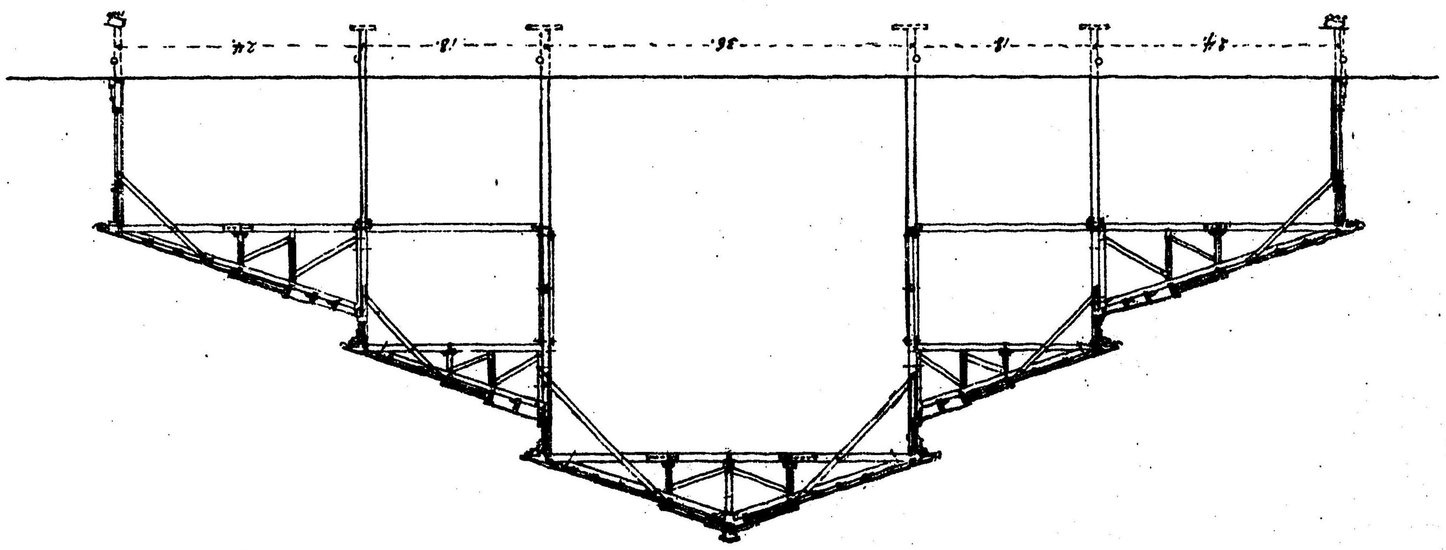
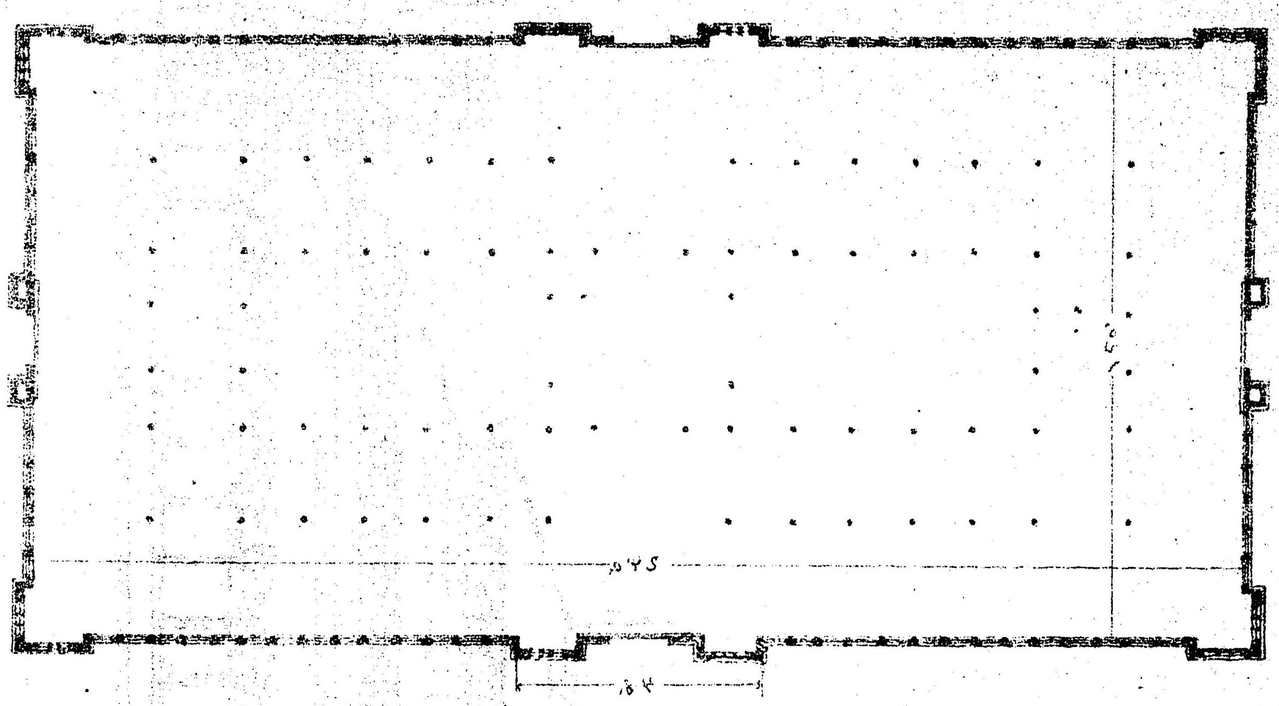
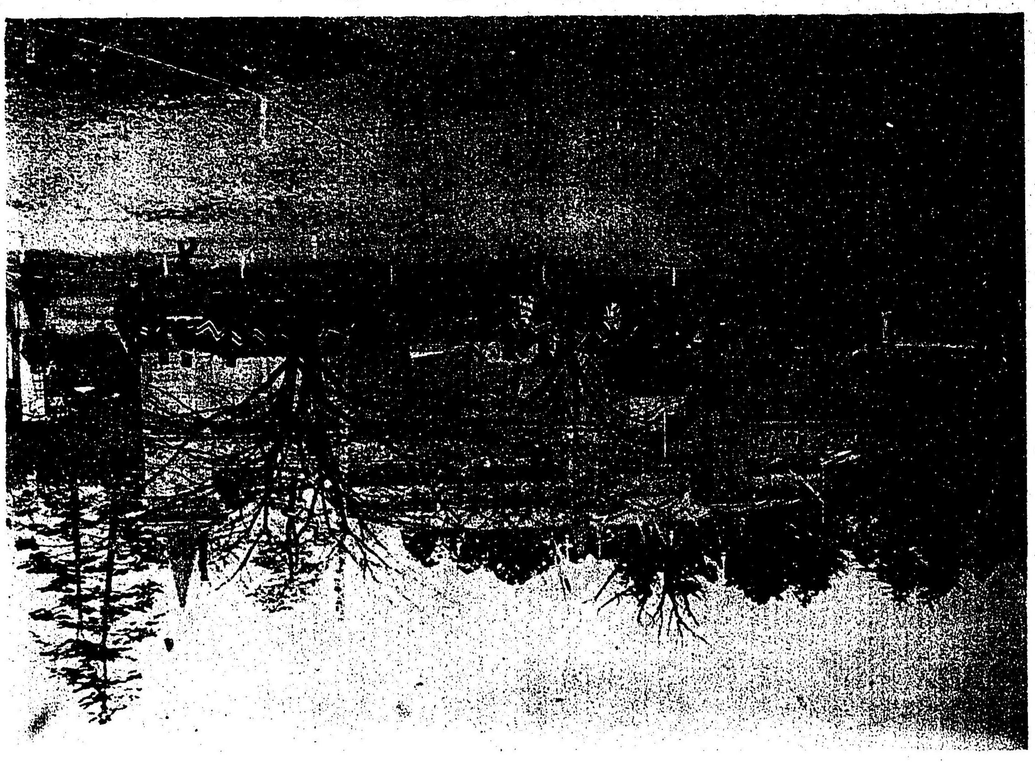


第參號前斷面
二百分之一

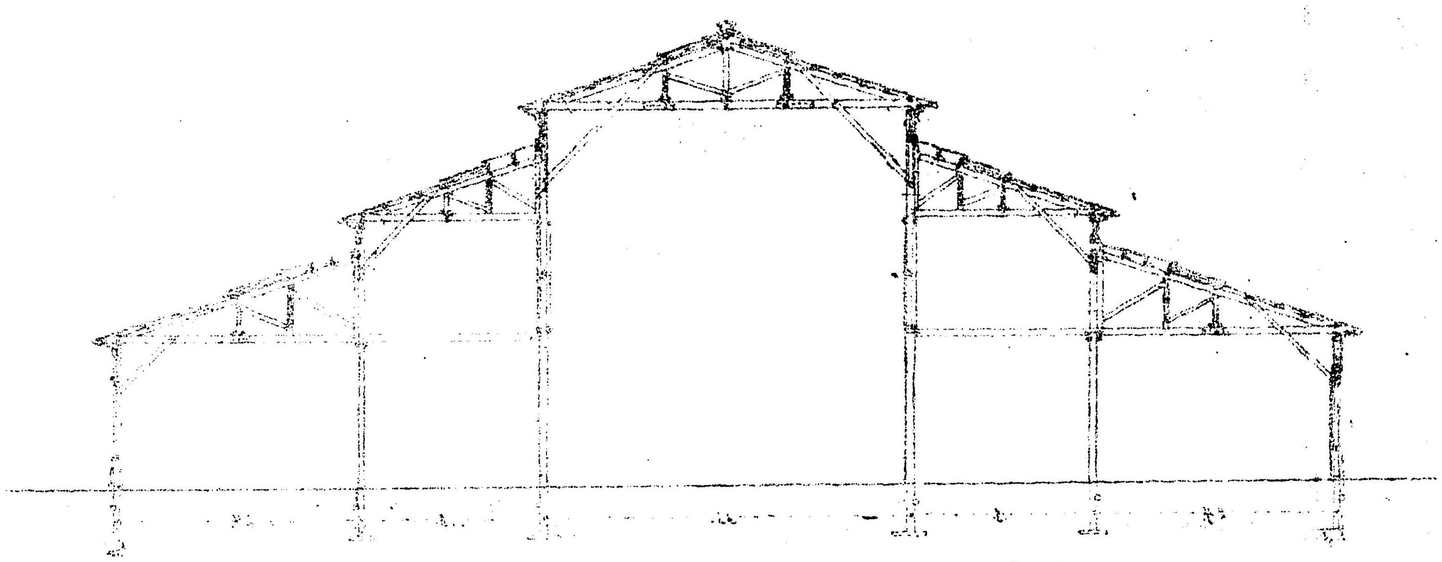


第參號前斷面
四百分之一

第四號前

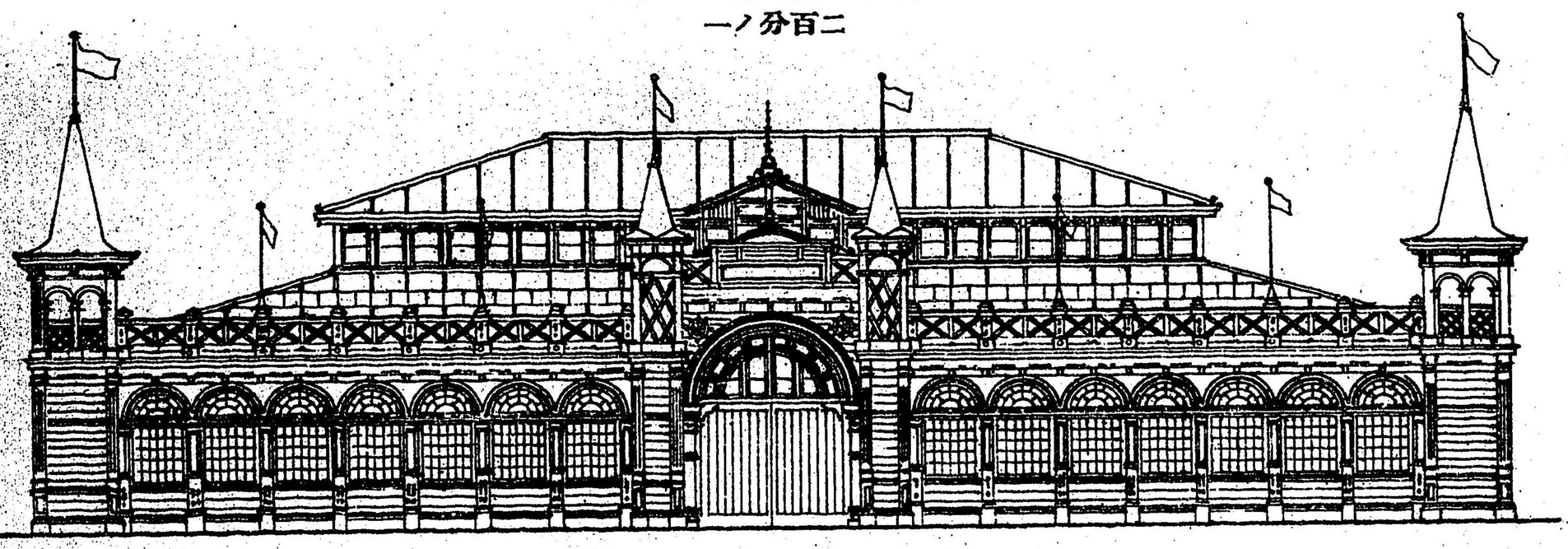


第四號前面



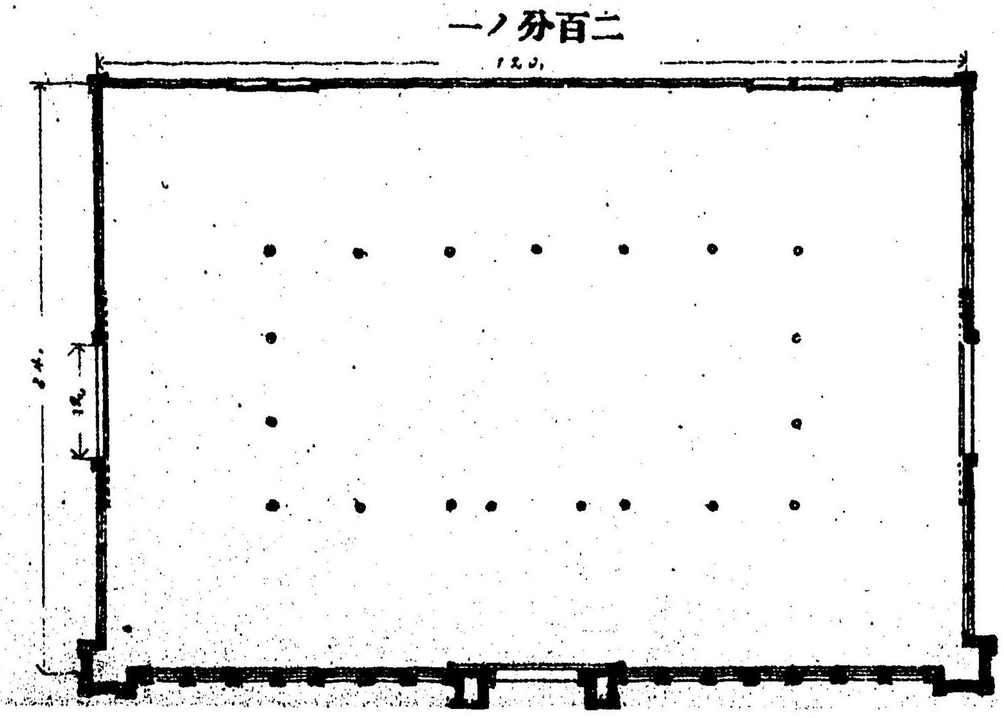
第四號館正面

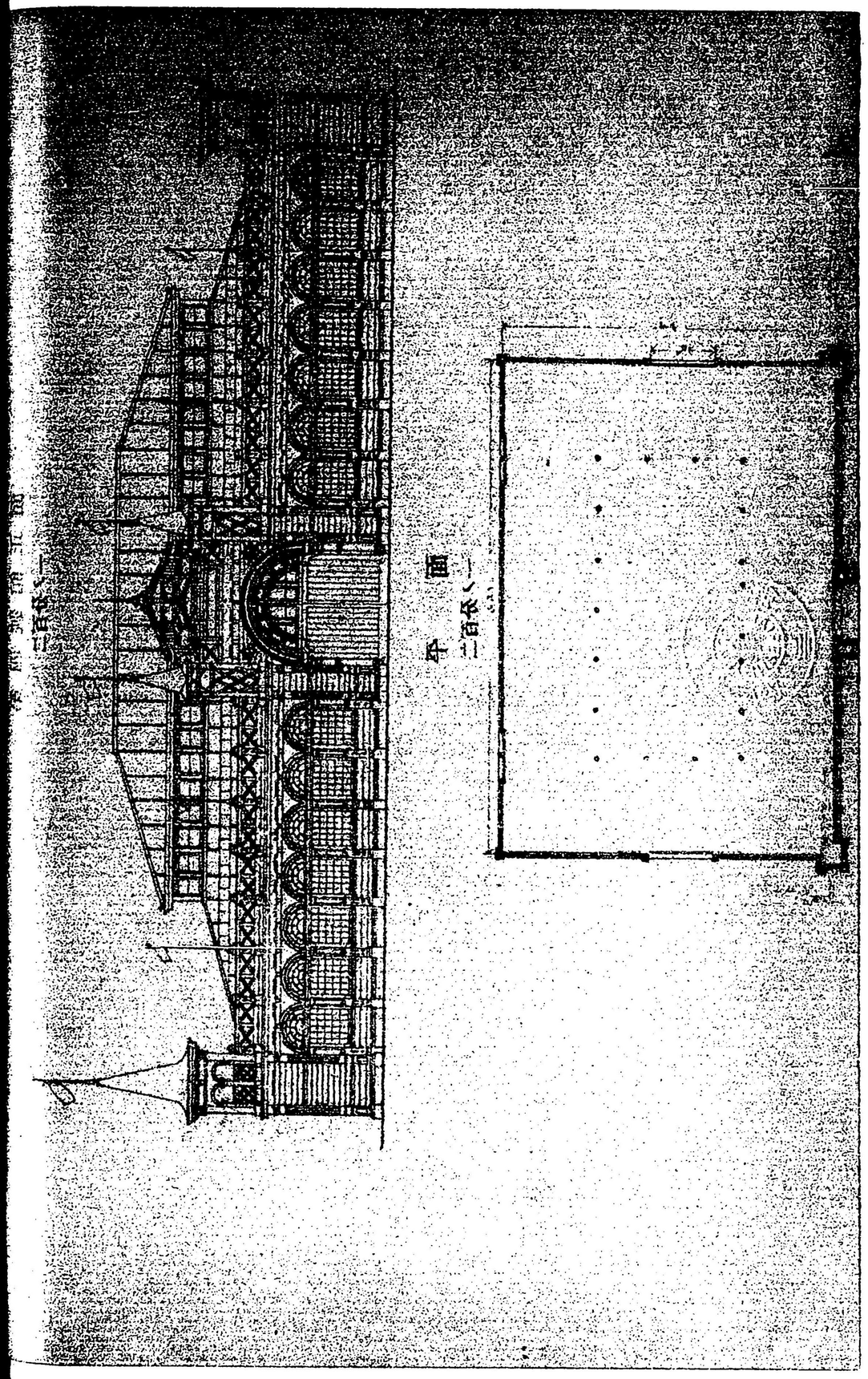
一ノ分百二



平面

一ノ分百二





配置ヲ計劃スルニ當リ陸海軍々器ノ出品ハ未定ニ屬シ縱令出品アルトスルモ重ニ大砲及砲彈類ナルヘキヲ以テ是等ハ各館ノ周圍又ハ中庭廣場等ニ分散陳列シ置クノ豫定ナリシニ開期ニ迫リタル三月前ニ至リ出品數モ略ホ定マリ屋内ニ陳列スヘキモノ多數ナリシヲ以テ急ニ建設スルニ決シタリ時既ニ極寒ニ際シ居ルヲ以テ成ル可ク木造トシ漆喰塗ヲ除クニ勉メタリ

其六　第五號館

第五號館ハ各館建築工事大ニ進捗シ重ナル各館ハ既ニ落成セルモノアルニ際シ俄ニ韓國ヨリ出陳ノ交渉アリテ更ニ一館ヲ建築スルノ必要ヲ生シ農商務省ノ出品ト共ニ陳列スルコトト爲シ急速起工セリ而シテ構造ハ「ズエーズ」式ニ法リ梁間四間桁行十三間前面突出部四間ニ四間總建坪六十八坪軒高十四尺八寸屋根「ラバロイド」葺其他各館ト大差ナシ

其七　美術館

美術館ハ「ローマンレネーサンス」式ニ據リ梁間十四間桁行四十五間四隅小塔家三間四方中央部前面出部梁間十四間桁行四間後面突出部ヲ合セテ總建坪七百四坪中央ハ大圓塔家トシ構造ハ總テ第一號館ト大差ナシ

其八　農業別館

農業別館ハ梁間三間桁行五間總建坪十五坪木造堀建造リニシテ軒高地盤ヨリ桁峠迄十尺四寸其構造ハ第五號館ニ等シ

其九　蔬菜館

蔬菜館ハ純和式ノ構造トシ梁間三間半桁行十四間前面突出部ヲ合シテ總建坪六十二坪五合軒高地盤ヨリ八尺構造ハ總テ田舍趣味ヲ帶フルモノトシ總テ皮付丸太類ヲ以テ結構シ屋根ハ「ラバロイド」葺竹押縁チヲ用ヒ外部ハ白壁塗リ腰板張リ內部ハ總テ塗壁トス

其十　動物舍

動物舍ノ內牛舍ハ梁間五間六分六厘桁行十六間六分五厘軒高七尺建坪九十四坪四合四勺四才木造平家堀建造リ屋根「ラバロイド」葺內部ハ中央ヲ牧夫ノ通路トシ其左右ニ牛繫場ヲ設ケ其ノ外方ヲ公衆ノ觀覽所ニ充テタリ外部ハ總テ「ペンキ」塗リトシ內部ハ胡粉塗リトセリ豚舍ハ位置ノ關係上ヨリ二棟ニ分チ卽チ一棟ハ梁間一間六分六厘桁行六間六分六厘一棟ハ梁間一間六分桁行十五間五分共ニ軒高七尺屋根「ラバロイド」葺外部「ペンキ」塗リトス附屬舍ハ裾場及牧夫詰所飼藁置場等ヨリ成リタル一棟ニシテ梁間三間桁行八間建坪二十四坪軒高地盤ヨリ桁峠マテ十尺屋根生子板葺外部下見打內部竪羽目板張トス

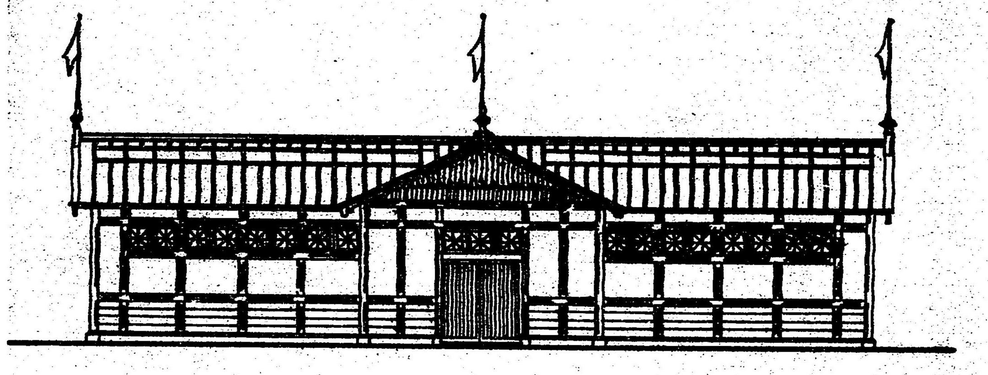
其十一　温室

温室ハ梁間一間五分又ハ二間五分桁行折曲十六間五分梁間二間桁行五間六分六厘及ヒ梁間一間五分桁行五間ノ三棟ヨリ成ル總建坪四十八坪四合三勺六才木造平家建温汽鑵ハ地下室トシ周壁ハ房州石ヲ疊積セリ温汽鑵ハ徑六吋長五呎ノ横置汽鑵ニシテ地中汽鑵室內ニ設備シ各室ノ廣狹温度ノ高低ニ應シ適宜二吋ノ鐵管ヲ布設ス其長八百九十呎ナリ又各室ノ採暖ヲ

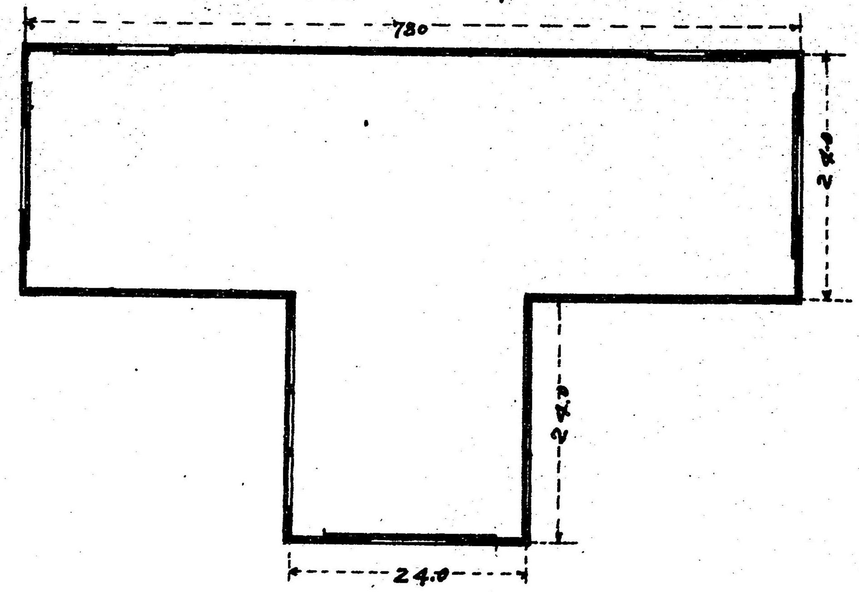
第五號館

第五號館正面

二百分ノ一



平面

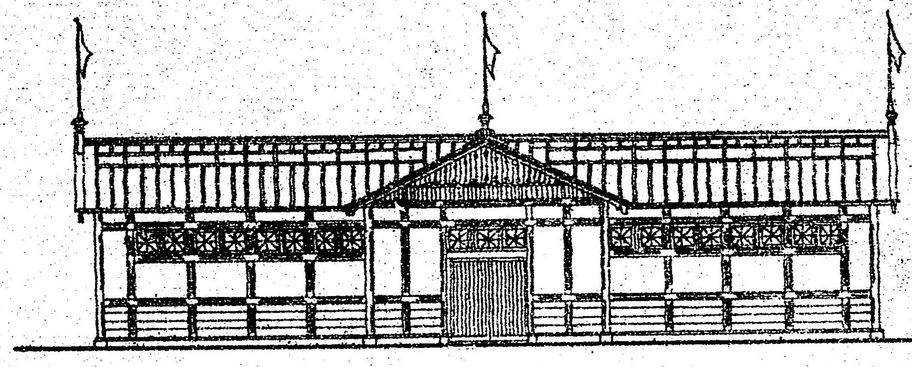


窓 巻 丸例

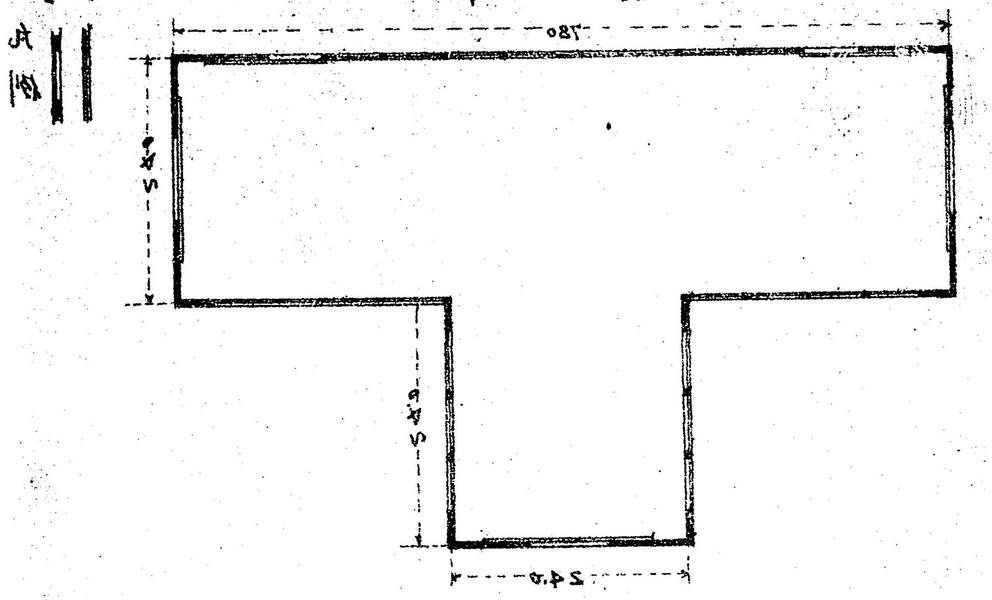
館 術 美

面五前號五第

一八九百二

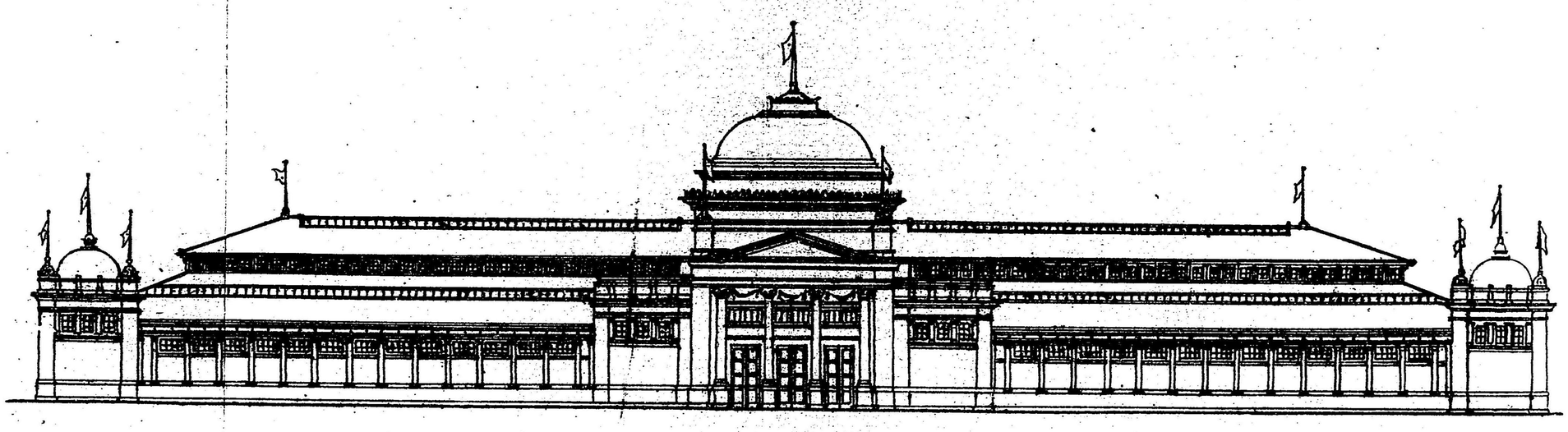


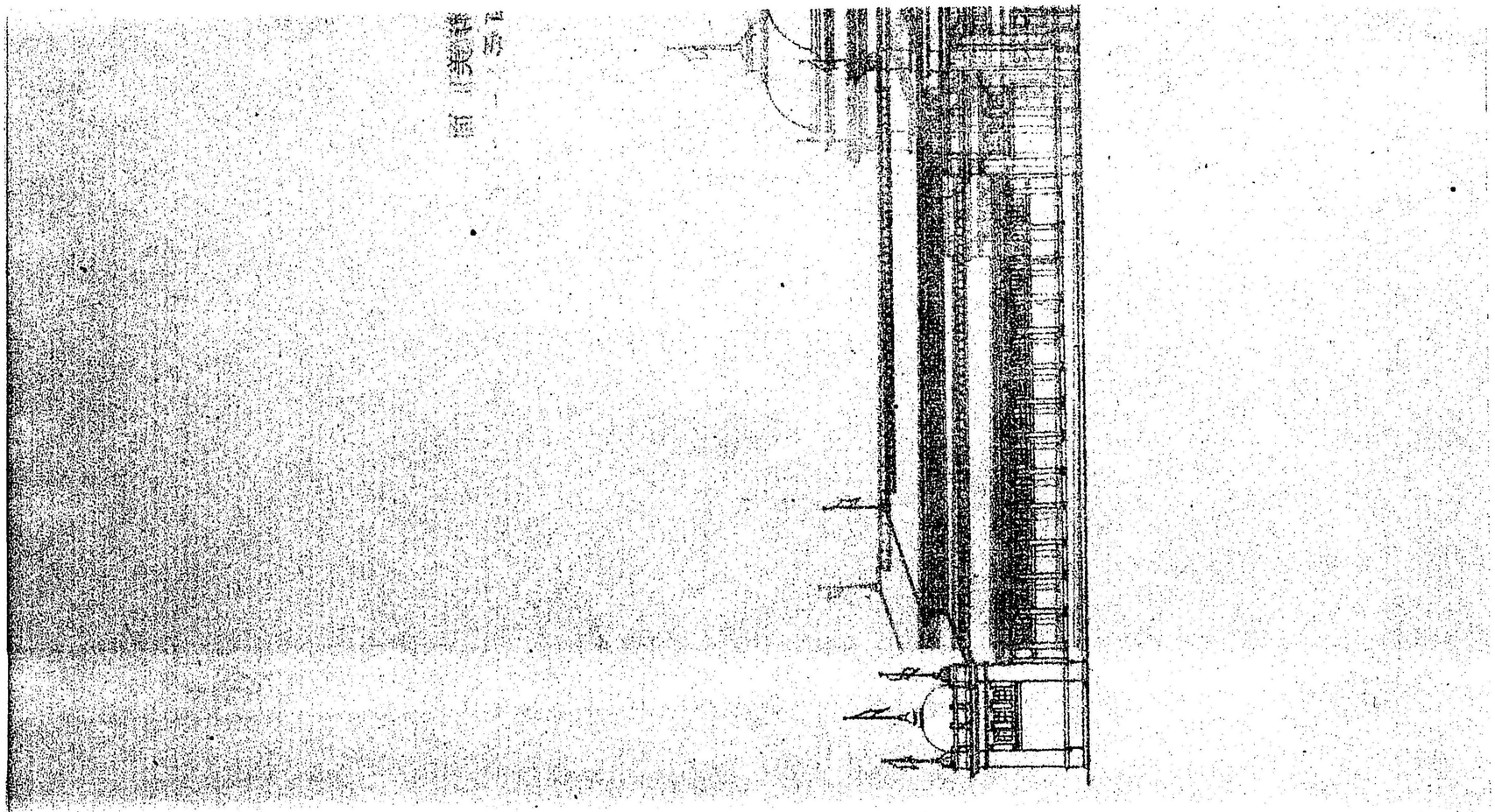
面平



美術館正面

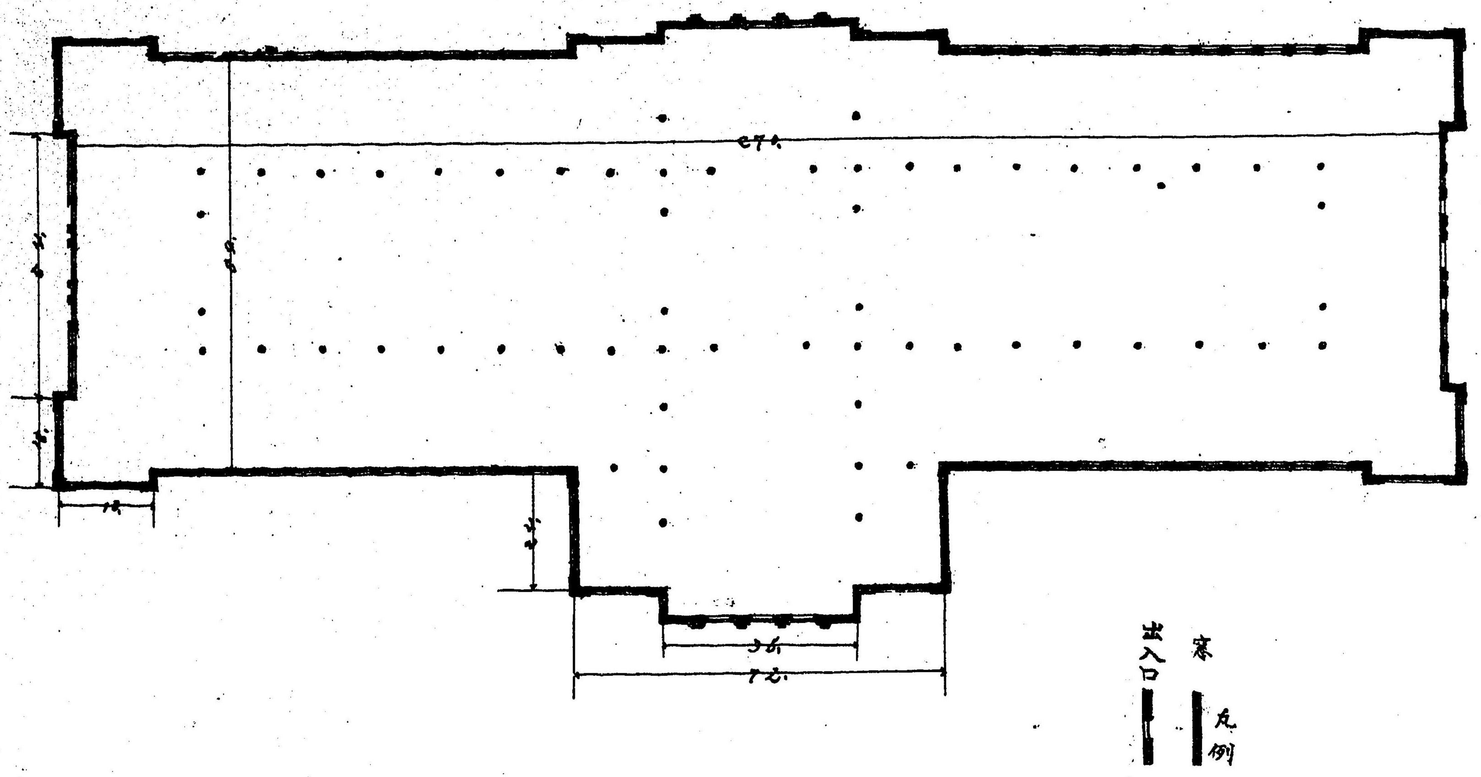
三百分ノ一

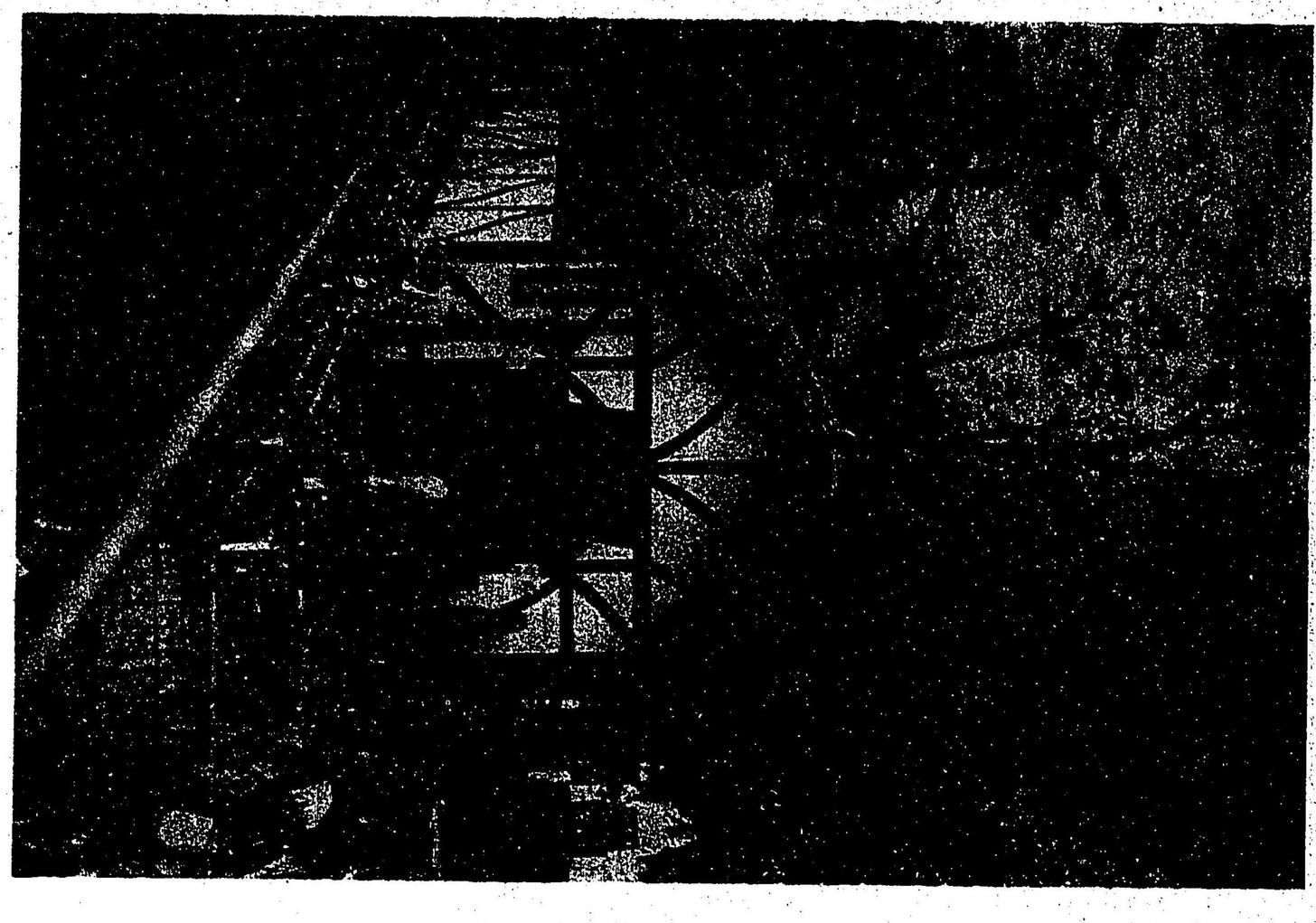




美術館平面

四百分ノ一

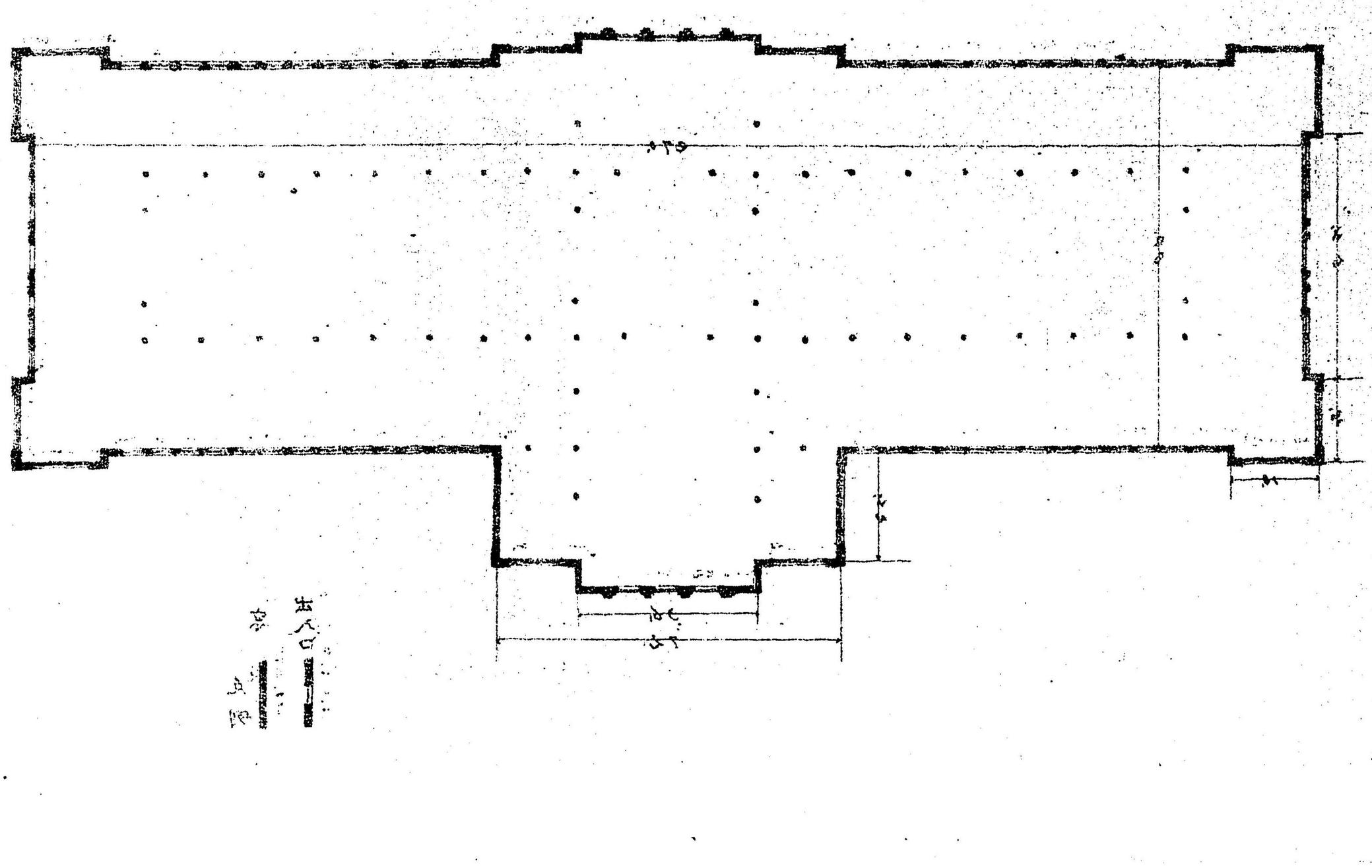




館別業農

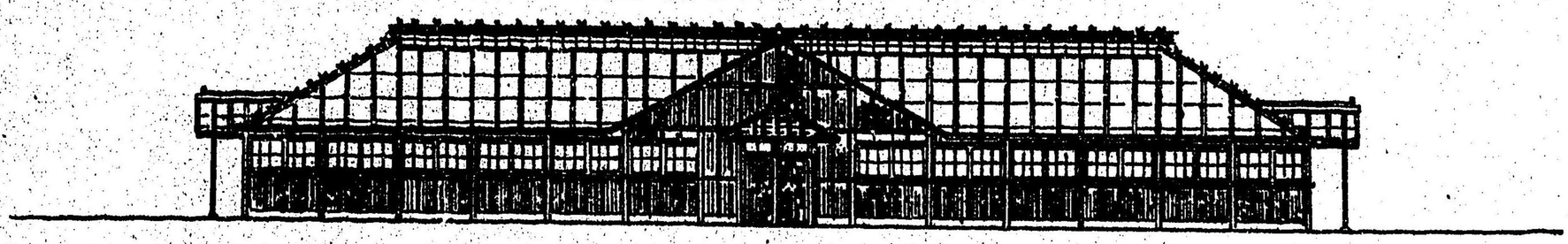
面平體斯美

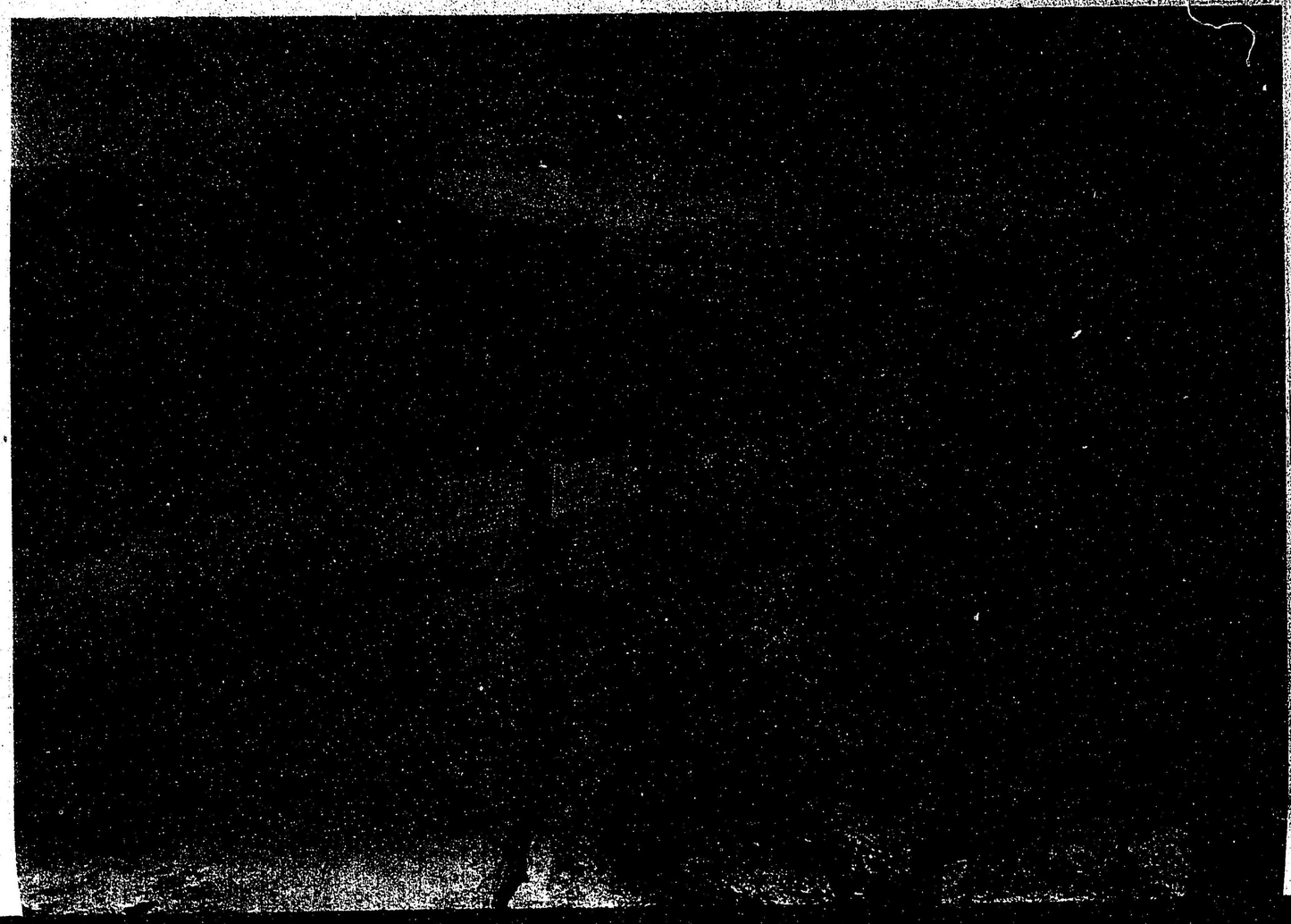
一ノ分百四



蔬菜館正面

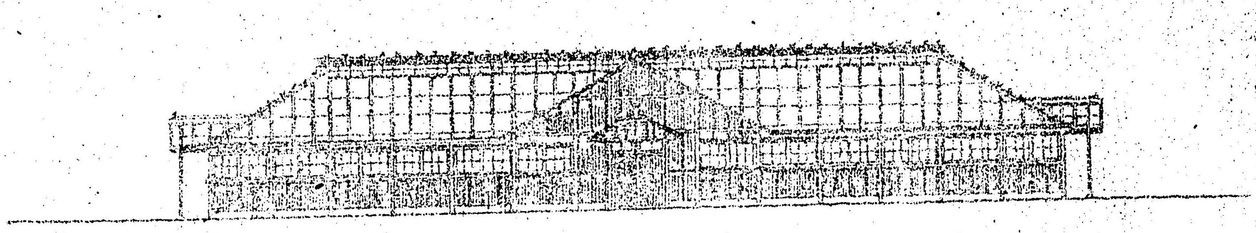
一ノ分百二





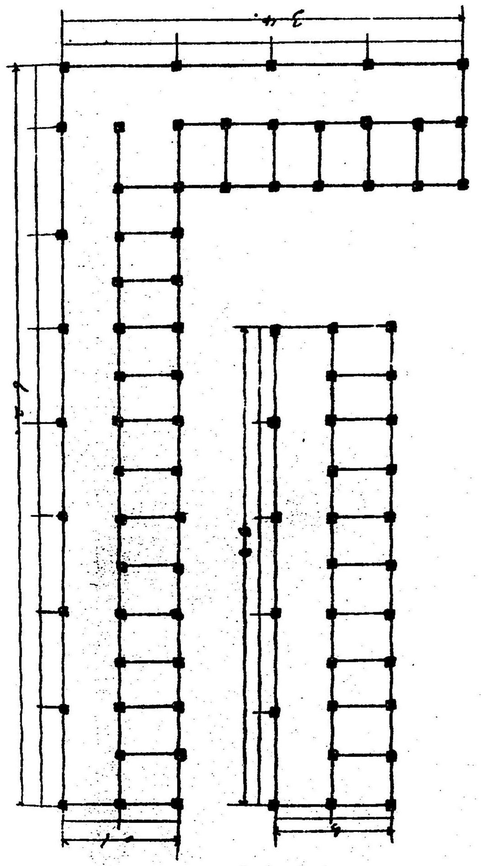
面玉館菜蔬

一八九百二

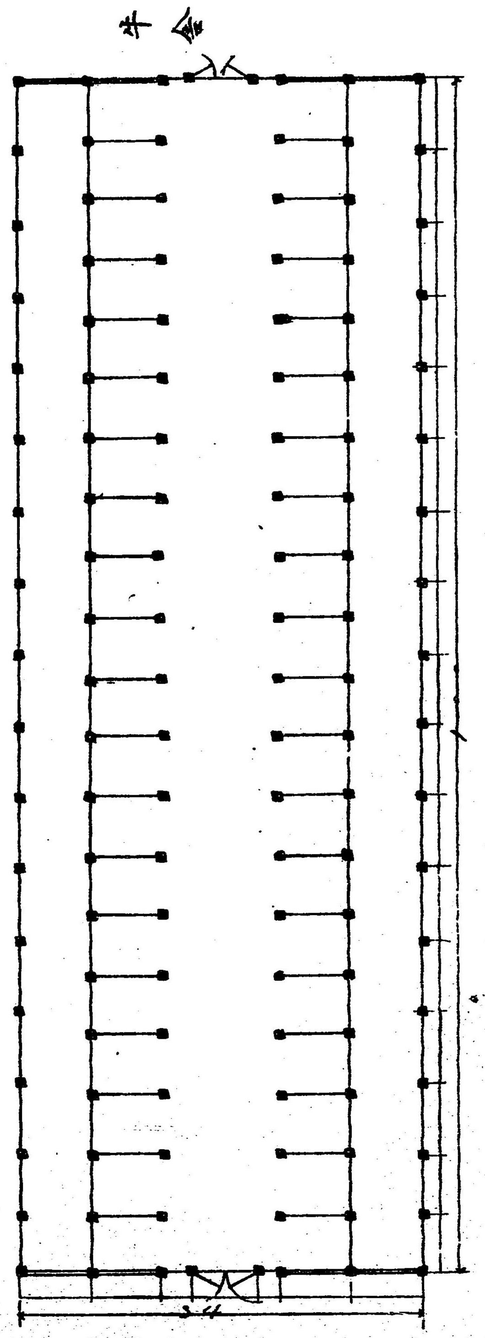


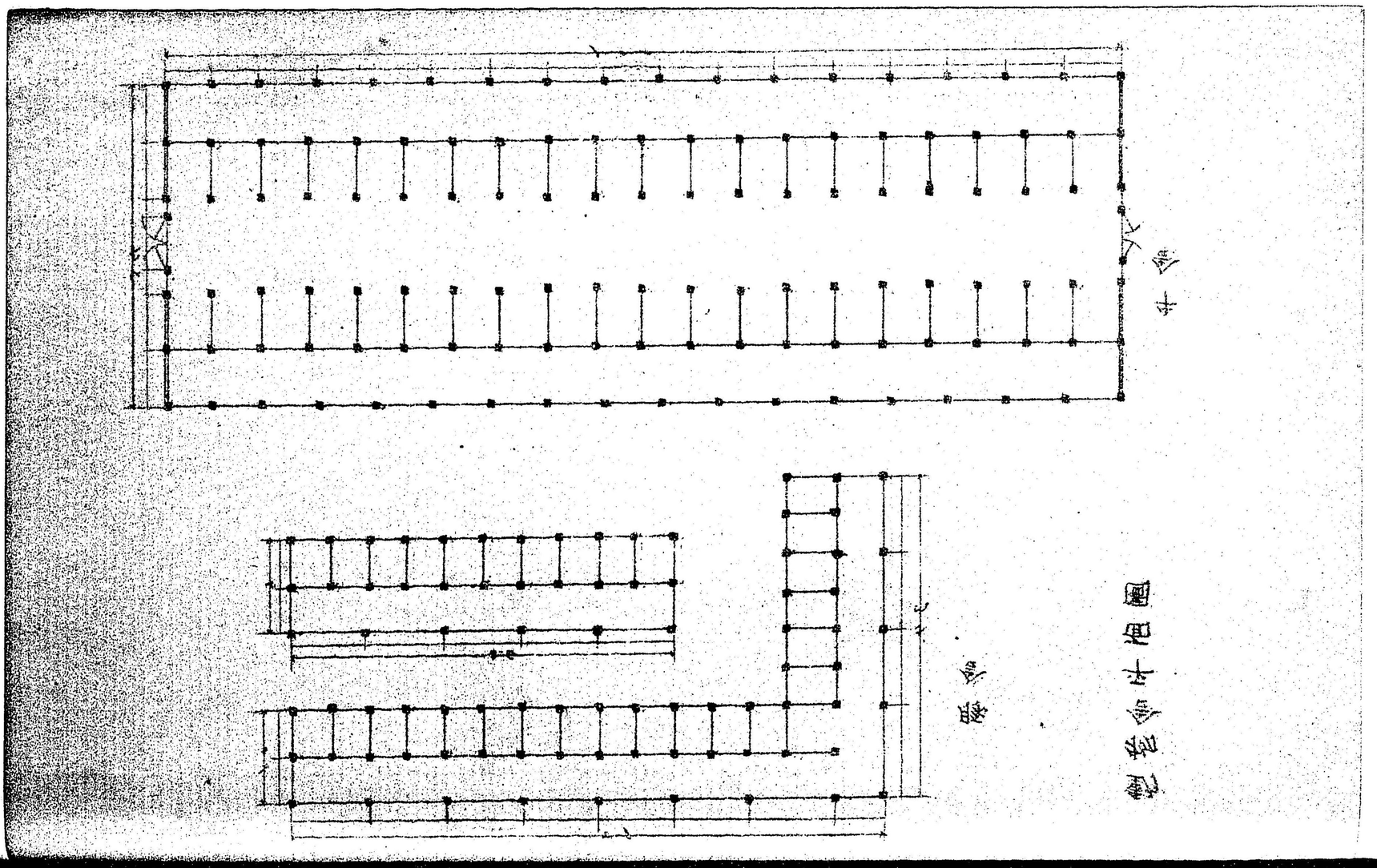
動物舍平面圖

豚舍



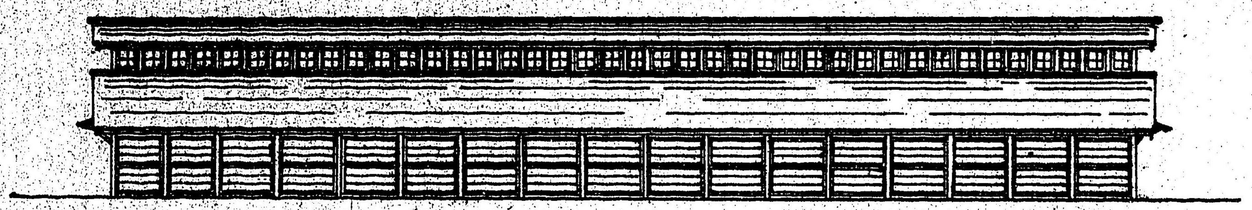
牛舍



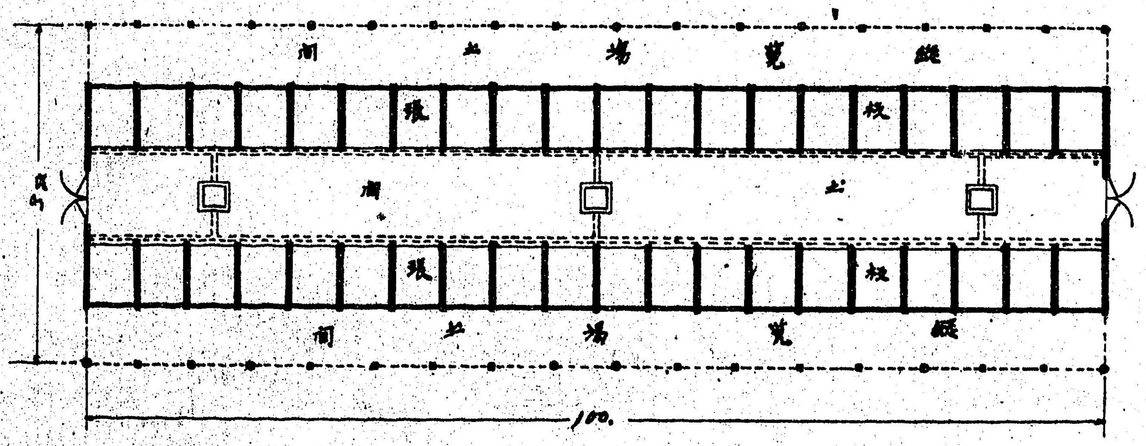


牛舍側面

二百分ノ一

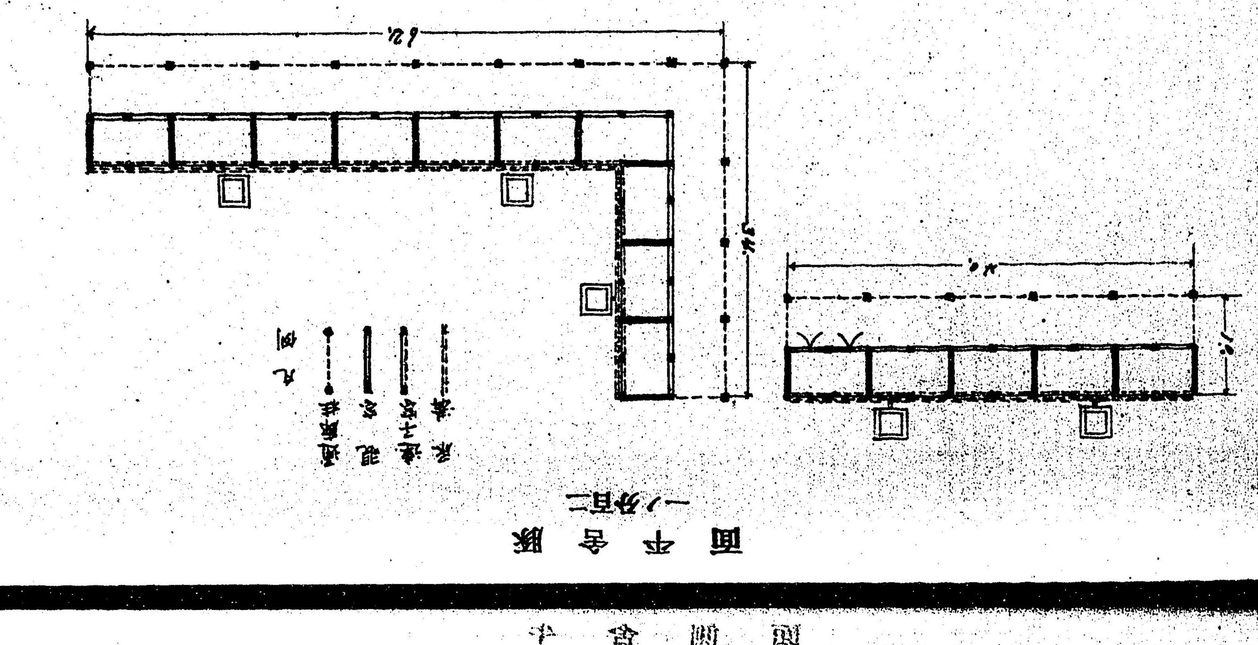


平面



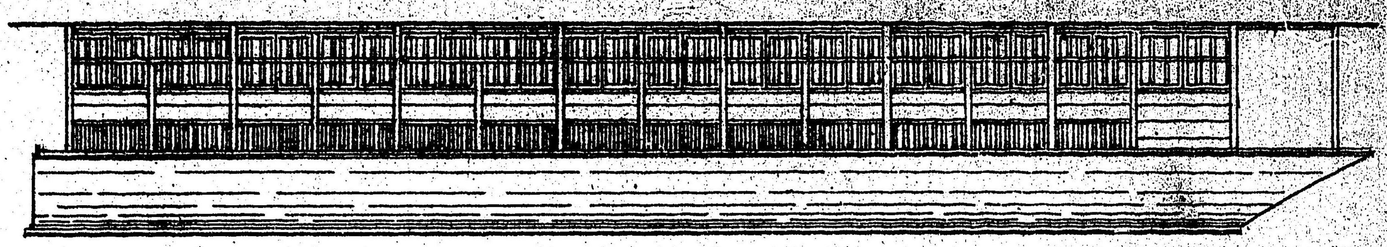
面 平 舍 豚

一ノ分百二



面 正

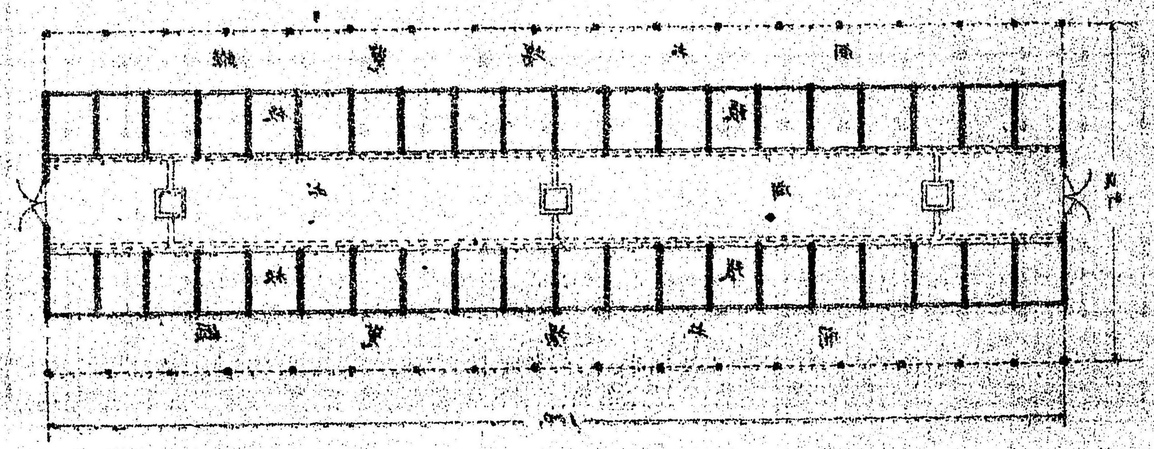
一ノ分百



面 側 舍 豚

一ノ分百二

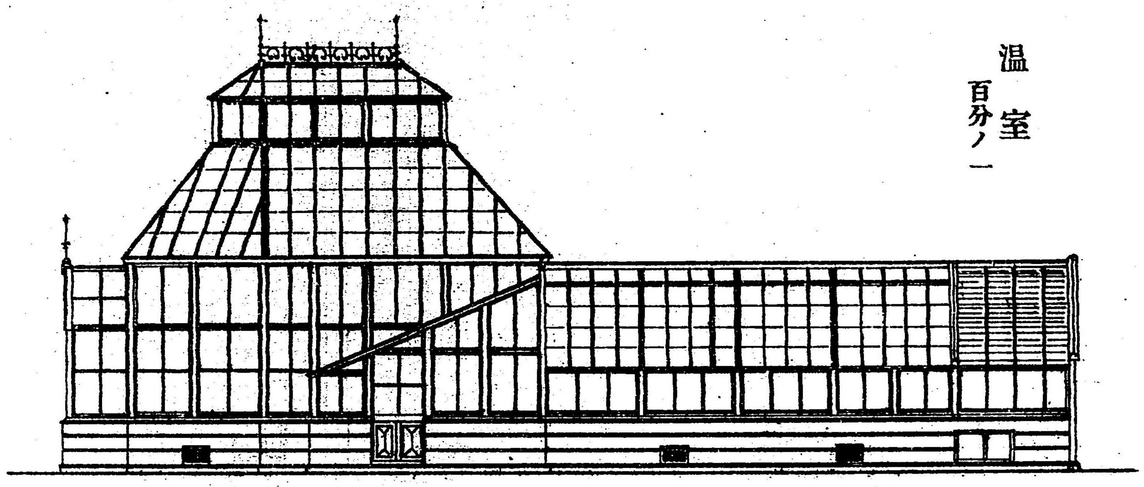
面 平



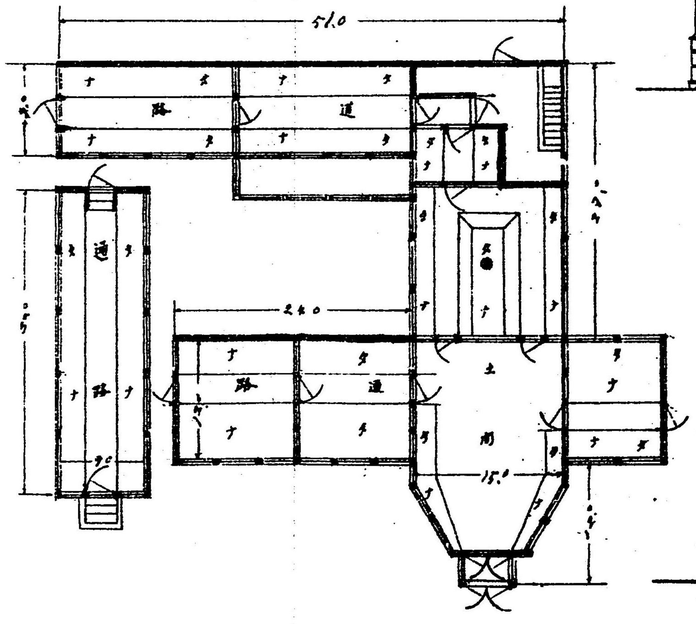
温室

百分ノ一

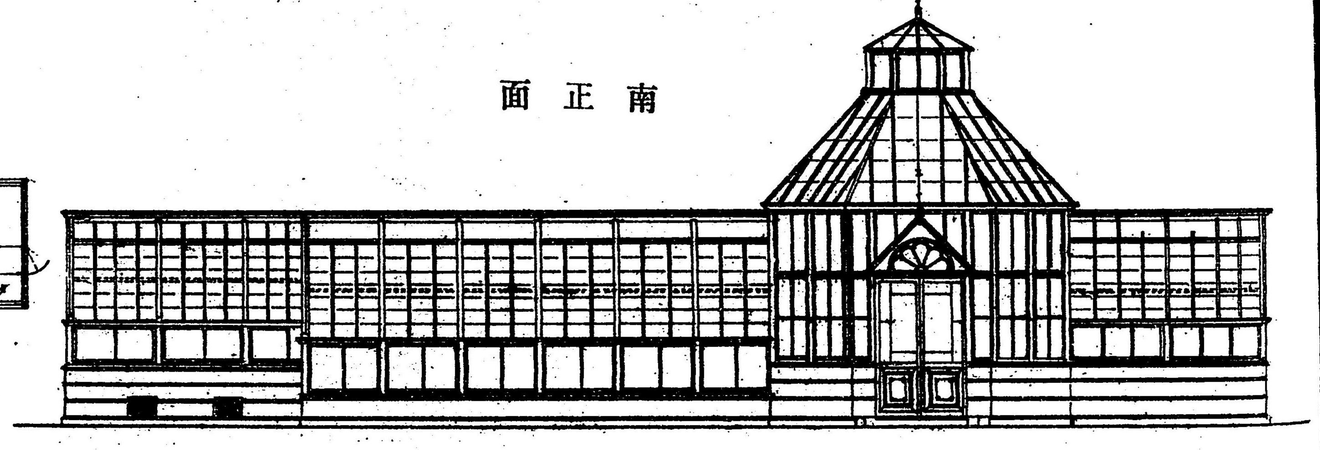
西正面

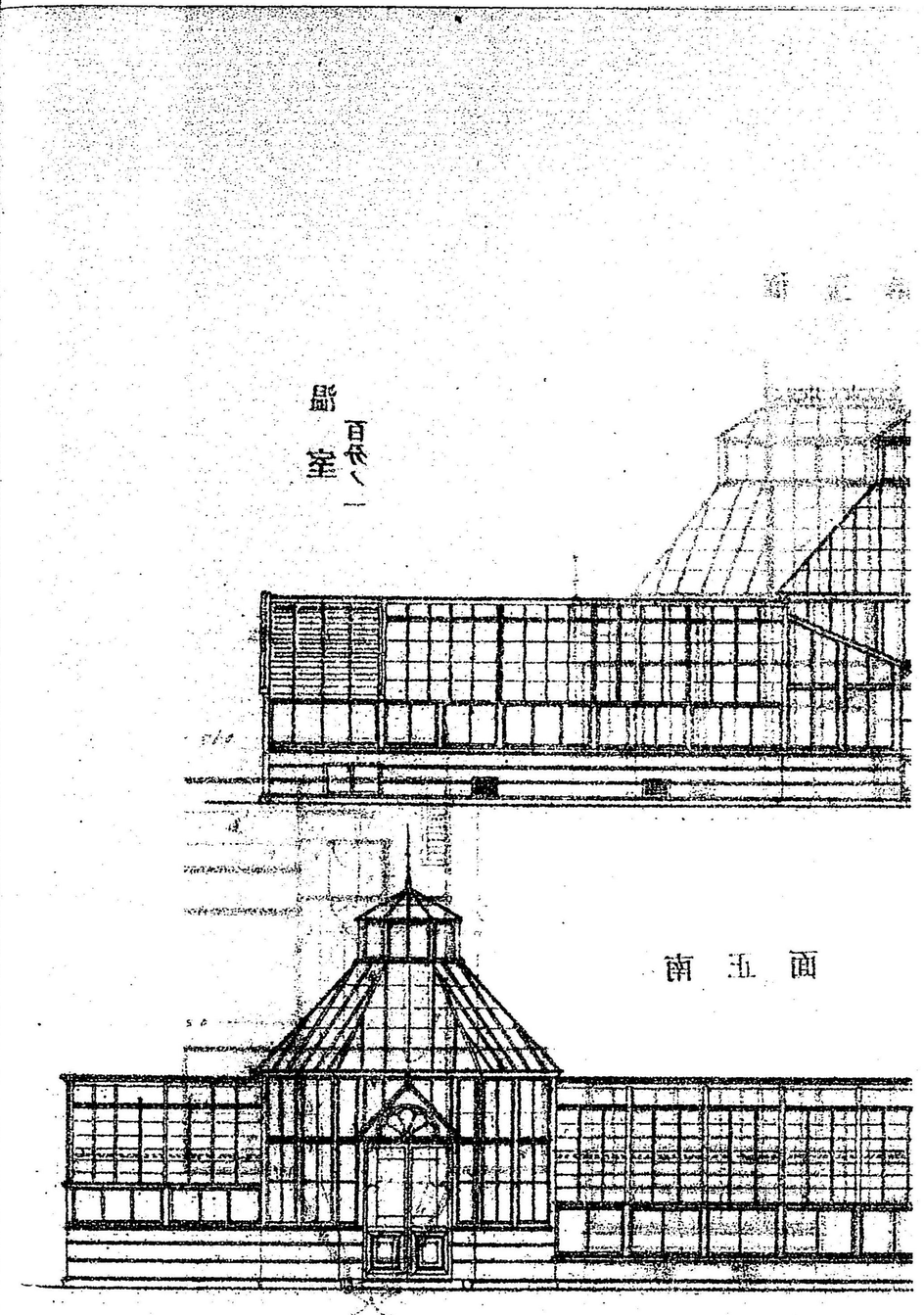


平面



南正面





自由ナラシムル爲メ温水主管ニ阻止弁ヲ附シ卽チ四吋阻止弁一、三吋阻止弁一、二吋阻止弁一、一吋四分ノ一阻止弁一トシ鐵管ニ於テ放熱サレタル冷却水ハ還水主管ヲ經テ復歸スルモノトス

其十二　噴水塔

噴水塔ハ直徑十間ノ圓形水盤中ニ六角形ヲ爲セル七段ノ階段ヨリ成ル壇上ニ「モニユーメント」ニ模シタル圓塔ヲ設置シ頂上ニハ「バカス」ノ神像ヲ安置シ尙各段ノ隅及上段中央部等ヘ「ギリシヤ」式ノ獅子ヲ配置セリ而シテ其噴水ハ圓塔上部蛇腹ノ周圍ヨリ水盤ニ向ケ傘ノ骨ノ如ク落下シ塔ノ脚部卽チ壇上ヨリ噴出セル水ハ各段ヲ灑ノ如ク流過シ更ニ獅子ノ口ヨリ水盤ニ向テ噴出セリ此噴水塔ニハ夜間ノ光彩ヲ添ヘンタメ豫カシメ電燈ノ裝飾ヲ施シ其總數ハ四百十六箇ニシテ水盤緣石ノ周圍裏面ニハ十六燭光ノ電燈ヲ附シ水盤中ノ水ヲ射影シ塔壇ノ各蹴上面ハ棒硝子ヲ嵌入シ此棒硝子ハ內部ヨリ三十二燭光ノ電燈ノ作用ニ依リ赤青黃ノ三色ニ變化セシメ其色硝子ヲ傳ハリテ落下スル水ハ恰モ赤青黃三色ノ瀑ノ流下スルカ如ク而シテ壇丘各獅子ノ背面ニモ尙三十二燭ノ赤青黃ノ三色ノ電球アリテ段下ノ電光ト共ニ變色シ「バカス」ノ神像ヲ射影スルノ裝置ヲ爲シタリ此噴水ニ使用セル水ハ初メ東京市ノ水道ヲ利用シ直チニ噴水セシムヘキ計畫ナリシモ若シ公園內ノ水道鐵管ヨリ使用スルモノトスレハ其水量ト高サニ於テ不足ヲ告クルニヨリ更ニ本鄕貯水池ヨリ新ニ大鐵管ヲ埋沒シテ補水スルノ計畫ヲ望ミタレトモ其布設費ニ於テ巨額ノ費用ヲ要スルノミナラス五六月ノ候ニ於

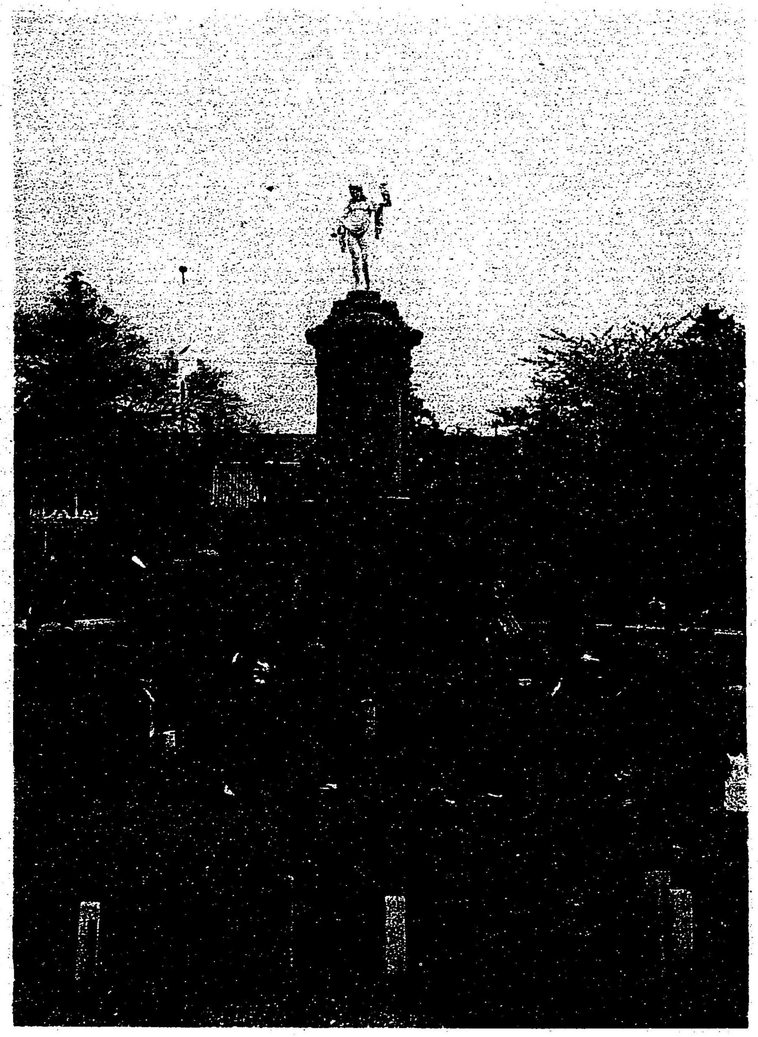
テ或ハ全市ニ對スル水量ニ不足ヲ告クルヤノ患ナシトセサルニ依リ中途計劃ヲ變更シ電動力ニ依リ川上式喞筒ヲ以テ一度水盤中ハ貯藏セラレタル水ハ少量ノ補水ヲ要スルノミニテ循環噴水セシムルノ裝置ト爲セリ

其十三　庭園

本博覽會場ハ東京ニ於テ最モ風致ニ富ミタル上野公園ノ要部ヲ占メタルヲ以テ全會場盡ク庭園タラサルナシ故ニ殊更ニ庭園ヲ設置スルニ及ハス且雖觀覽人カ館内ニ於テ陳列品ノ觀覽ニ頭腦ヲ勞シタル場合ニ於テ一時館外ニ出テテ新鮮ノ空氣ヲ呼吸シ並セテ艷麗若クハ清楚タル花卉ニ心神ヲ恢復スルハ亦是必要ノ事ニ屬セリ於是第一會場内噴水塔ノ前後蔬菜館ノ前庭及美術館裏庭園ニ數箇所ノ花壇ヲ設置セリ今其設備ヲ左ニ分說ス

(イ)　正門内ノ花壇

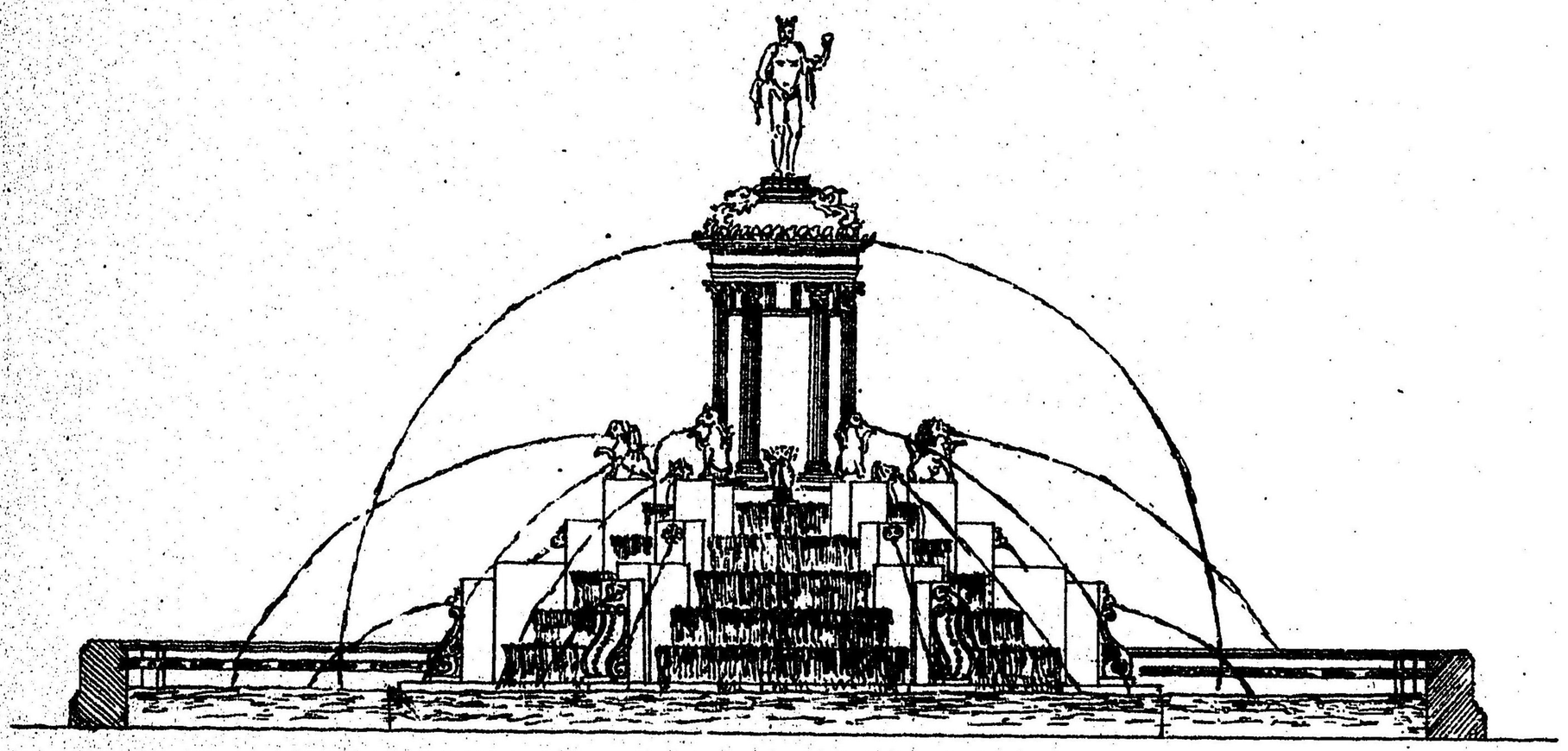
正門内ノ庭園ニ設ケタル花壇ハ本博覽會中第一ノ大花壇ニシテ其面積三百餘坪ヲ有シ之ヲ三區域ニ分チ其中央ニハ東京園藝株式會社ノ出品ニ係ル裝飾花壇ヲ置ケリ尙各花壇ノ中部ニハ幅八尺ノ灣曲通路ヲ設ケテ逍遙ニ便ナラシメタリ而シテ花壇ニハ土ヲ盛リテ通路ヨリモ約五寸高カラシメ之ニ高麗芝ヲ密植シ芝ノ處々ヲ切拔キテ毛氈花壇ト爲シタリ又大通路ニ沿フタル花壇ニハ其周圍ニ五寸角材ヲ高サ一尺五寸トシテ適宜ニ之ヲ立テ之ヲ聯絡スルニ二條ノ太キ針金ヲ以テシ混雜ノ際公衆ノ蹂躙ヲ豫防セリ猶小通路ニハ自然木ニテ六尺毎ニ杭ヲ立テ之ニ細キ針金ヲ通シテ以テ其境界ヲ明カニセリ



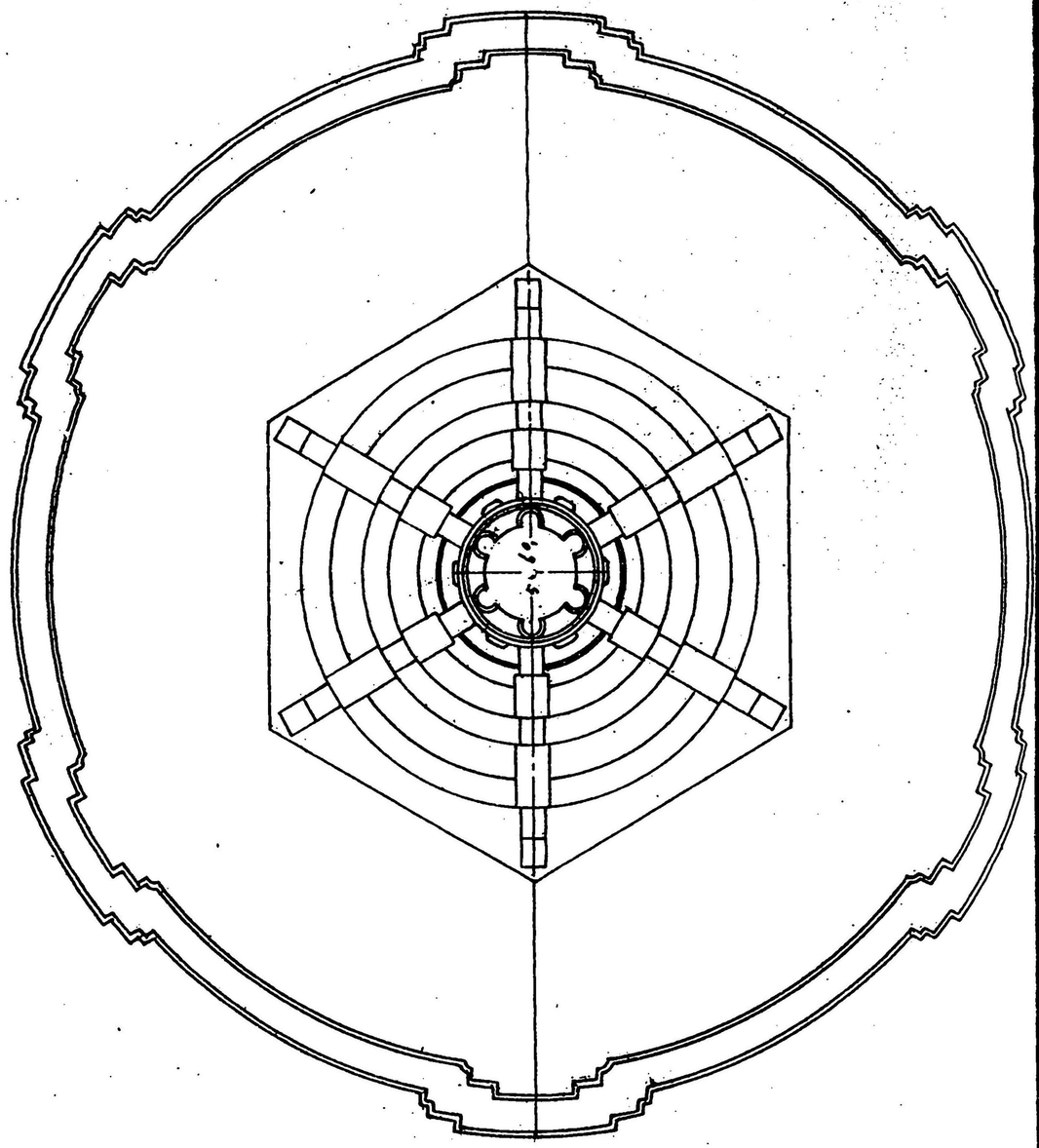
噴　水　塔

噴水塔正面

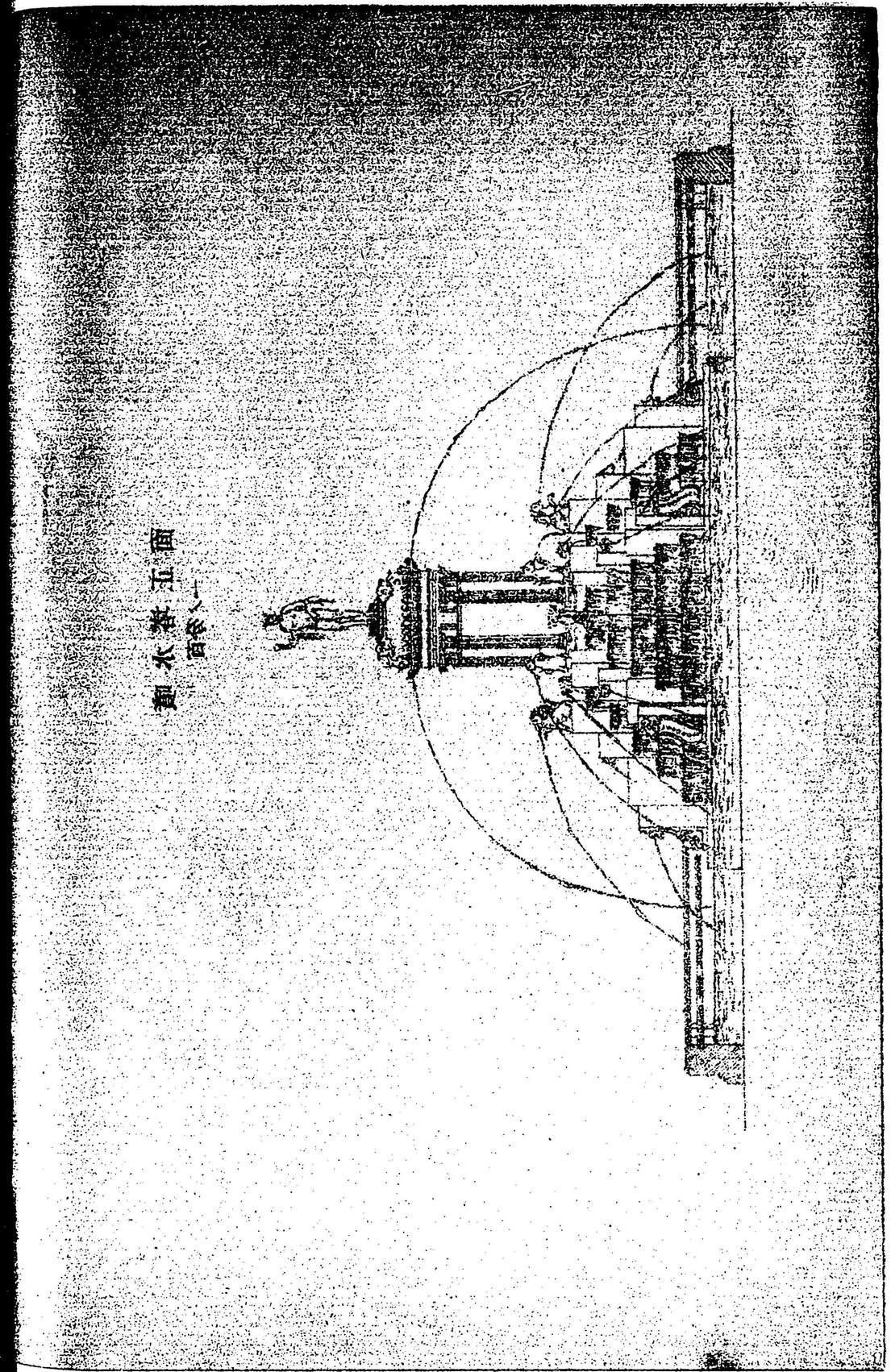
一ノ分百



噴水塔平面
百分ノ一

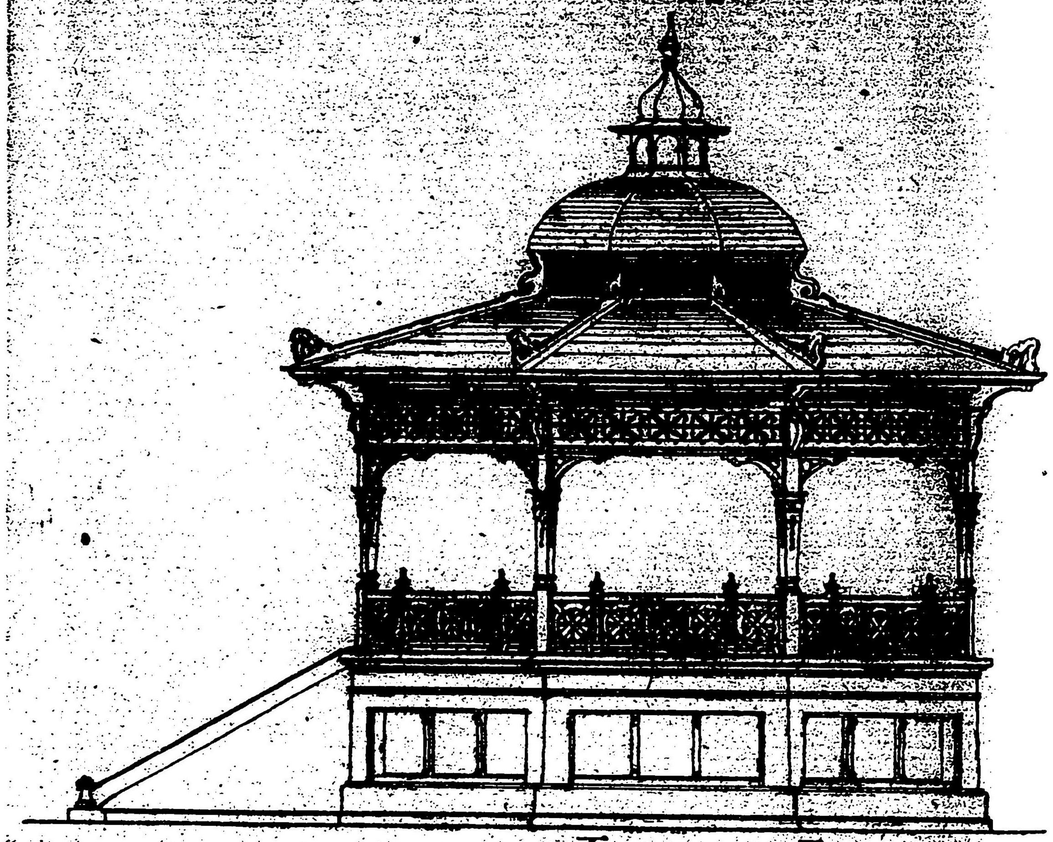


噴水塔正面
百分ノ一

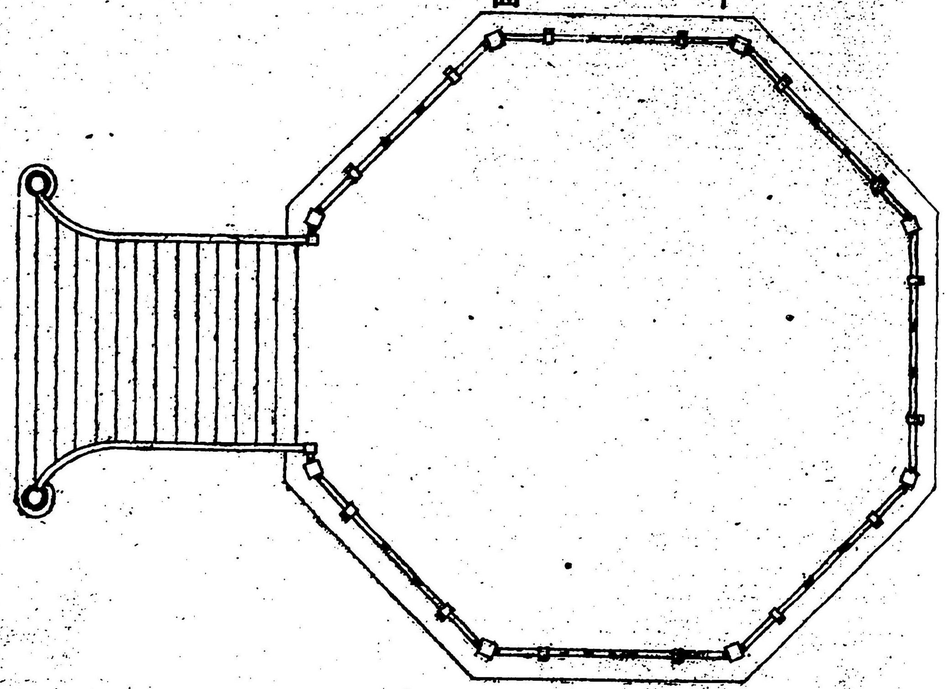


第壹會場音樂堂

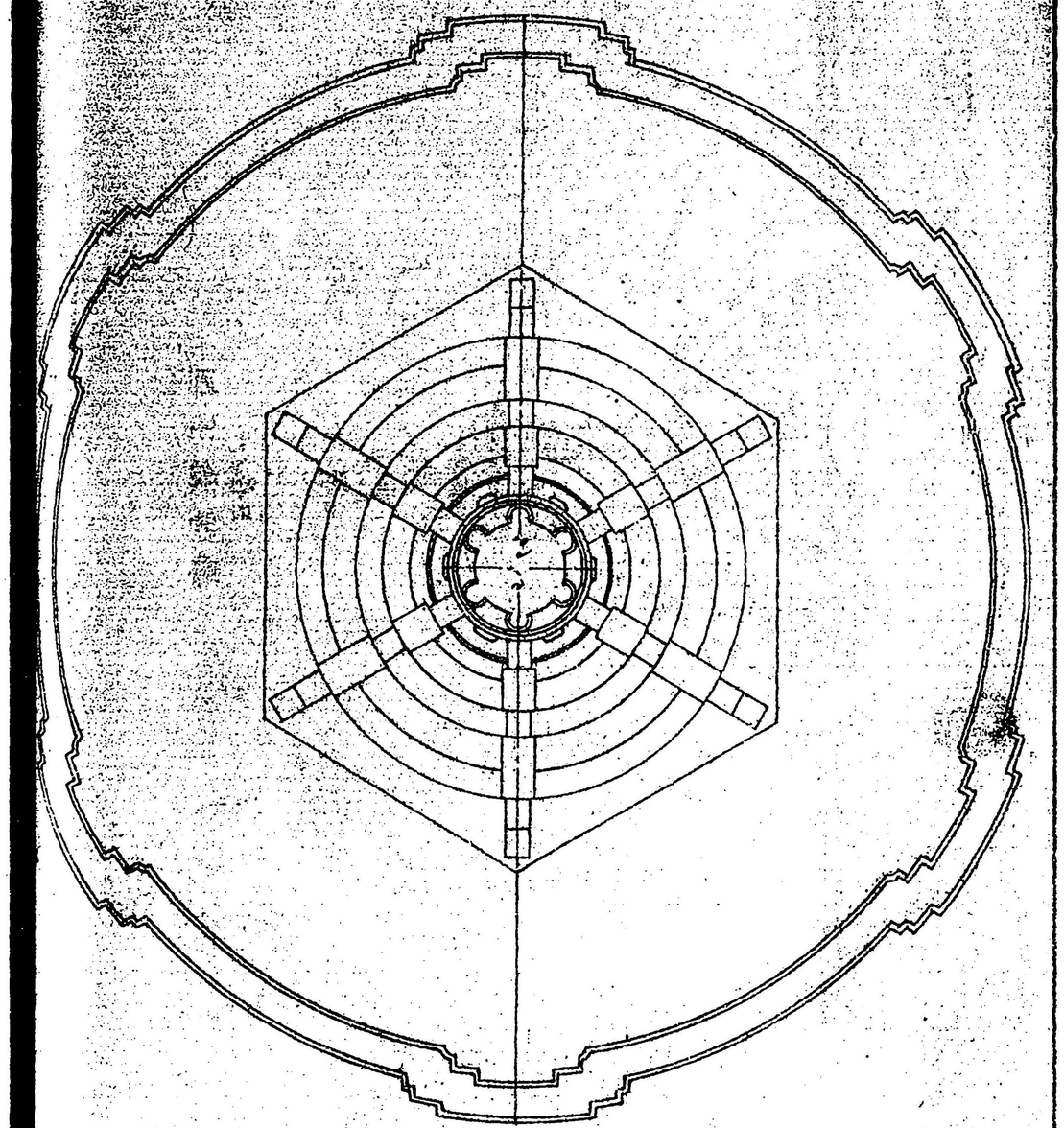
百分ノ一



平面



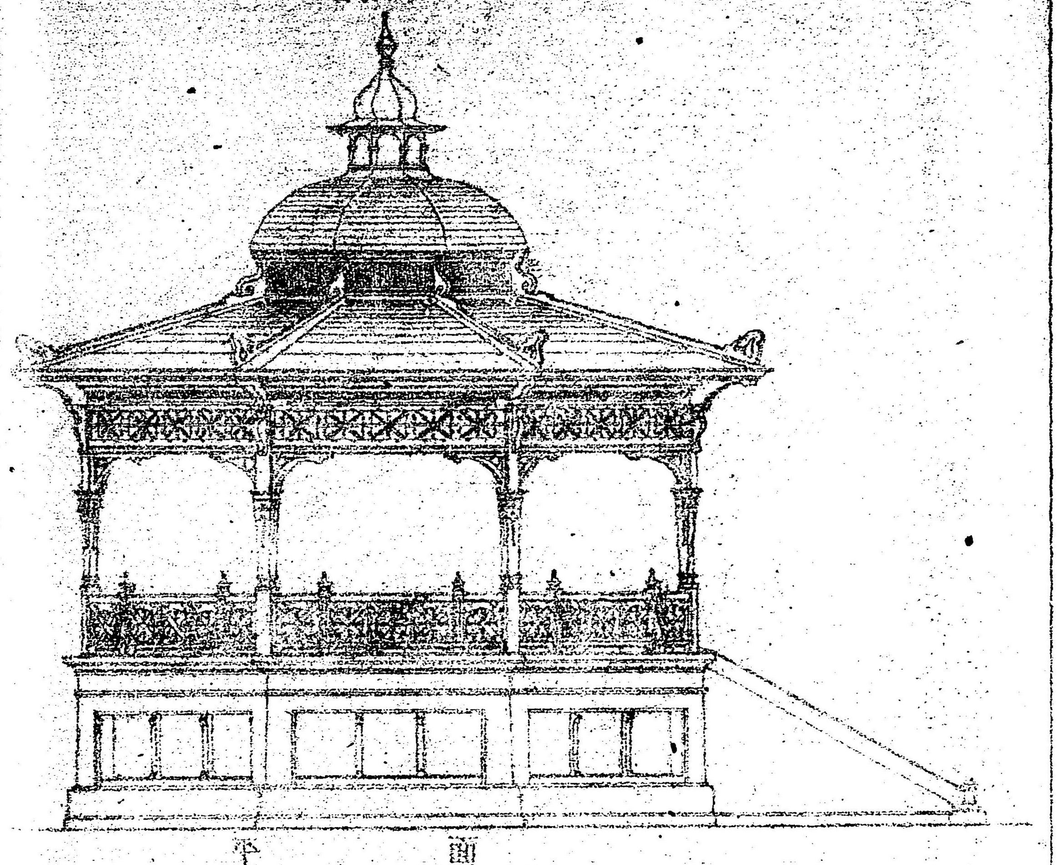
面平



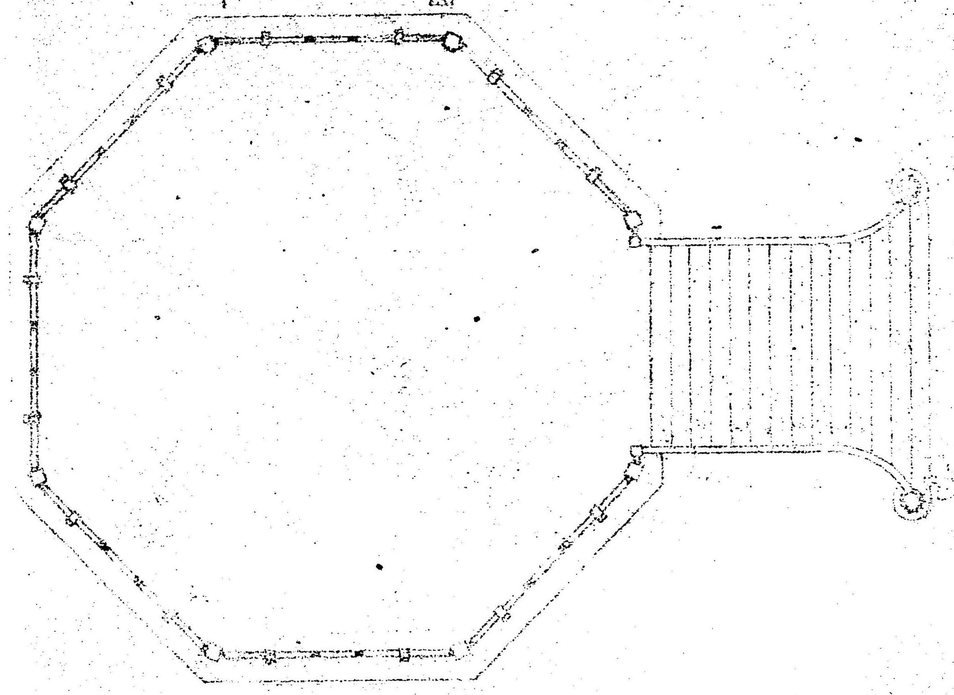
第一會場庭園概覽八道進光景

堂樂會場會壹第

一長百



平面



花壇ハ總テ毛氈的トシ和洋ノ草花ヲ各種ノ彩色ヲ應用シテ植込ミ十日目或ハ十五日目毎ニ半開ノ時花ヲ植替ヘ以テ常ニ花色ノ艶麗ヲ保タシメタリ

又花壇中特ニ區劃シテ吉野園ニハ西洋草花美香園ニハ薔薇ヲ出品栽植セシメ其後ハ各自出品ノ草花ヲ便宜上館外陳列トシテ花壇中ニ栽植シタリ

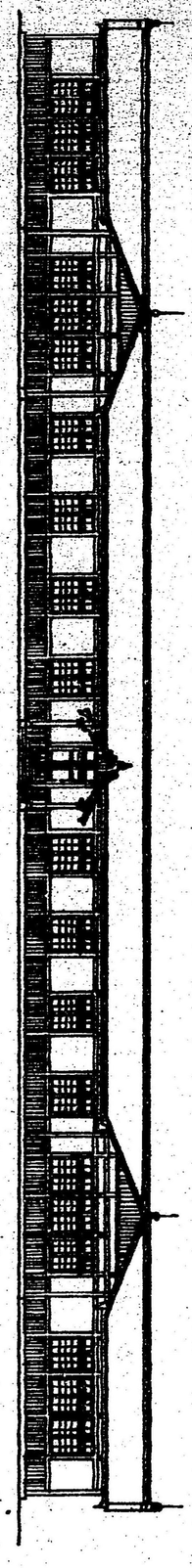
又正門内ノ風致ヲシテ更ニ高尚ナラシメンカ爲ニハ出品ニ係ル各種ノ大盆栽ヲ適宜ノ場所ニ配置シテ以テ其相互ノ對照ヲ調和セシメタリ

(ロ) 蔬菜館前庭ノ庭園

蔬菜館前ニハ總テ出品ニ係ル樹木苗木花卉庭石等ヲ利用シテ庭園ヲ造リ是等ノ出品ニハ各々建札ヲ以テ之ヲ説明シ又其種類ニ從テ全園ヲ各區ニ分チ各區間ニハ幅七尺ノ小路ヲ通シ且高サ三尺ノ小澤式四ツ目垣ヲ以テ境界ヲ作レリ只惜ムラクハ是等ノ出品ノ陳列ニハ其出品ノ性質ニ應シテ適當ノ面積ヲ與フルニアラサレハ能ク觀覽人ノ視線ヲ惹クニ足ラサルニ拘ハラス配當ノ地域極メテ狹隘ニシテ其陳列ノ設計ニ充分ノ意匠ヲ發揮セシムル能ハサリシハ甚タ遺憾トスル所ナリ

(ハ) 美術館裏ノ花壇

美術館裏ノ庭園ニ設ケタル花壇ハ該館ノ東面ニ於ケル幅六尺ノ長方形ノモノトス而シテ花壇ニハ高サ五寸ノ盛土ヲ爲シ其周圍ニハ殊更ニ芝ヲ以テ凹凸屈曲ノ模樣ヲ顯ハシ中部ニハ西洋草花ヲ植込ミテ其色彩的模樣ヲ爲サシメタリ



面正所務事
一ノ分百三

（二）植込ノ花樹

各花壇ニ植込ミタル花卉及樹木ノ種類ヲ列擧スレハ左ノ如シ

アネモネ	ヒアシンス	百合	チユーリツプ	アクイリヂヤ
ヒナゲシ	スウヰトピー	レナンクラス	ヒナギク	エゾギク
リリス	松葉菊	ロベリア	アルメリア	アマリリス
パンシー	矢車草	カーネーシヨン	芍藥	ゼラニアム
忽忘草	ダリア	石竹	カンナ	美女櫻
夏菊	イリス	スウヰトアリサム	サルヒヤ	フクシヤ
ランタナ	ヘリオトローブ	マクレツ	サイネリヤ	花菖蒲
躑躅				

以上賞花植物

ニウサイラン	アヂアンタム	ヲカメヅタ	アスパラカス	アキランサス

以上觀葉植物

玉杉	ヒムロ	イブキ	ヒノキ

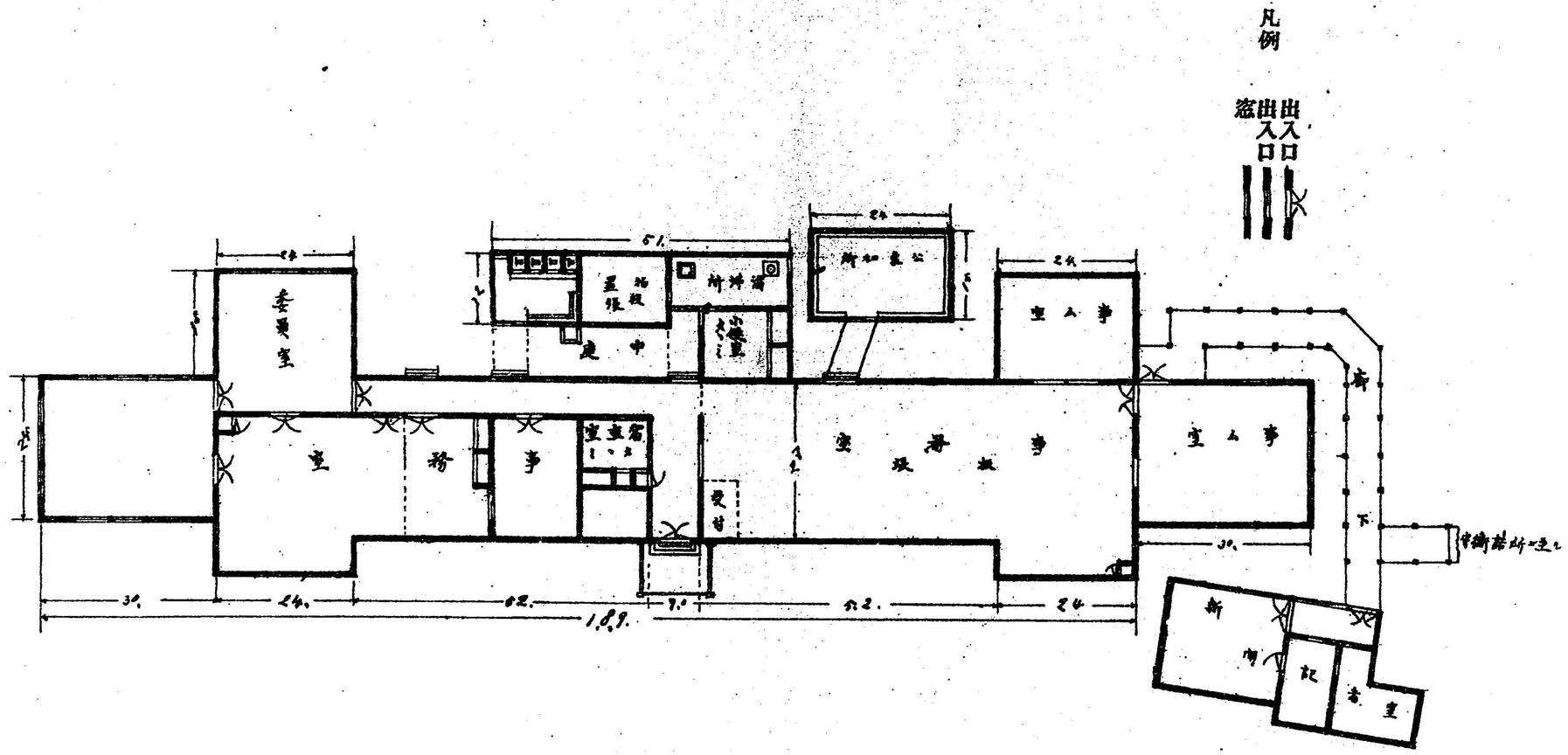
以上庭園植物

其十四　事務所

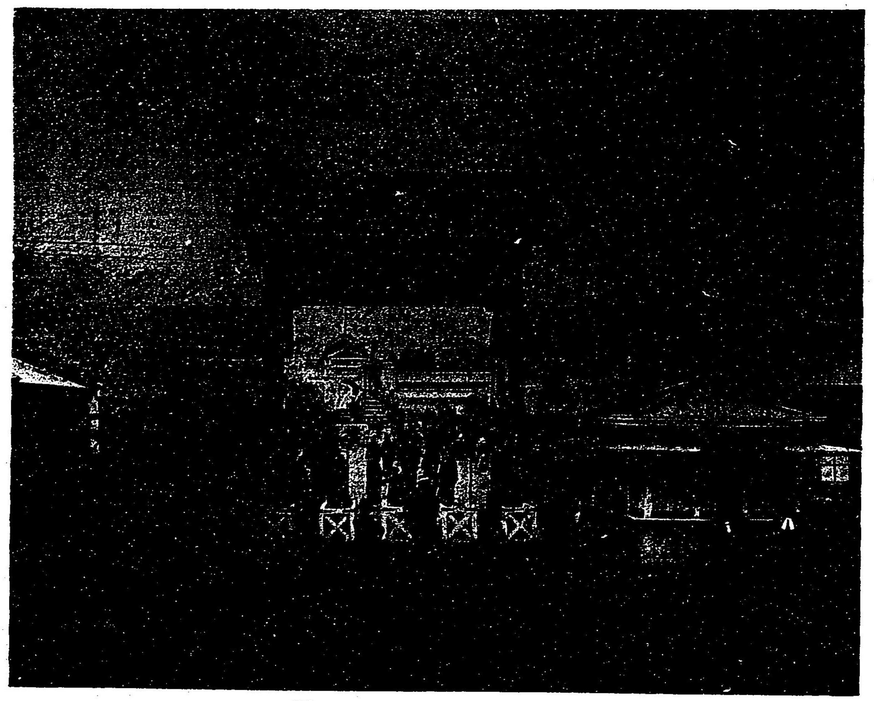
事務所ハ初メ梁間四間五分桁行延二十六間五分其他附屬家ヲ合セテ總建坪百七十四坪五合

事務所平面

三百分ノ一


凡例
出入口
出入口
窓
委員室
書庫
便所
湯沸
小使室
食堂
事務室
事務室
受付
事務室
事務室
事務室
新聞
記者室
1,89.
30.
24.
62.
7.0
62.
24

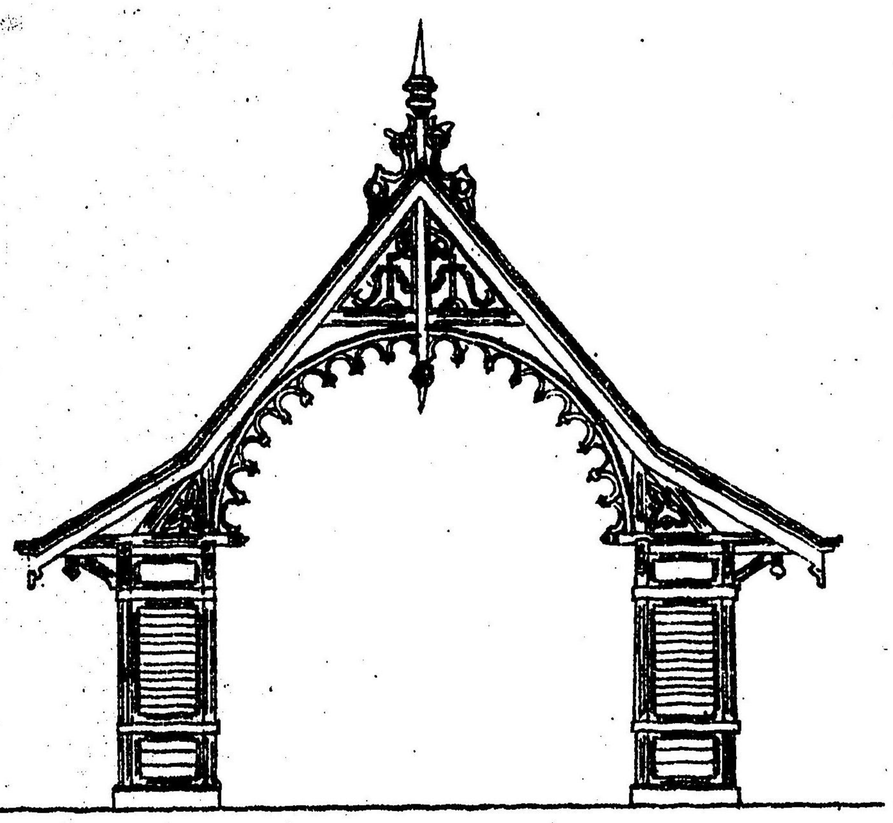
觀月門



北門

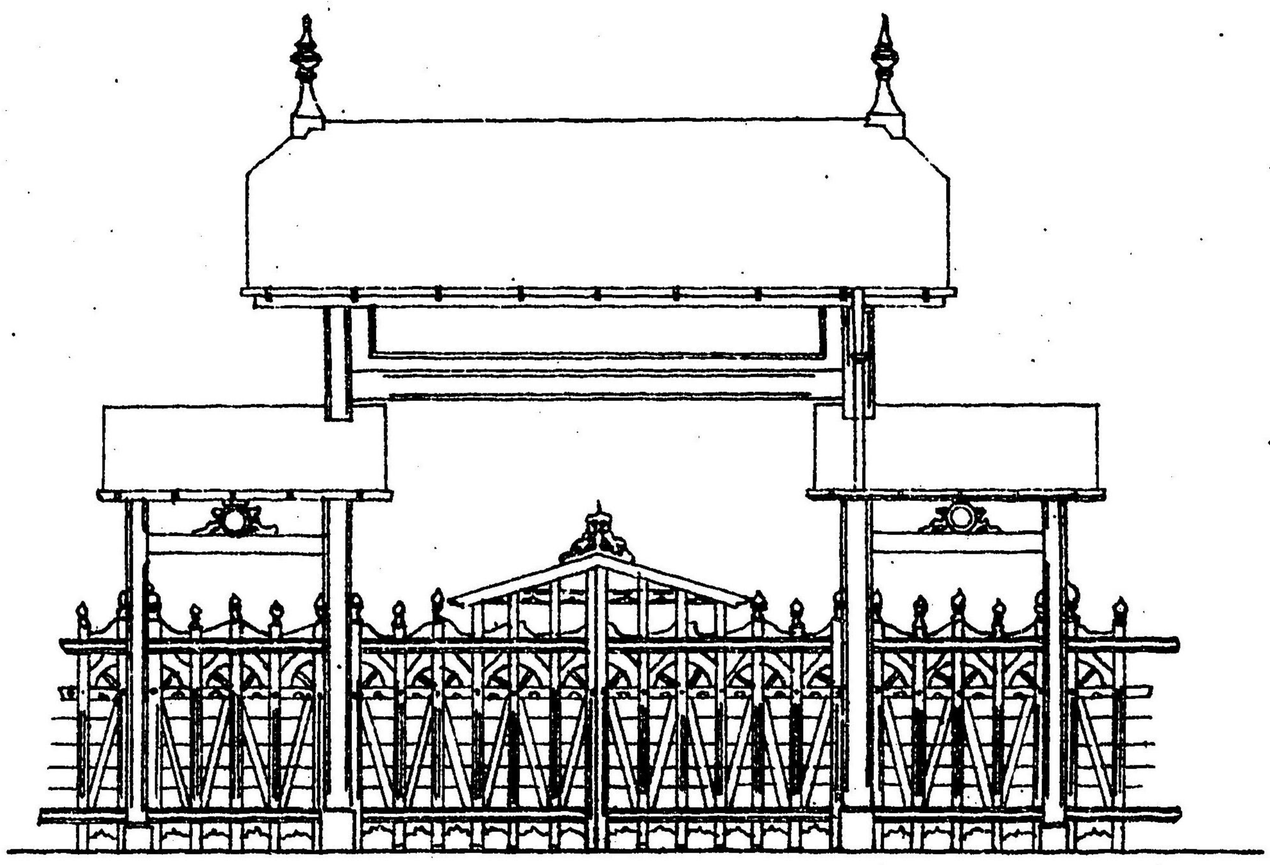
第壹會場車阪門

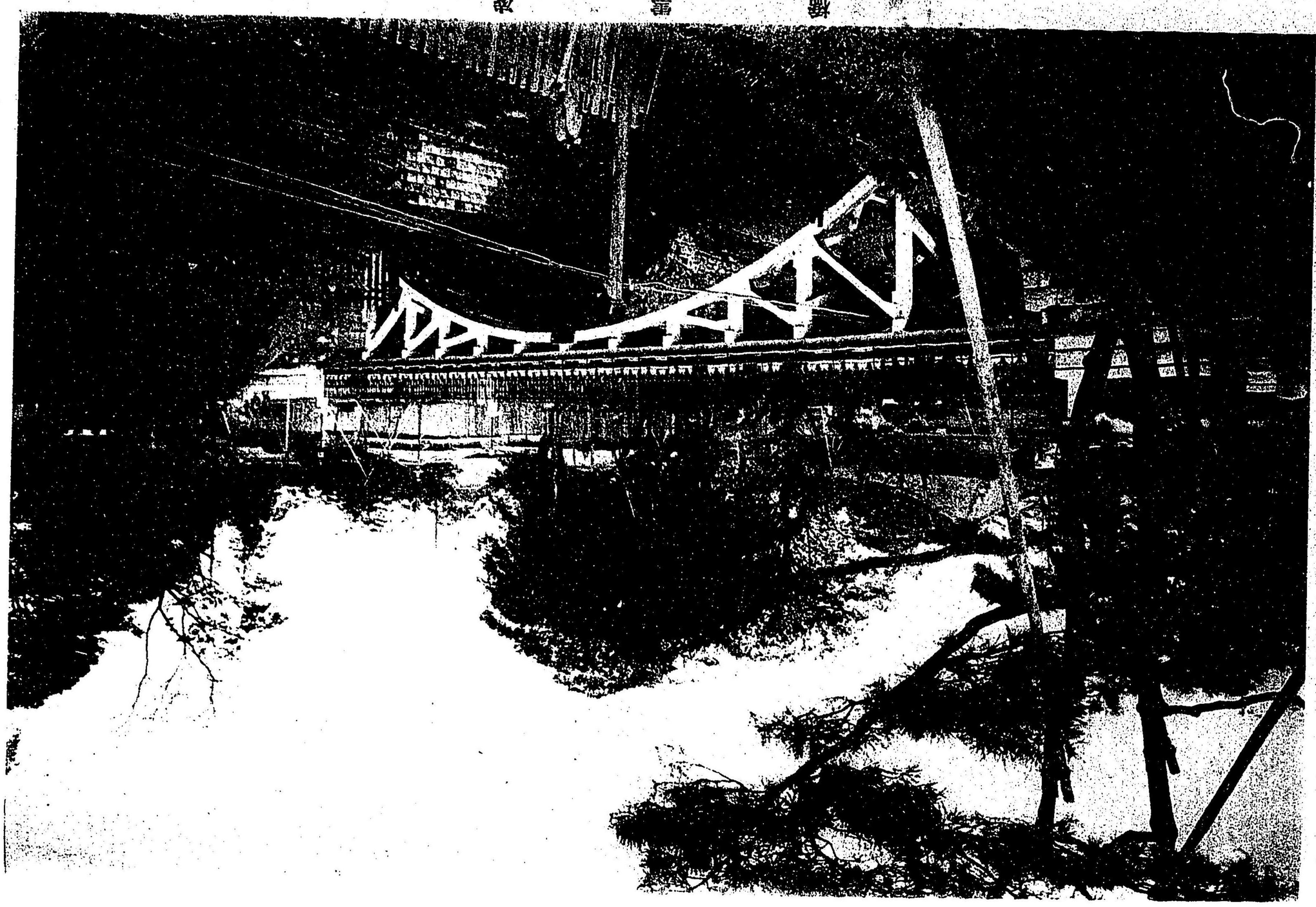
一ノ分百

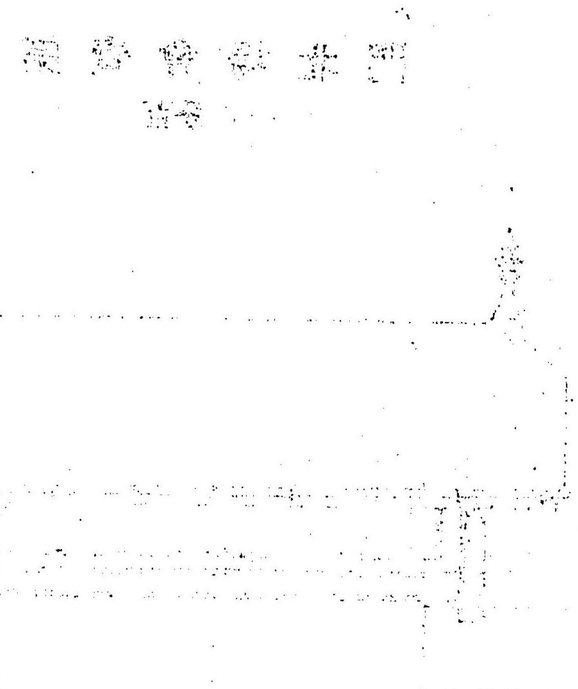


第壹會場北門

一ノ分百

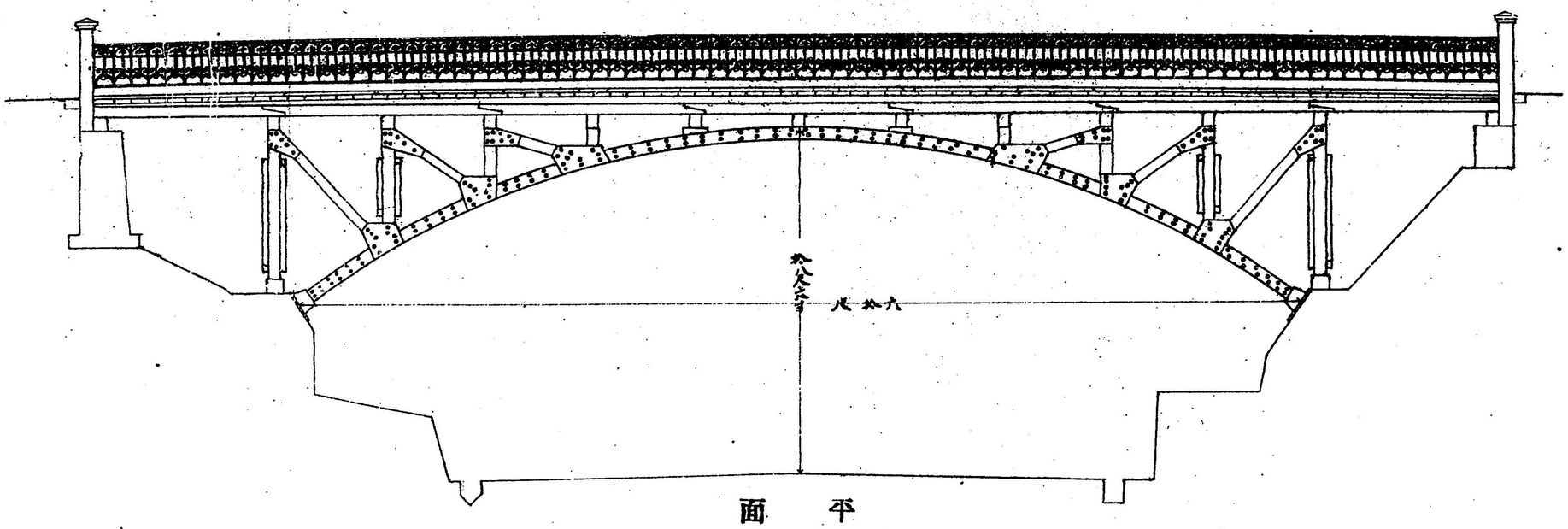






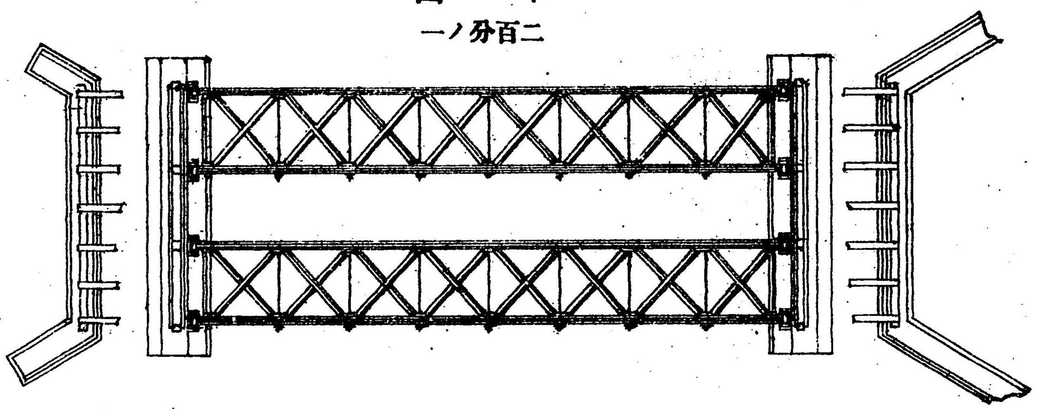
凌雲橋

二百分ノ一



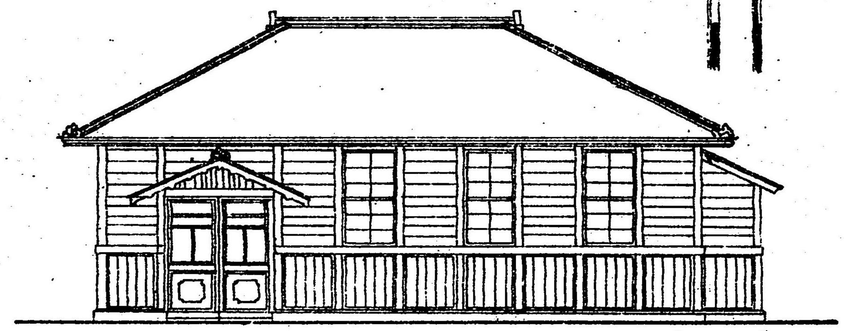
平面

二百分ノ一

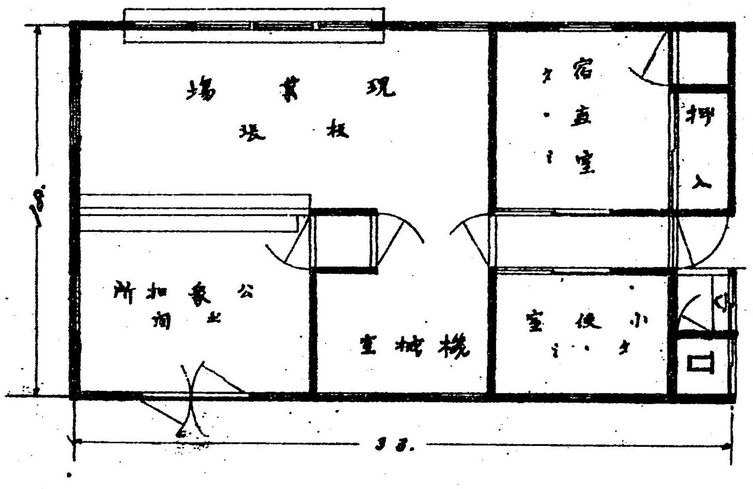


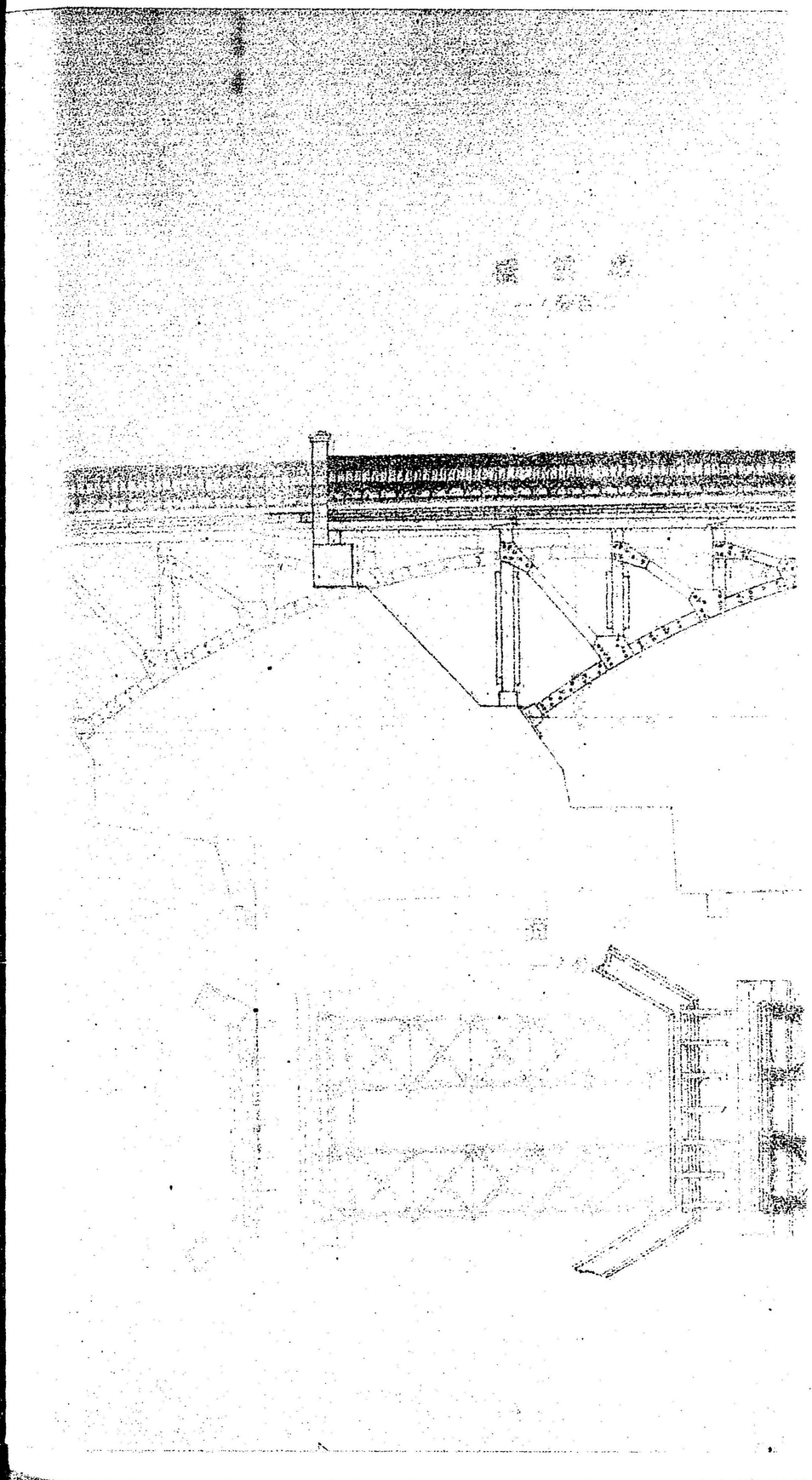
第壹會場郵便局正面

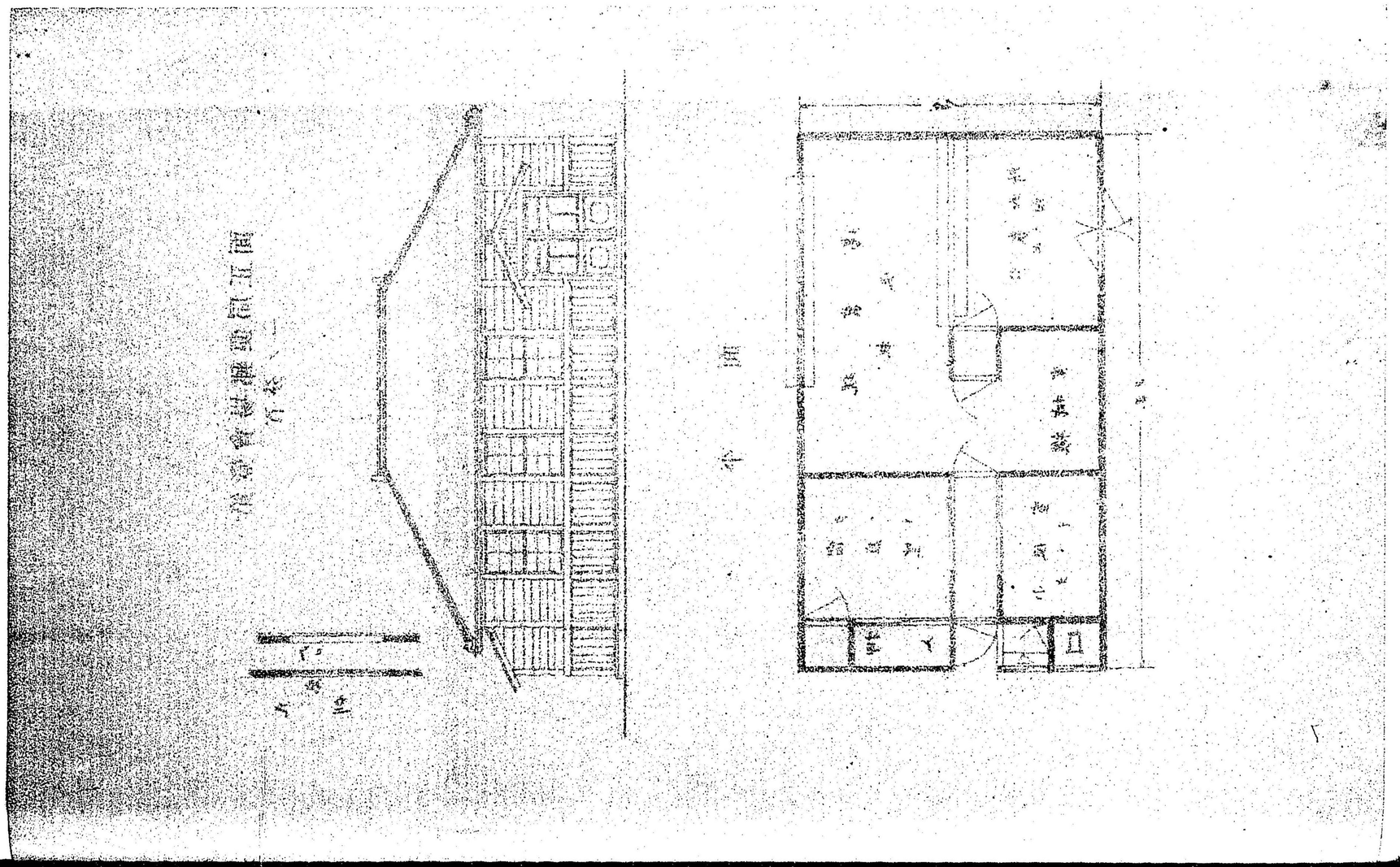
百分ノ一



平面

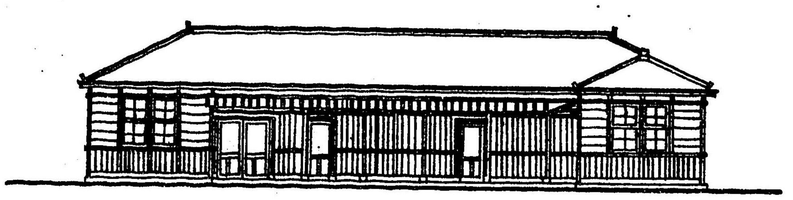




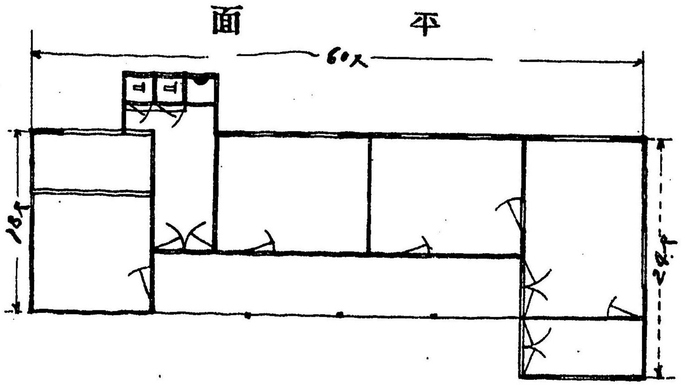


第一會場醫員詰所正面

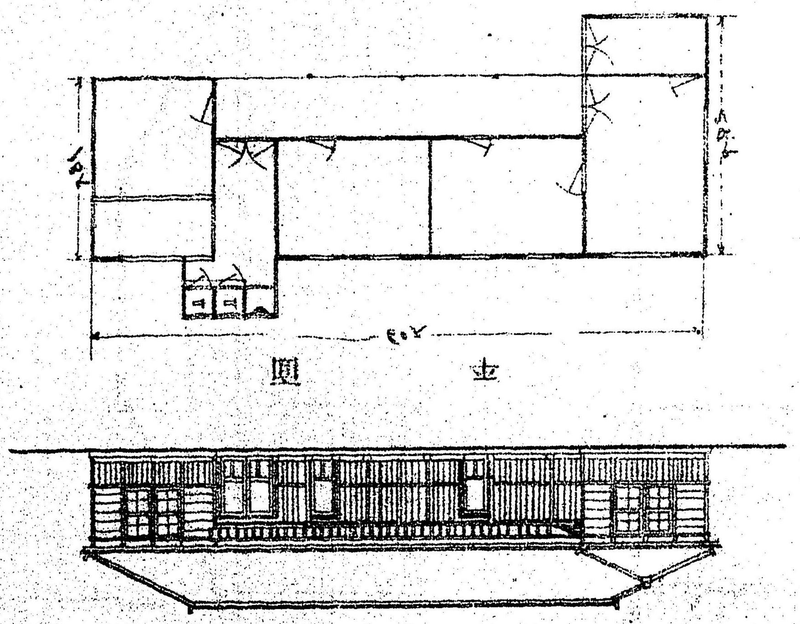
二百分ノ一



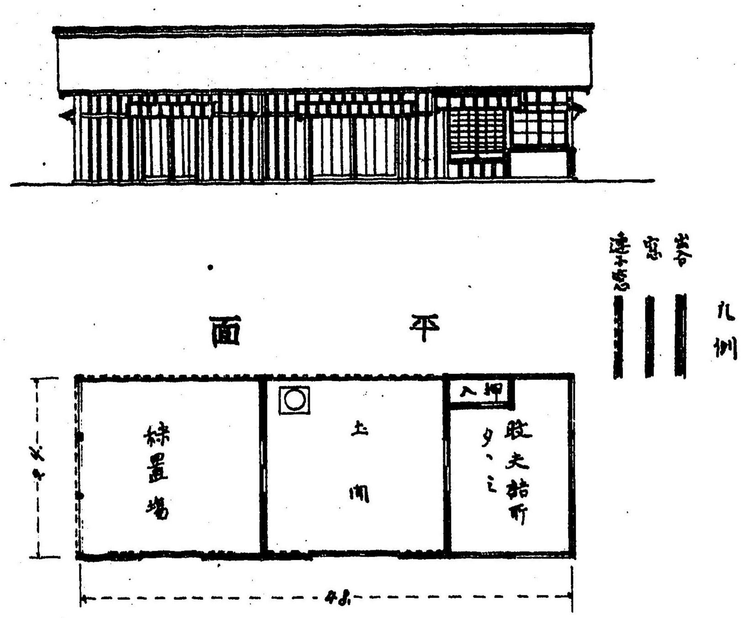
平面



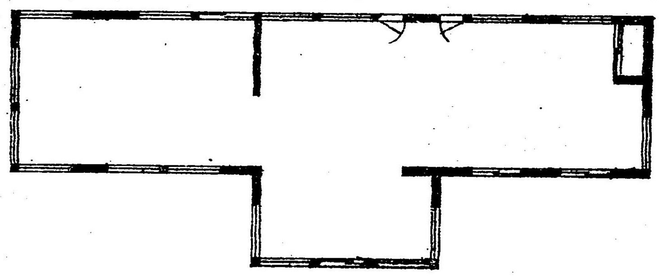
第一會社醫員詰所正面
二百分ノ一



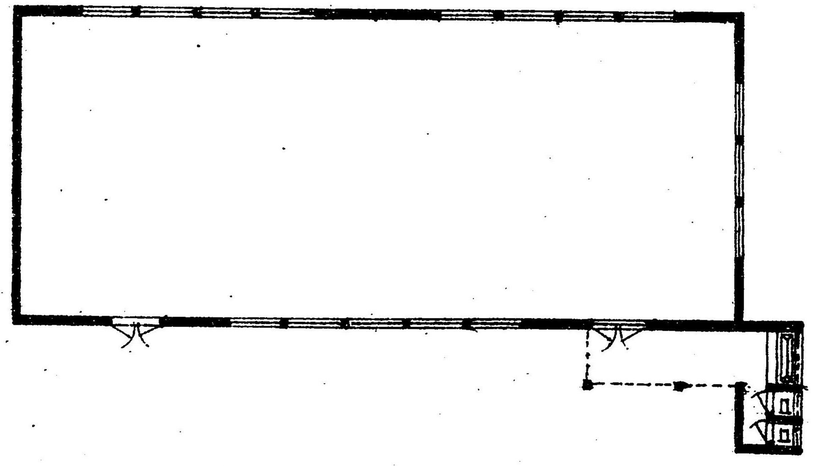
教夫詰所正面
二百分ノ一



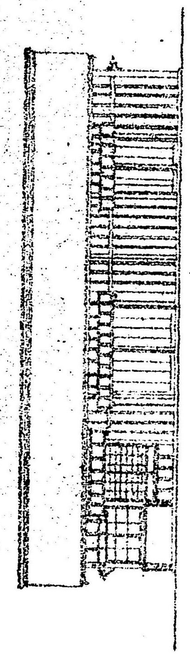
荷解場平面
二百分ノ一



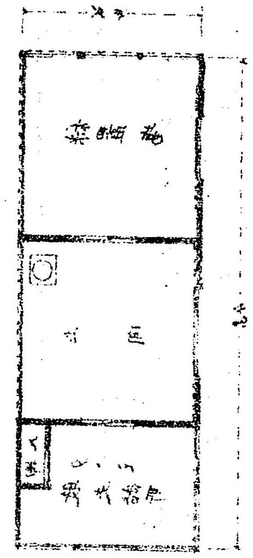
空箱置場平面
二百分ノ一

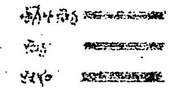


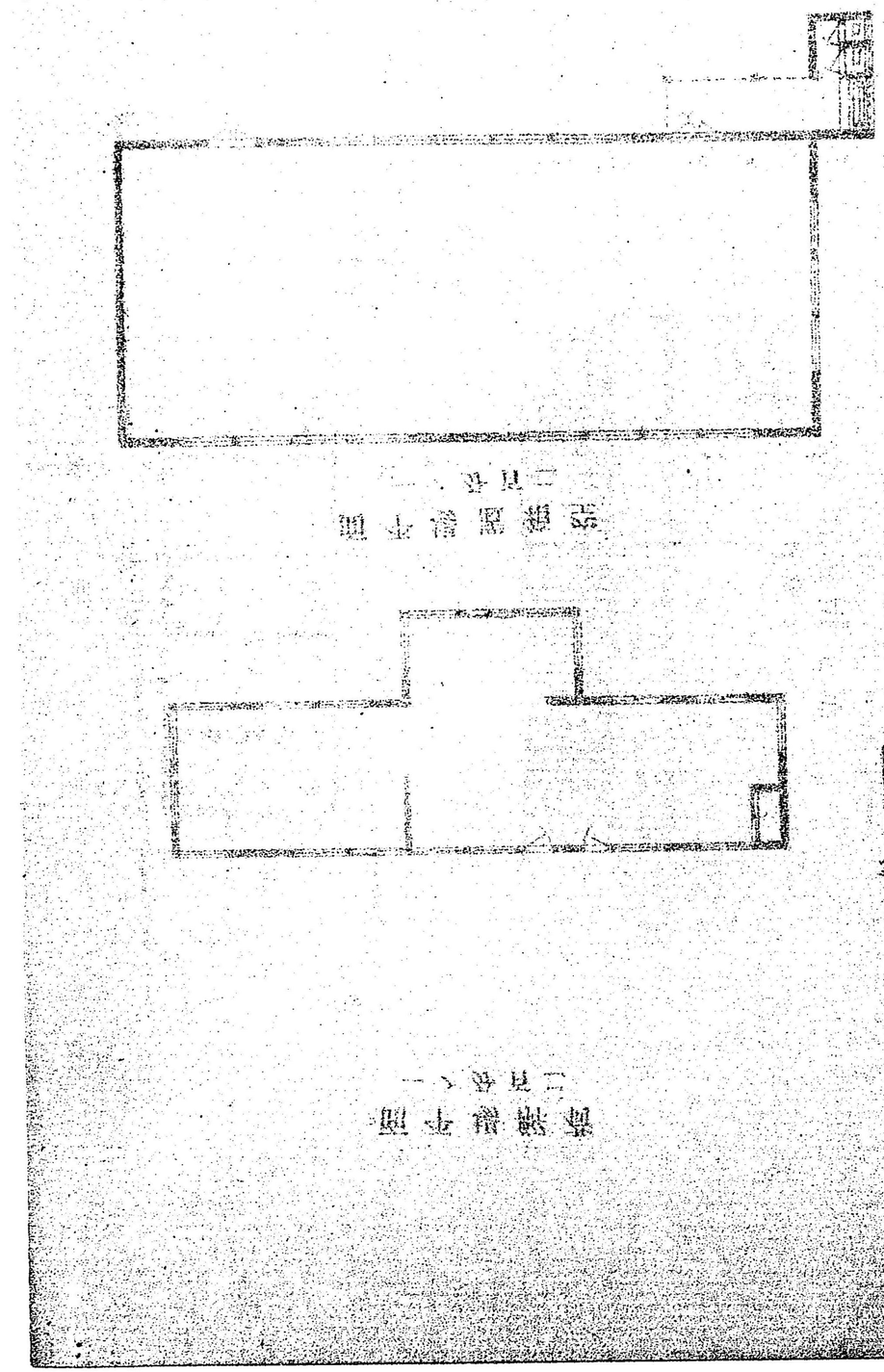
面五頭諸夫姓
一ノ分百二

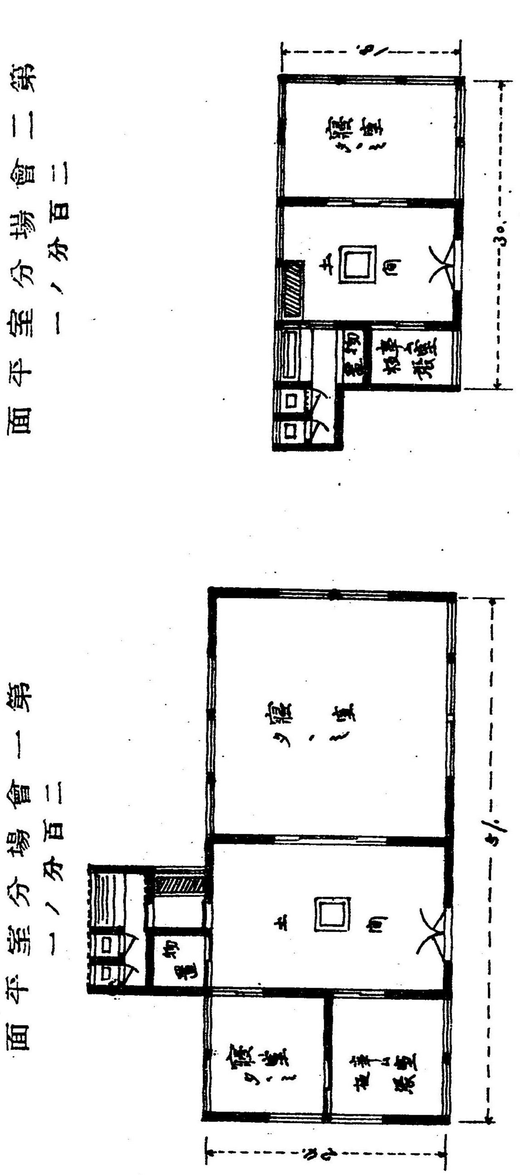


面平

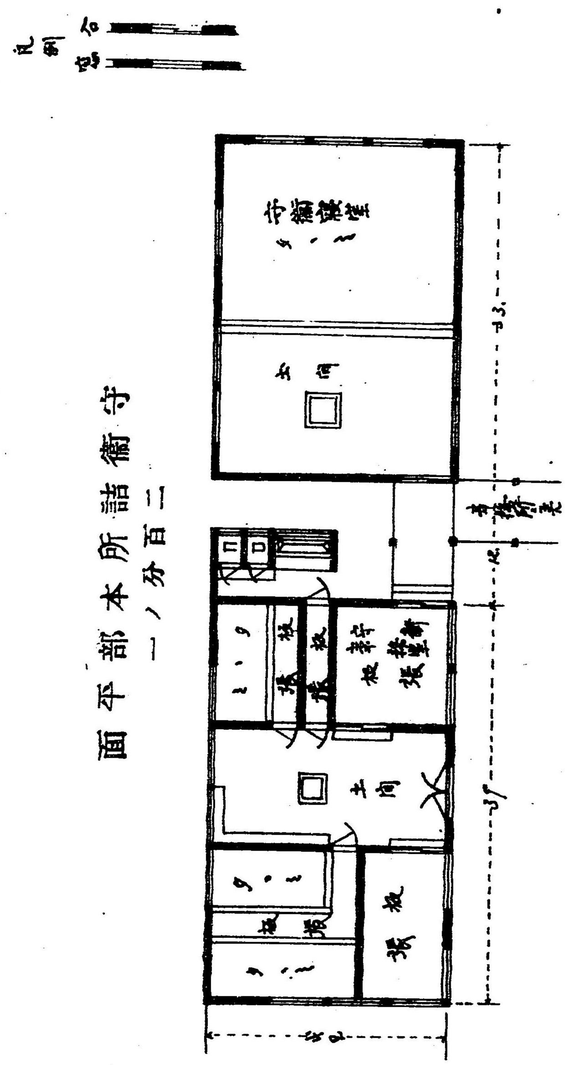








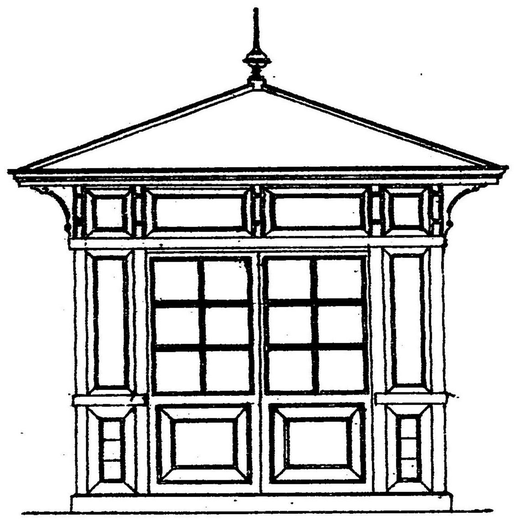
面平室分場會二第
一ノ分百二



面平部本所詰衛守
一ノ分百二

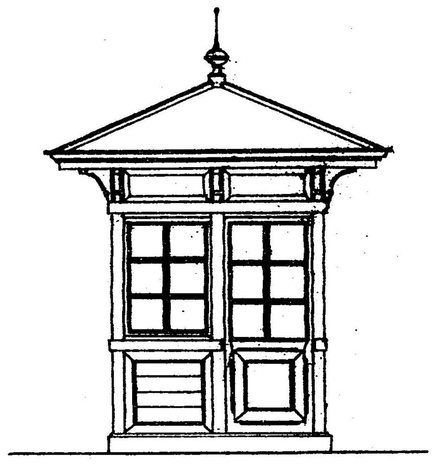
憲兵詰所正面

一ノ分十五



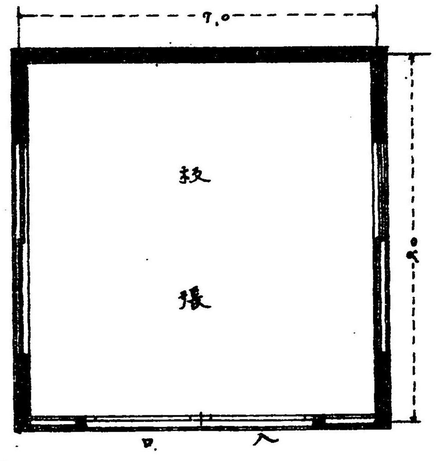
守衛見張所正面

一ノ分十五



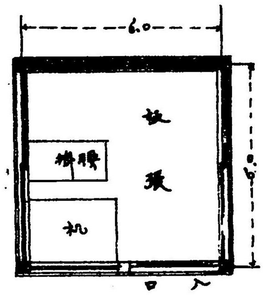
憲兵詰所平面

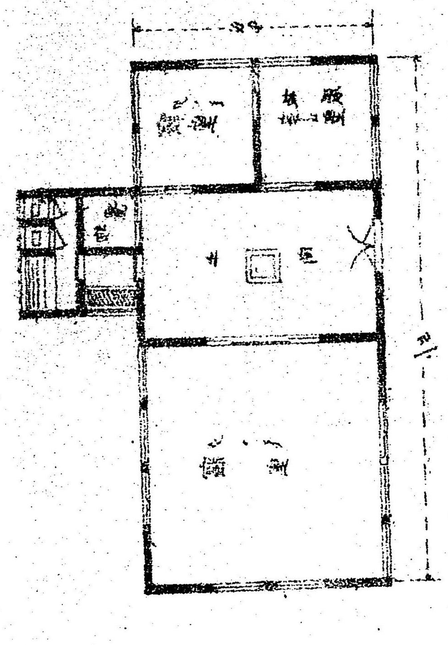
一ノ分十五

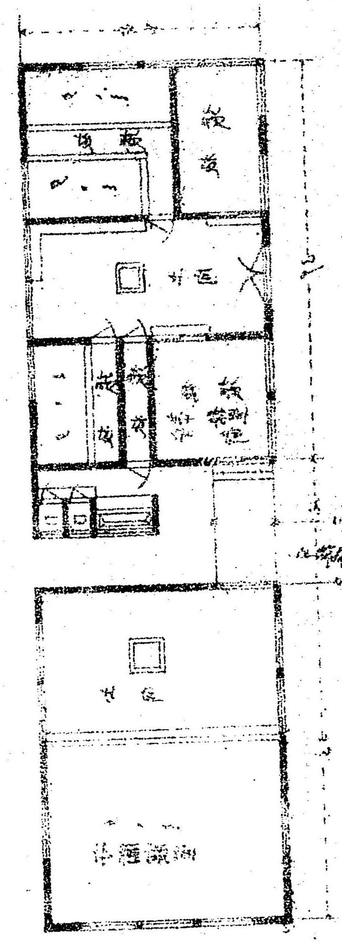


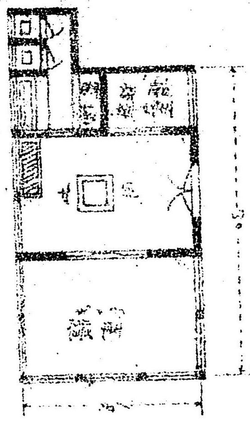
守衛見張所平面

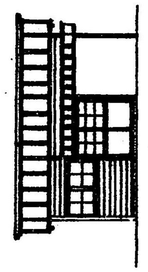
一ノ分十五



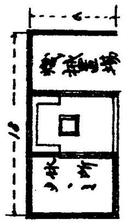




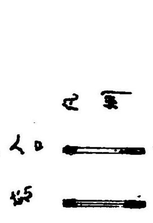




面正所詰防消
一ノ分百二

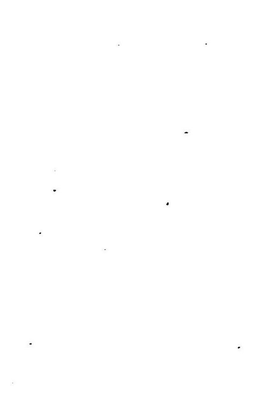


面平

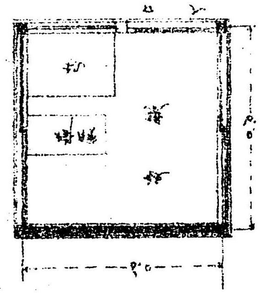


凡例

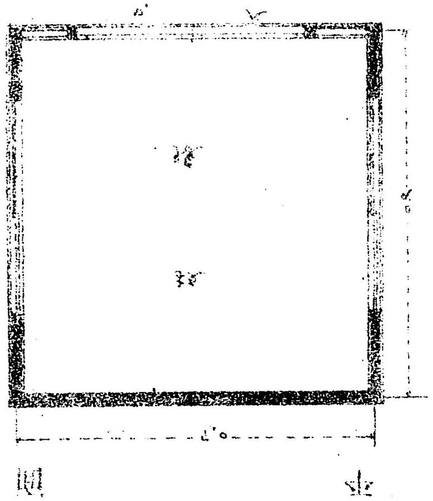
面正所詰査巡
一ノ分百二



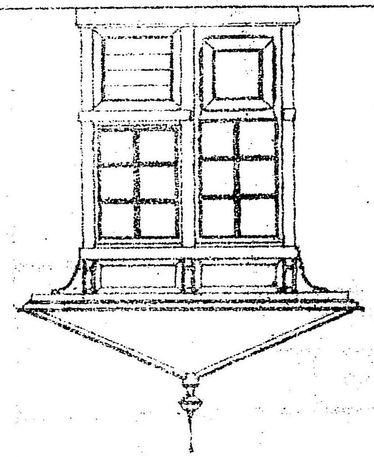
面平



本圖

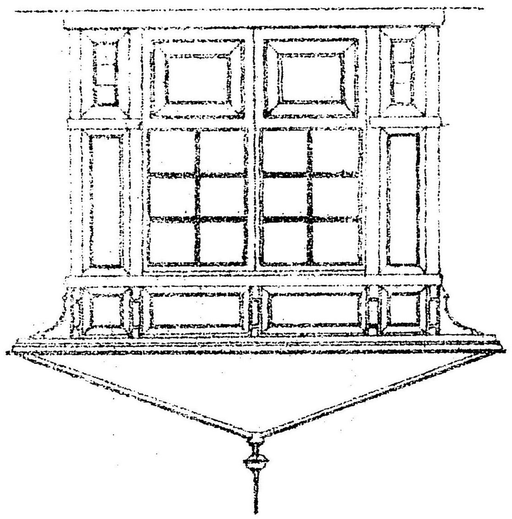


本圖



室休學兒保育託 正面

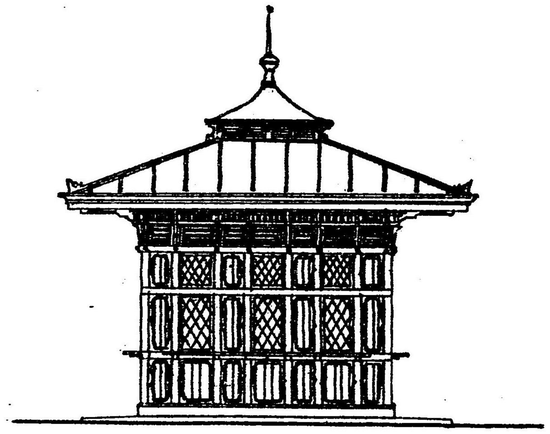
五十分ノ一

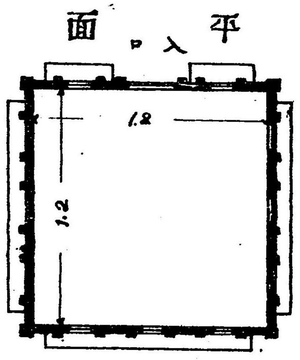


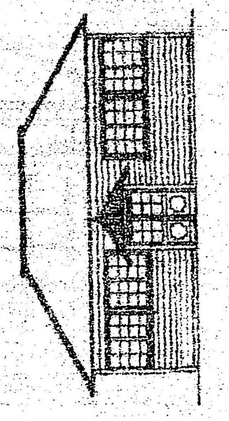
診療及治療室 正面

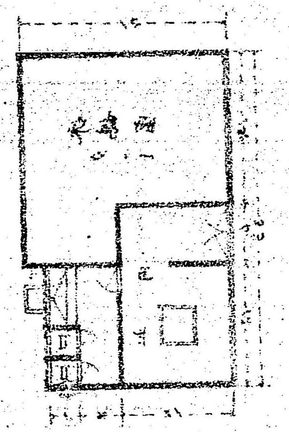
五十分ノ一

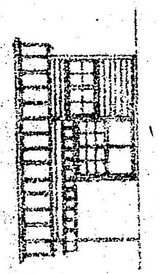
入場券賣場正面
百分ノ一

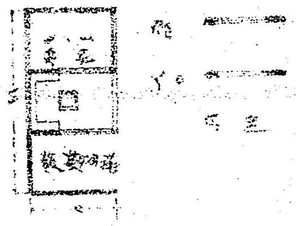




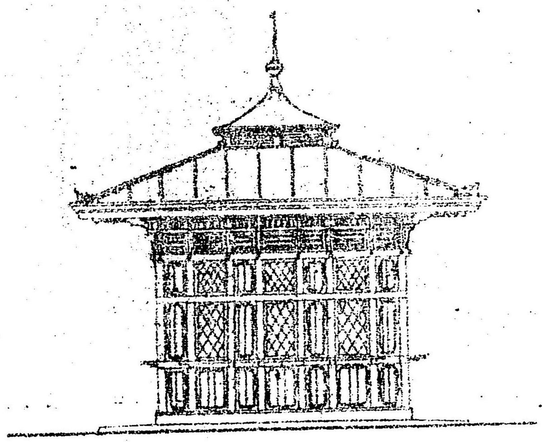


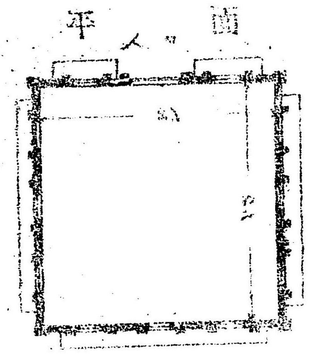






面五 [illegible] 人
一八分百





ノ建物トシ其内ヲ事務室ト審査室トニ區劃スヘキ計畫ナリシモ事業ノ進捗ニ伴ヒ總テノ計畫次第ニ擴張ヲ來セシ結果此建物ハ事務室ノミニ充テテ既ニ不足ヲ告ケタルヲ以テ更ニ四十五坪ノ增築ヲ爲セシト雖トモ猶ホ狹隘ヲ告ケ遂ニ審査室ハ凌雲院本堂及其附屬舍ヲ借入レ尙空箱置場荷解所等ヲ充用シテ僅カニ之ヲ補ヒタリ事務所ノ構造ハ木造平家根生子板葺軒高十三尺五寸內部竪羽目板張外部附柱白漆喰塗リ木部「ペンキ」塗リ見隱部分日本下見打トセリ

第三節 第二會場建築物

其一 正門

第二會場ノ正門ハ「オースタリヤレネーサンス」式ニ法リタル建築ニシテ桁行十七間梁間三間五分ヨリ成リ中央部十間ヲ出入口ニ充テ右ヲ巡査詰所トシ左ヲ郵便局ニ充ツ構造ハ木骨塗リ家ニシテ家根ハ「マルソイド」葺軒高中央部「バラベット」上端迄三十七尺左右部同上二十四尺五寸トシ正面ノ上部ヘ「東京勸業博覽會第二會場」ノ十一大文字ヲ出セリ

其二 機械館

機械館ハ當所ノ設計ニテハ第一會場第四號館ノ位置ニ設置スル筈ナリシモ事業ノ擴張ト共ニ第二會場ニ建築スルノ必要ヲ生シ池ノ端ニ設置スルニ決シタリ然レトモ地盤ノ軟弱ナルト位置變更ノ爲メニ工費ヲ增加シテ纔ニ建設ヲ竣レリ其形式ハ「イタリヤレネーサンス」ニ法リ梁間十四間桁行三十六間總建坪五百四坪木造平家堀建屋根生子板葺軒高本家地盤ヨリ桁

峠迄三十九尺七寸下家二十六尺外部漆喰塗リ腰廻リ側廻リ側石人造石張付内部竪羽目板六尺通リ「リサイド」塗リ其他小屋全部マテ胡粉塗リトス機軸取付ケノ爲メニハ二間口ニ松一尺角ノ柱ヲ堀建テ床ハ人造石敷トセリ

其三　外國製品館

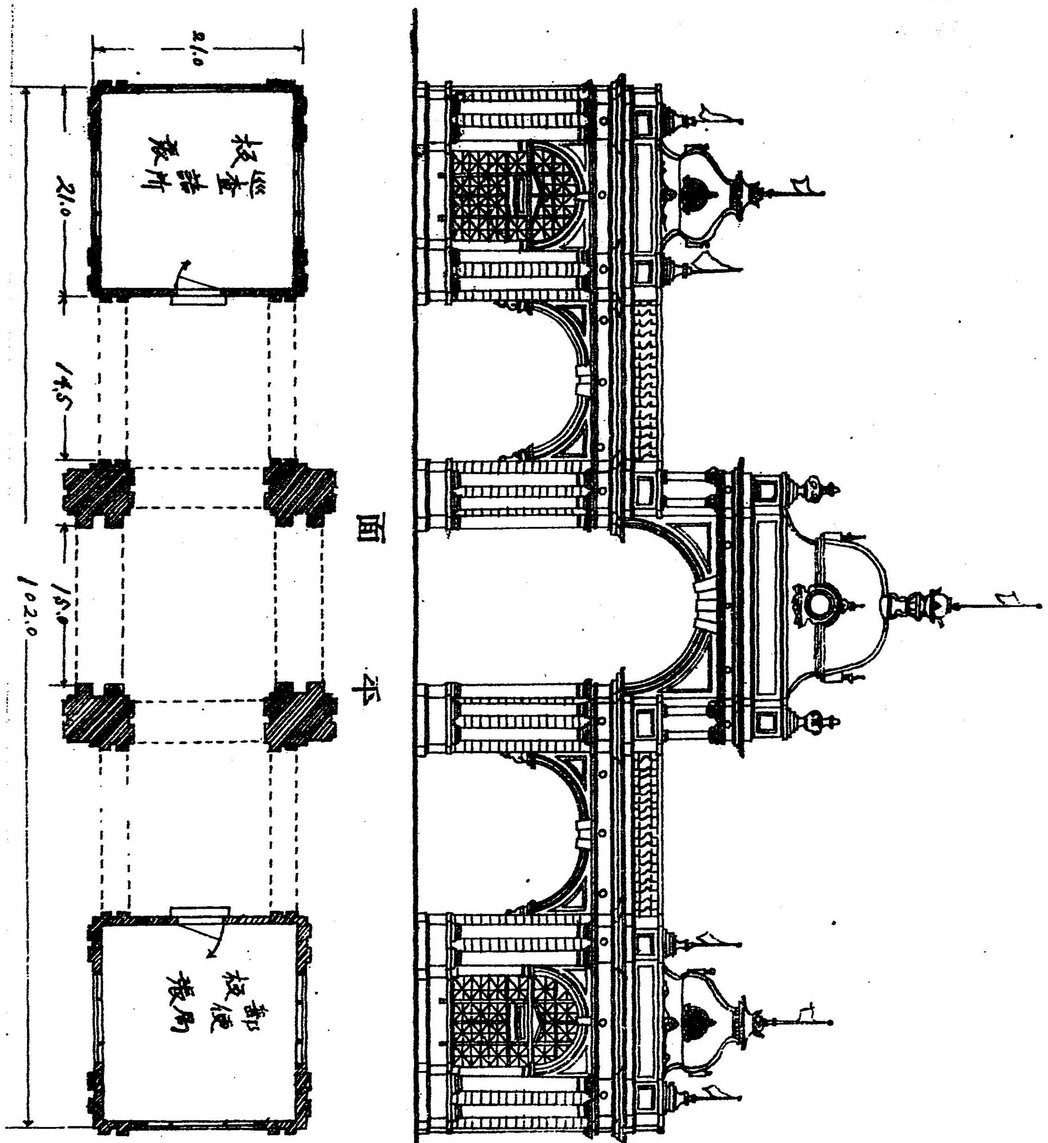
初メ本會ニ於テハ外國製品ノ爲メニ別ニ陳列館ヲ建設セス其出品ヲ希望スル者ニ對シテハ各其自營ニ任セ別館ヲ建設スルコトヲ許可シ其敷地トシテハ第二會場馬見所跡ノ地ヲ以テセリ然ルニ東京勸業協會ニ於テ曩ニ博物館ノ許可ヲ得テ其常置陳列館ヲ此處ニ建設スルニ決セシモ經濟上ノ都合ニヨリ其儘遲延セシニ本會ノ開設ヲ好機トシテ此際常設館ヲ建設シ之ヲ外國製品出品者ニ貸與ノ議ヲ定メ之ヲ本會ニ申出テタリ依テ猶ホ交渉ノ末左ノ方法ニヨリ其建築ニ著手セリ

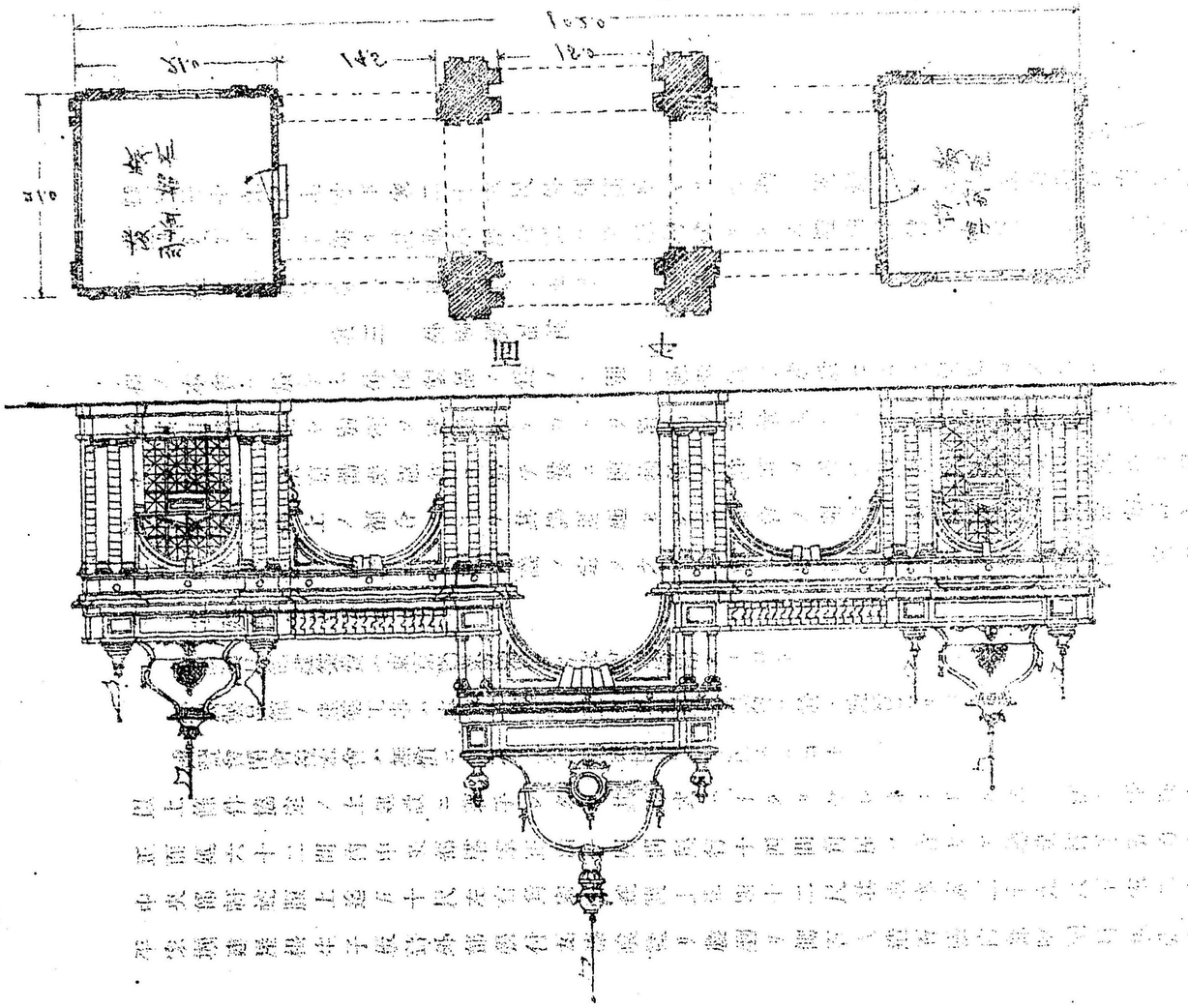
外國製品館建築費ハ東京勸業協會ヨリ本會ニ寄附スルコト

外國製品館ノ建築工事ハ本會ノ委託ヲ受ケ東京勸業協會ヘ下附スルコト

博覽會閉會後本會ハ無償ニテ之ヲ東京勸業協會ニ於テ施行スルコト

以上條件協定ノ上建設ニ著手シタリ其形式ハ「イタリヤレネーサンス」ニ法リ梁間十二間桁行正面延六十二間內中央部塔家正面十四間奥行十四間角屋ヲ合セテ總建坪千五百十二坪軒高中央部軒蛇腹上迄五十尺左右角家軒蛇腹上迄四十二尺其他本家三十九尺下家二十六尺木造平家堀建屋根生子板葺外部張付瓦漆喰塗リ腰廻リ側石人造石張內部竪羽目板張木製天井付

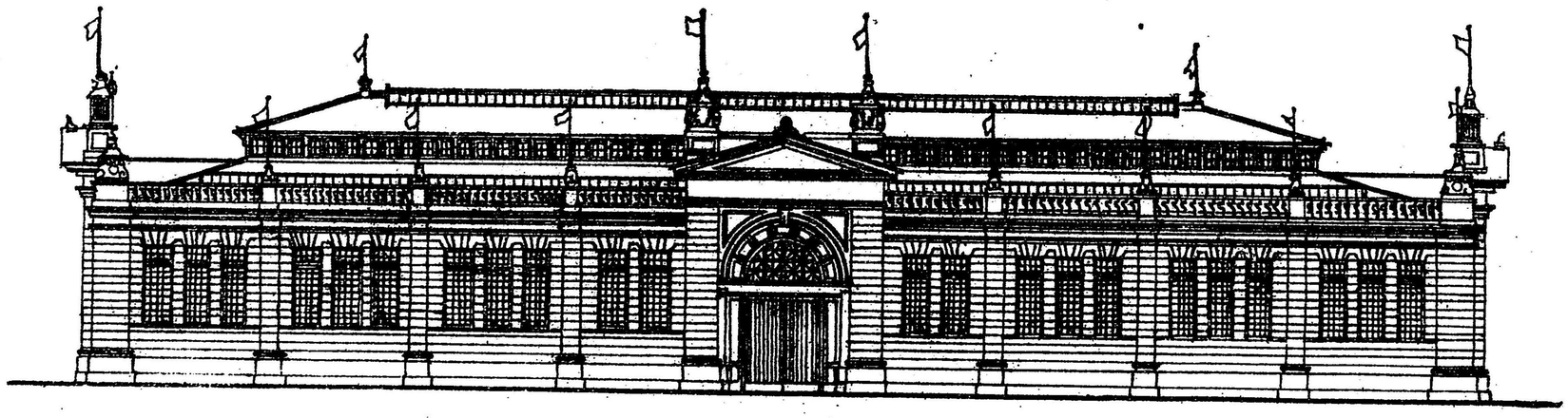


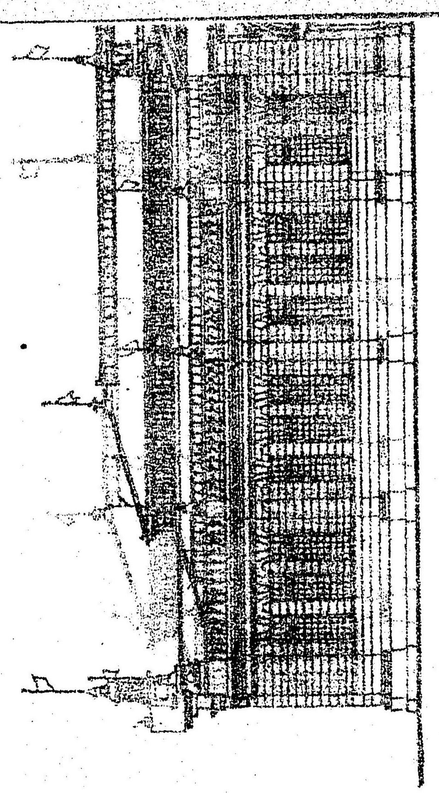


機械館

器械館正面

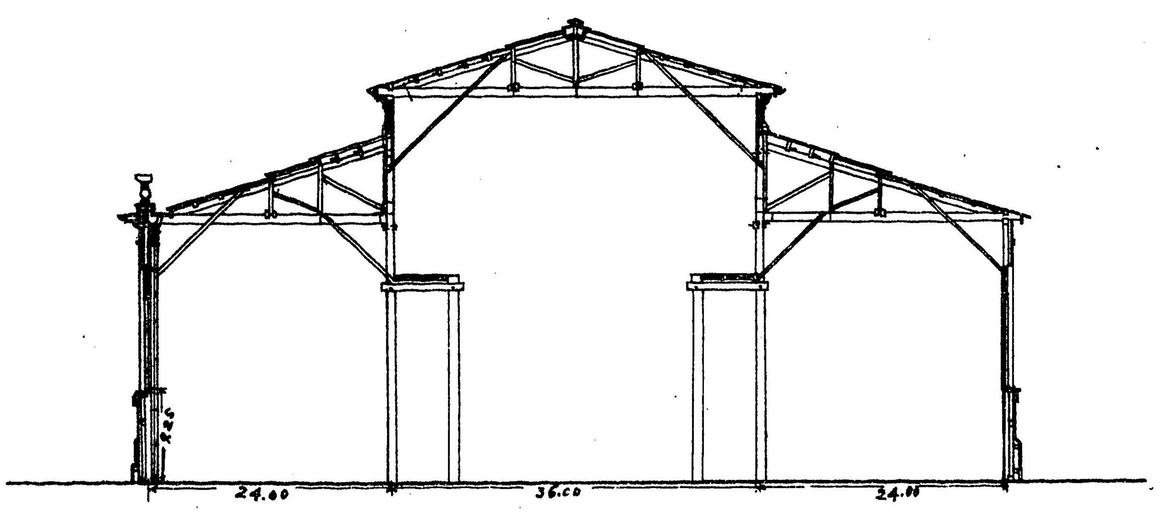
一ノ分百三

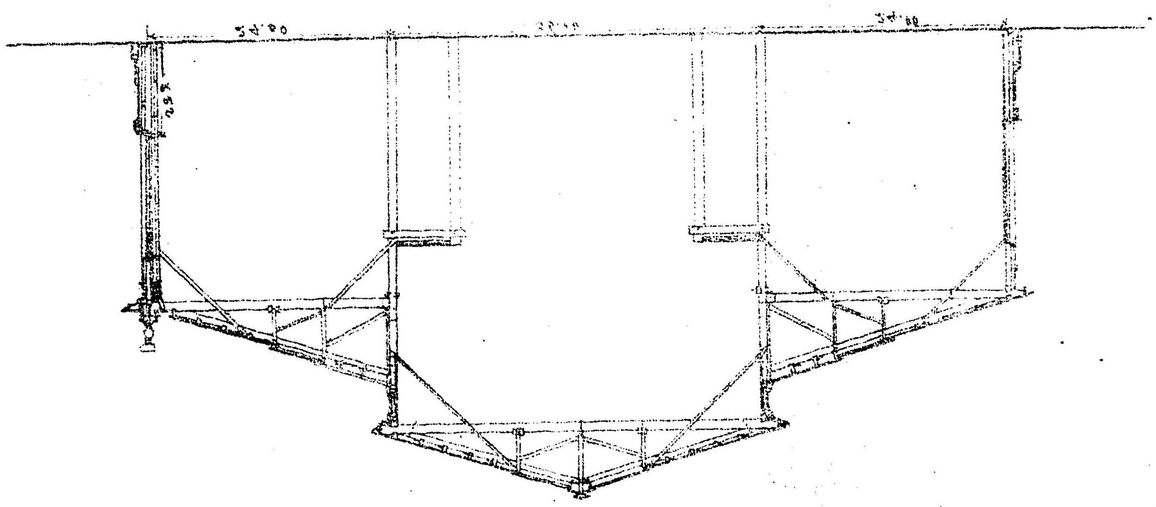




面断館械器

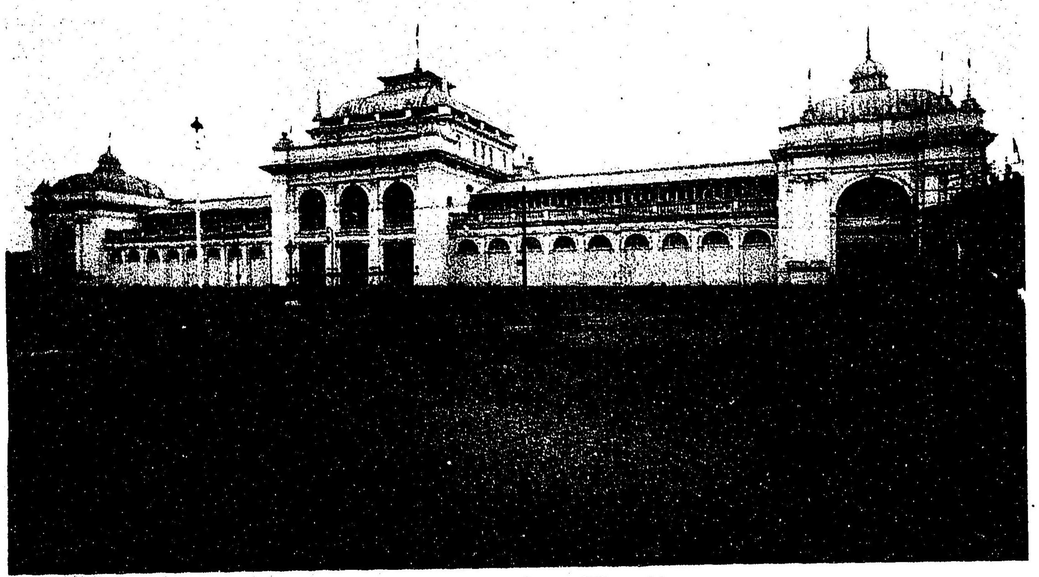
一ノ分百二





第二圖 第八一

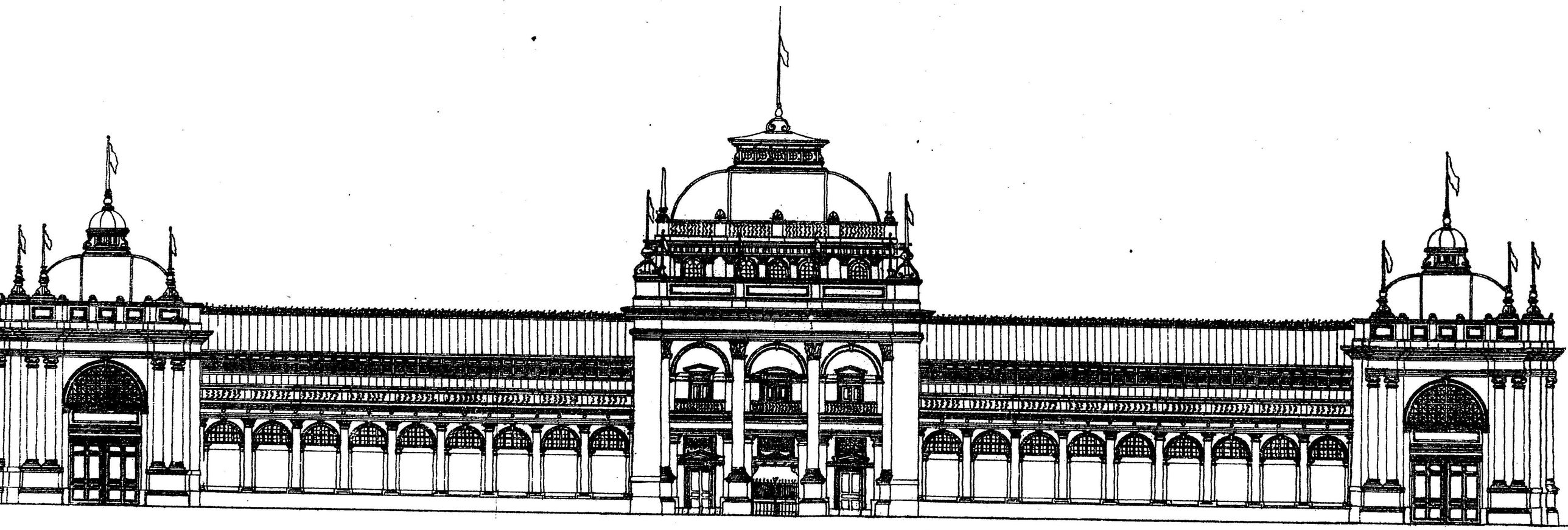
器製鑄鐵面

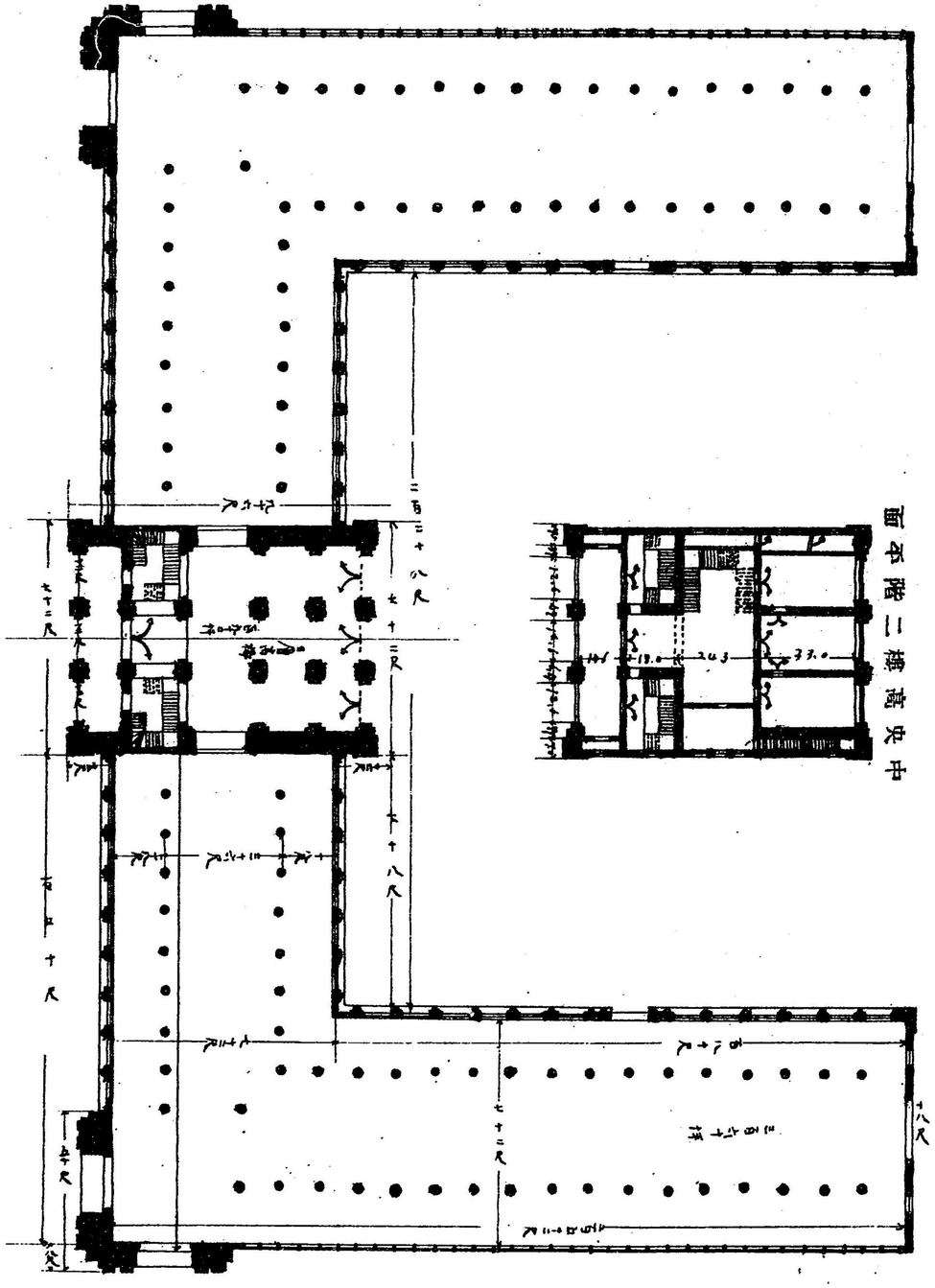


外國製品館

外國館正面

一ノ分百三

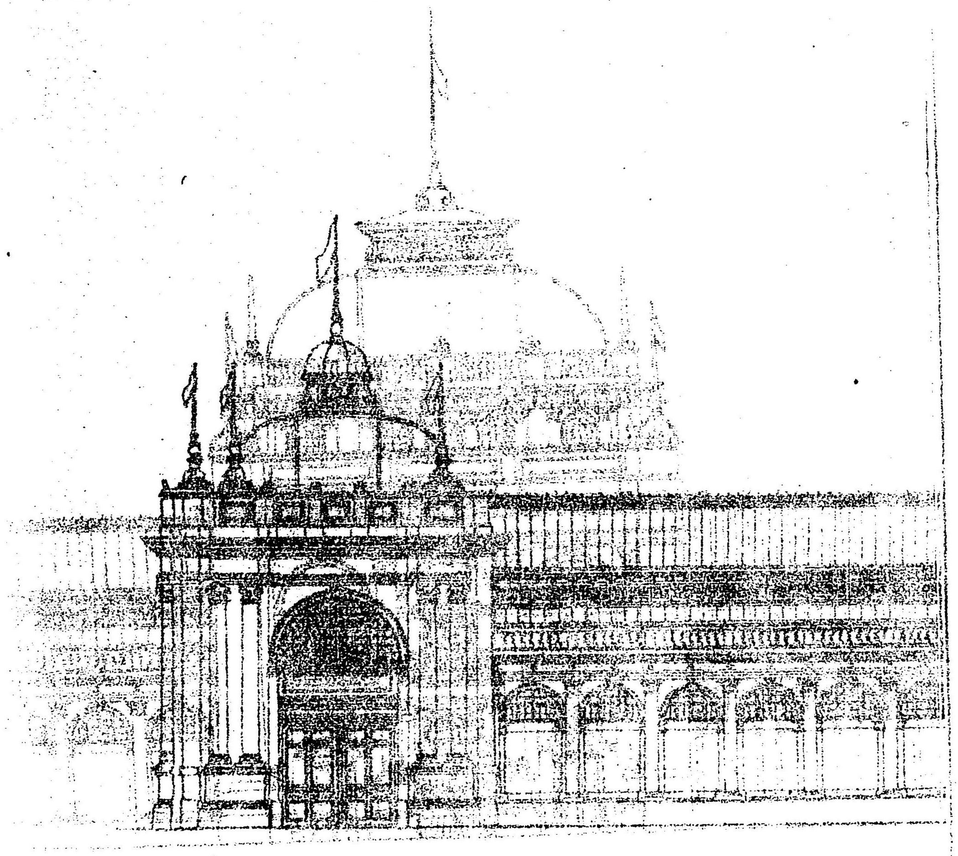




面平館品製國外
一ノ分百六

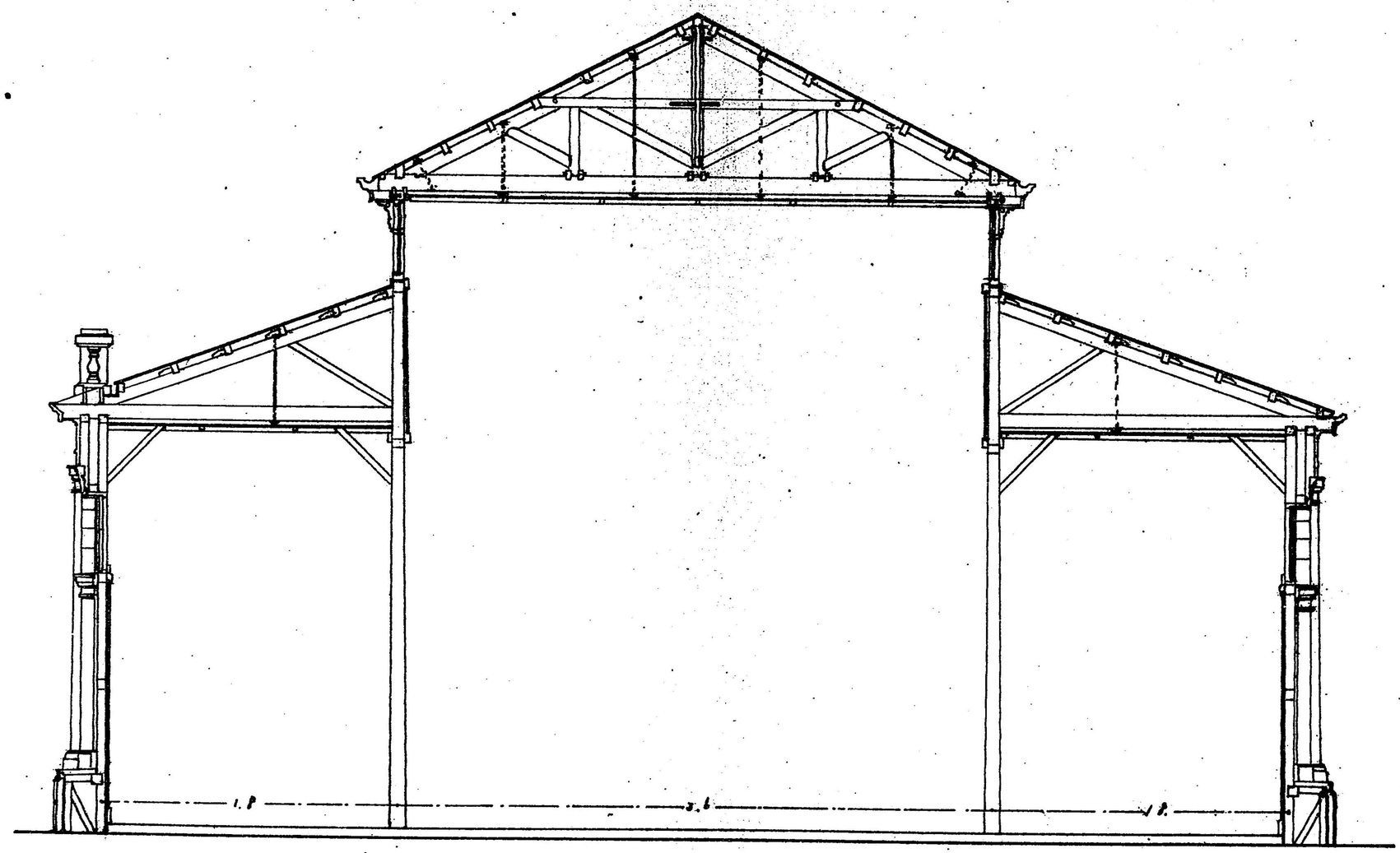
面平階二樓高央中

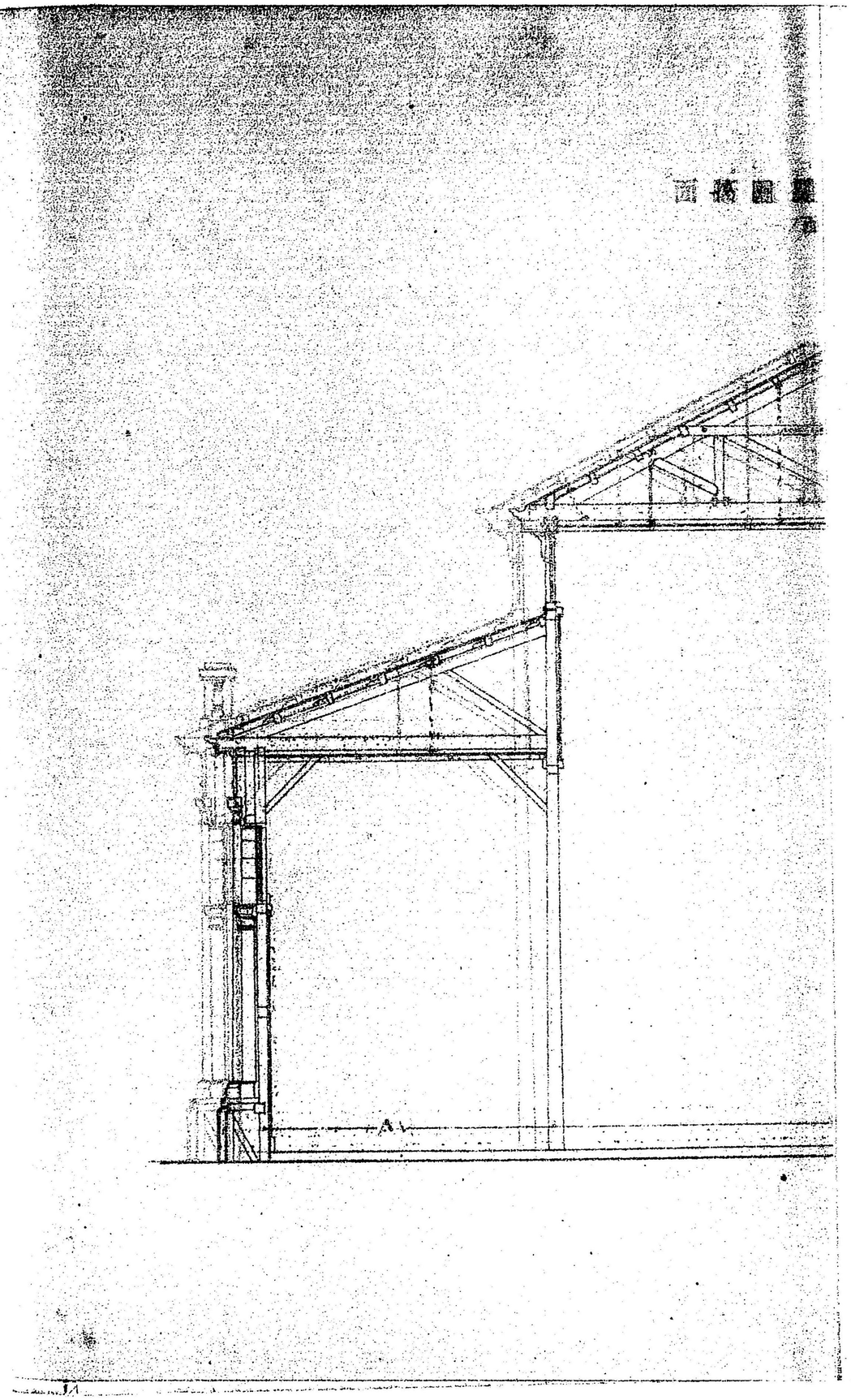
外國館正面
三百分ノ一



外國製品館斷面

百分ノ一





床人造四半割石敷其他各館ノ構造ニ等シ

其四　動力室

動力室ハ其式ヲ「フランス」ノ建築ニ法リ桁行十五間梁間五間五分此建坪八十三坪五合ノ木造「ペンキ」塗リ「ブリキ」葺平家ニシテ軒高地盤ヨリ軒蛇腹上迄十五尺内部ハ竪羽目化粧小屋リサイドペイト」及胡粉塗リトス其内部ニハ東京瓦斯株式會社ノ出品ニ係ル瓦斯エンジン三臺ヲ据付ケ床ハ備前陶器株式會社ノ特志ニ依リ其出品ニ係ル「タイル」ヲ以テ敷詰メタリ

其五　車輛館

車輛館ハ桁行十間梁間五間此建坪五十坪木造平家「ペンキ」塗リ屋根「ラバロイド」葺ニシテ構造ハ各館ニ等シ

其六　事務分室及附屬建物

事務分室及醫員詰所消防夫詰所等ノ建物ハ率ネ木造平家生子板葺日本下見ノ構造ナリ

其七　觀月橋

此橋ハ延長百三間幅三間ニシテ中央部五十間ヲ一段高ク「アーチ」形トシ其前後共總テ石積ノ結構トス此構造ハ木骨人造石張リトシ橋面モ亦人造石ヲ以テ敷石張リトス基礎ハ杭打地形トナセリ又此橋ハ本鄉臺方面ヨリ上野公園ニ達スル衝路ニシテ且ツ外國製品館ト相對シ美觀ヲ添ユルヲ以テ半永久的ニ築造シ閉會後ハ之レヲ博物館ニ寄贈スルコトヽセリ

其八　觀月門

觀月門ハ「イングリースレネーサンス」式トシ桁行壁面二十九尺梁間壁面二十一尺軒高「パラペット」上端迄三十五尺五寸左右障壁ハ二十一尺ツヽ此高笠石上端迄十六尺構造ハ正門ト略同一ナリ

其九　奏樂堂

奏樂堂ハ「フランスレネーサンス」式ニ法リ堀建造八角形ニシテ徑四間此建坪十三坪二合五才構造ハ木造「ペンキ」塗リ屋根「ラバロイド」葺床人造石叩トス

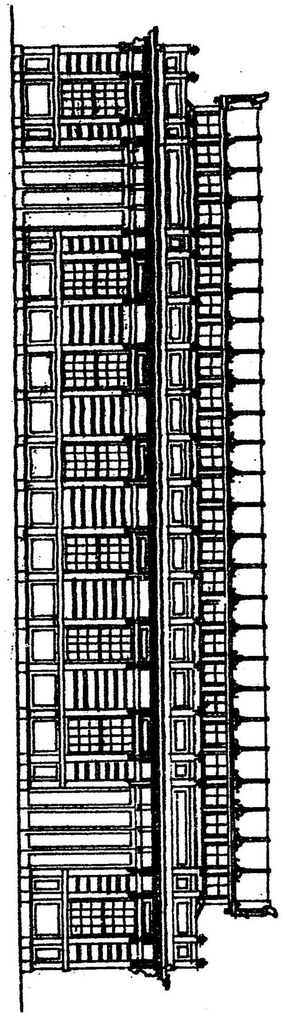
其十　張出

此張出トハ機械館前ノ道路狹隘ナルヲ以テ不忍池中ヘ張出シ床ヲ設ケ土ヲ覆ヒ道路トナセシモノニシテ此面積約二百坪ナリ其構造ハ池中ヘ松杭ヲ打込ミ梁及根太ヲ渡シ厚板ヲ張リテ上土凡厚一尺以上盛リ上ケ池ニ面セル部分ハ木材又ハ人造石ニシテ土留メ石垣及手摺等ヲ設置セリ

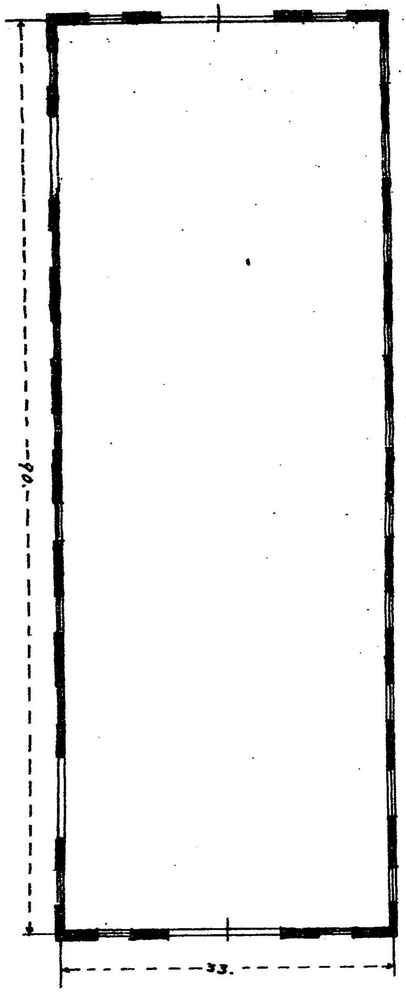
第四節　第三會場建築物

其一　體育館

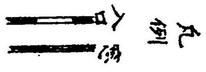
體育館ハ專ラ大日本體育會ノ建設ニ係ルモノニシテ正面十六間奥行十七間軒蛇腹上端迄二十二尺七寸其他附屬建物ヲ合セテ總建坪二百八十五坪七合五勺ニシテ内百六十坪ヲ體操場トシ床ハ板張トシ八十坪五合ヲ水浴場トシ水槽ノ周圍ハ六尺ノ廻廊ヲ設ケ構造ハ木造下見張リ「ペンキ」塗リ内部竪羽目張「リサイド」塗リトシ屋根ハ生子板葺トナセリ



面正室力動
一ノ分百二



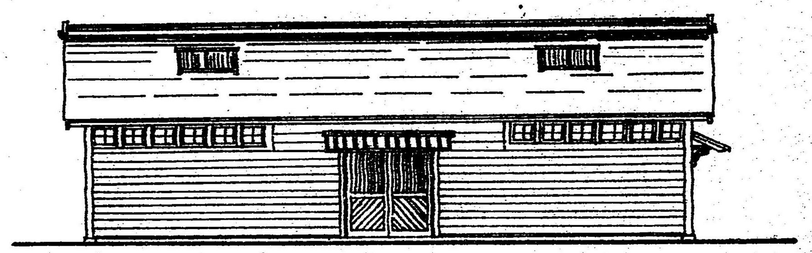
面平



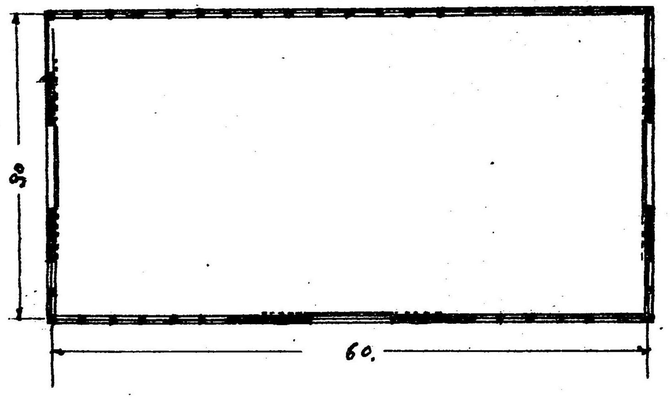
車輛館正面

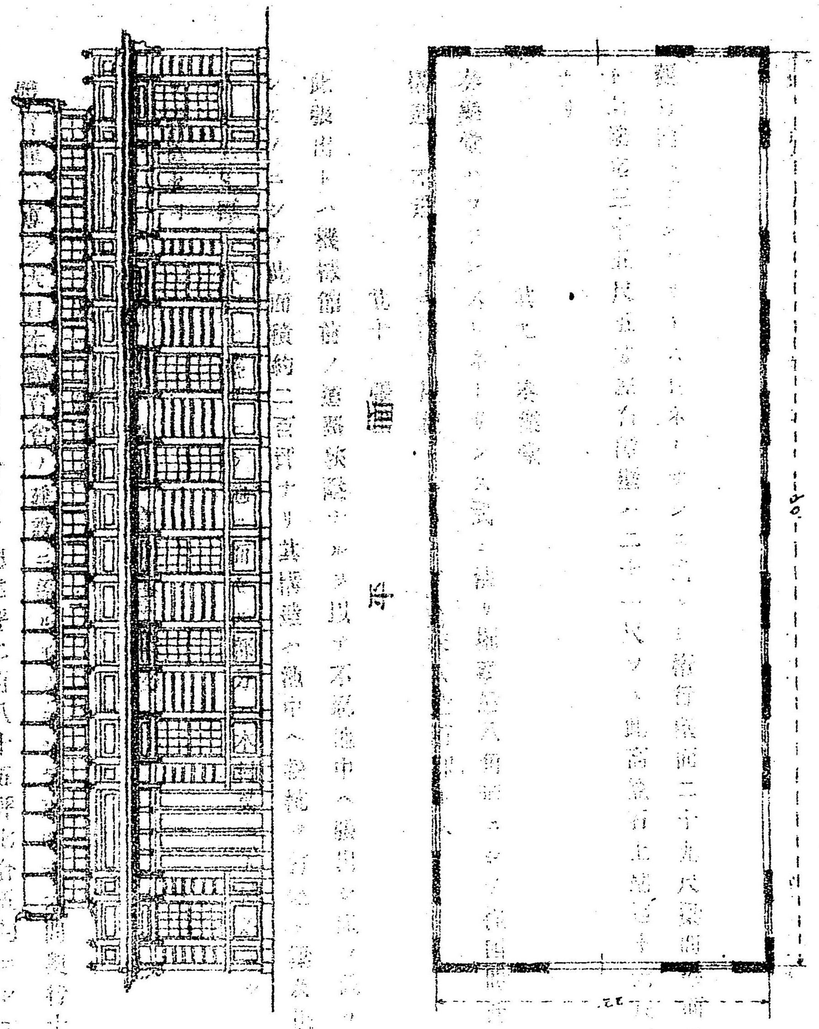
二百分ノ一

平面



平面

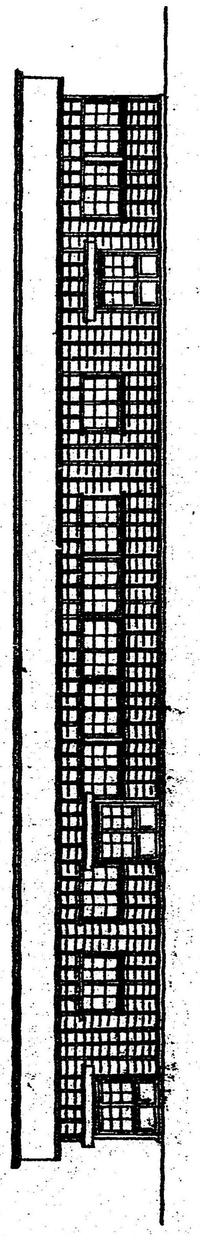


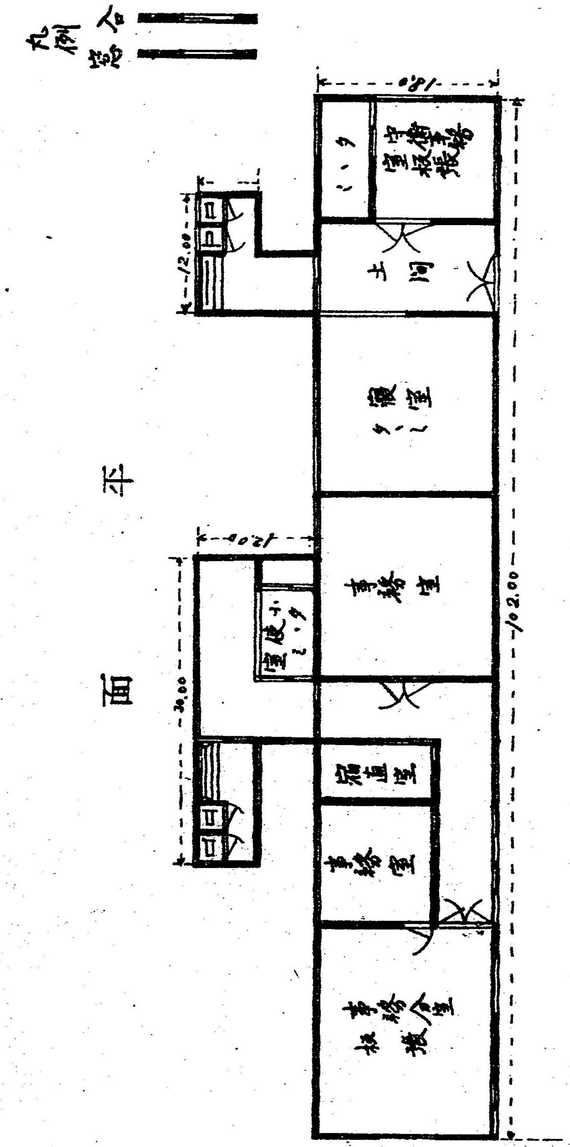


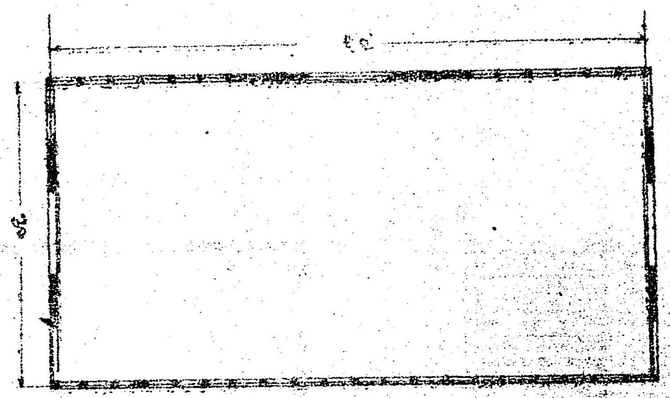
第二百一ノ分務事場會二第

面正所詰衞守及室分務事場會二第

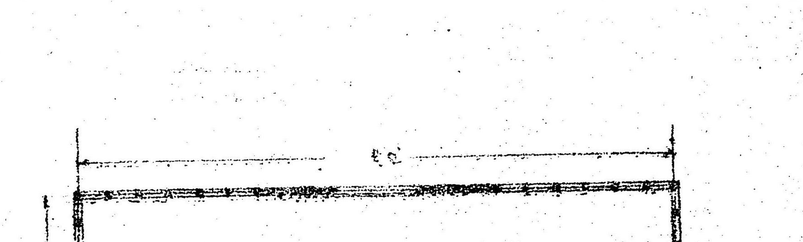
一ノ分百二第







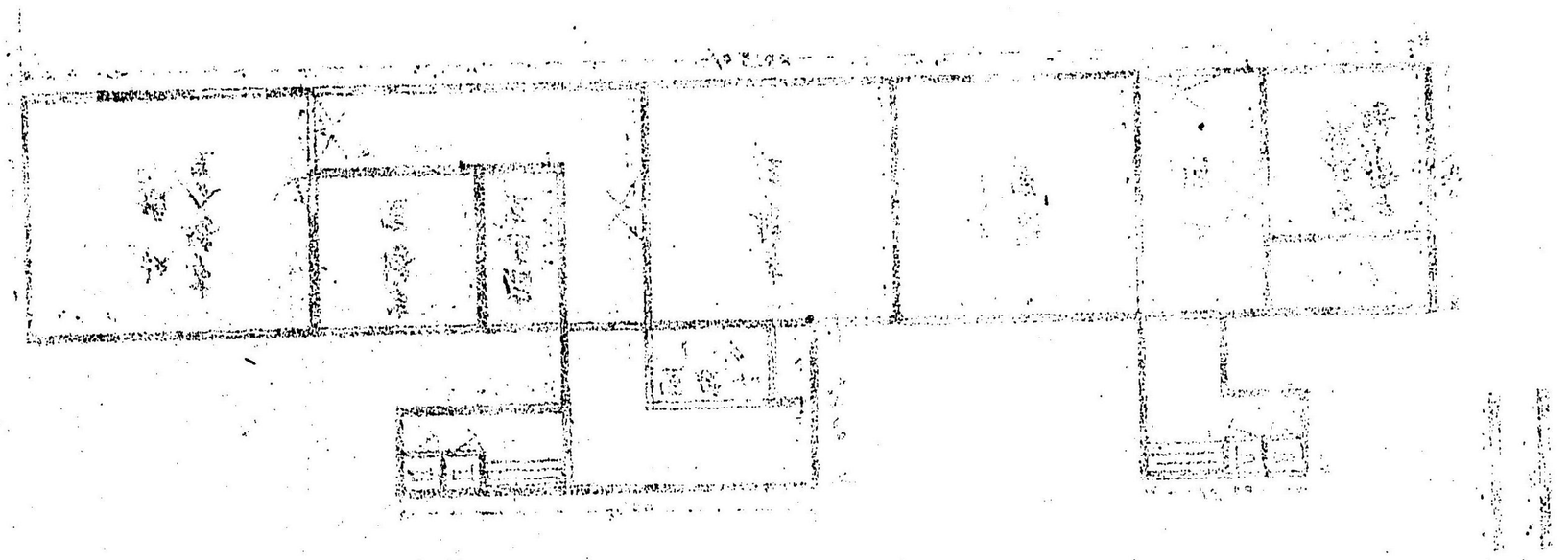
平面

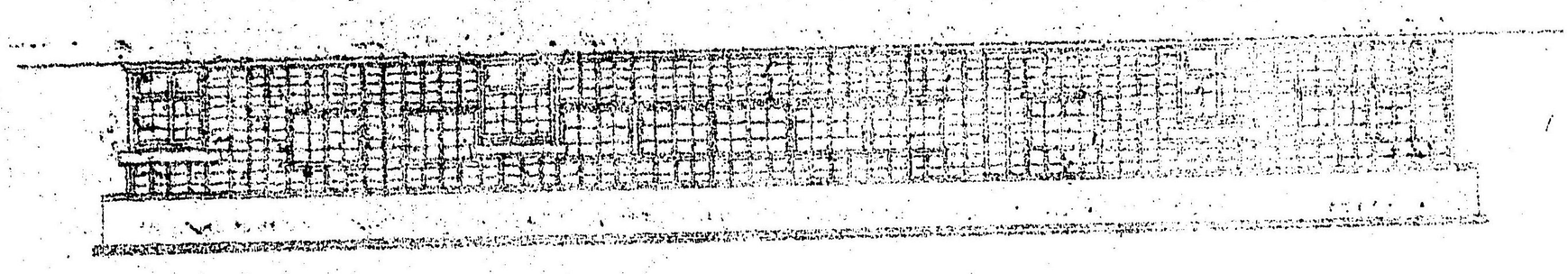


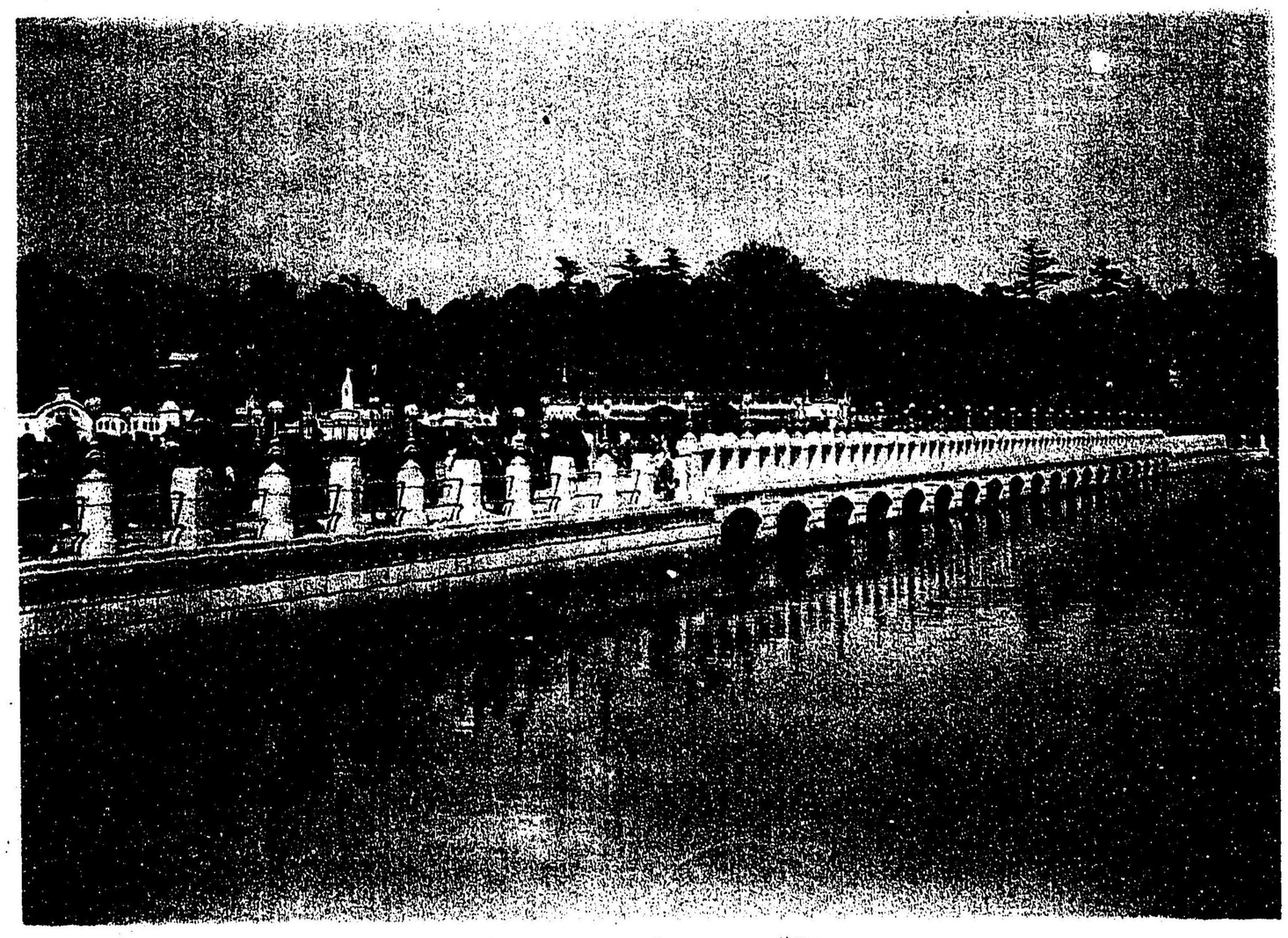
平面

東藤前方面

二百分ノ一



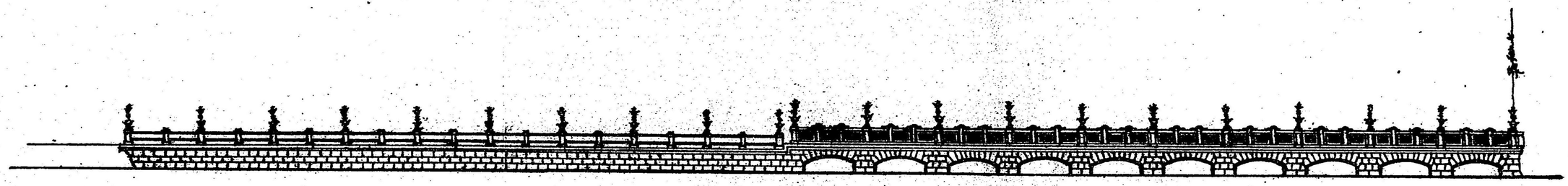




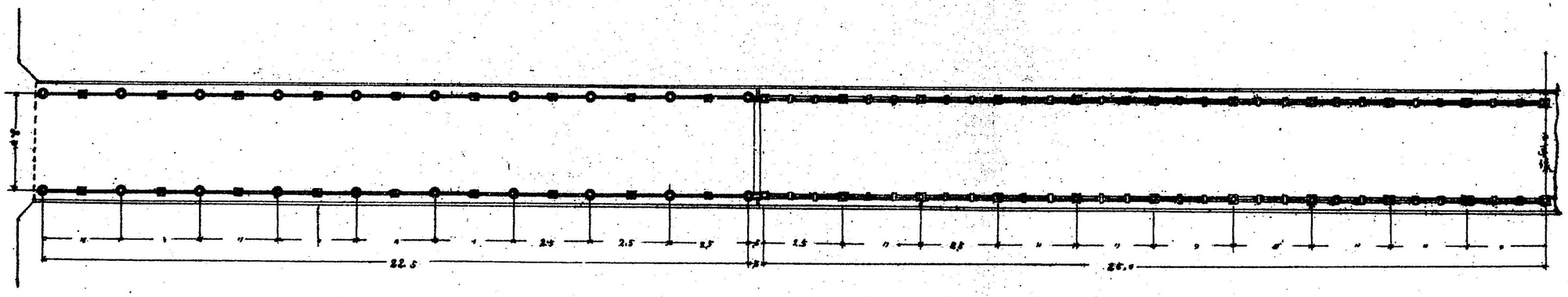
觀月橋

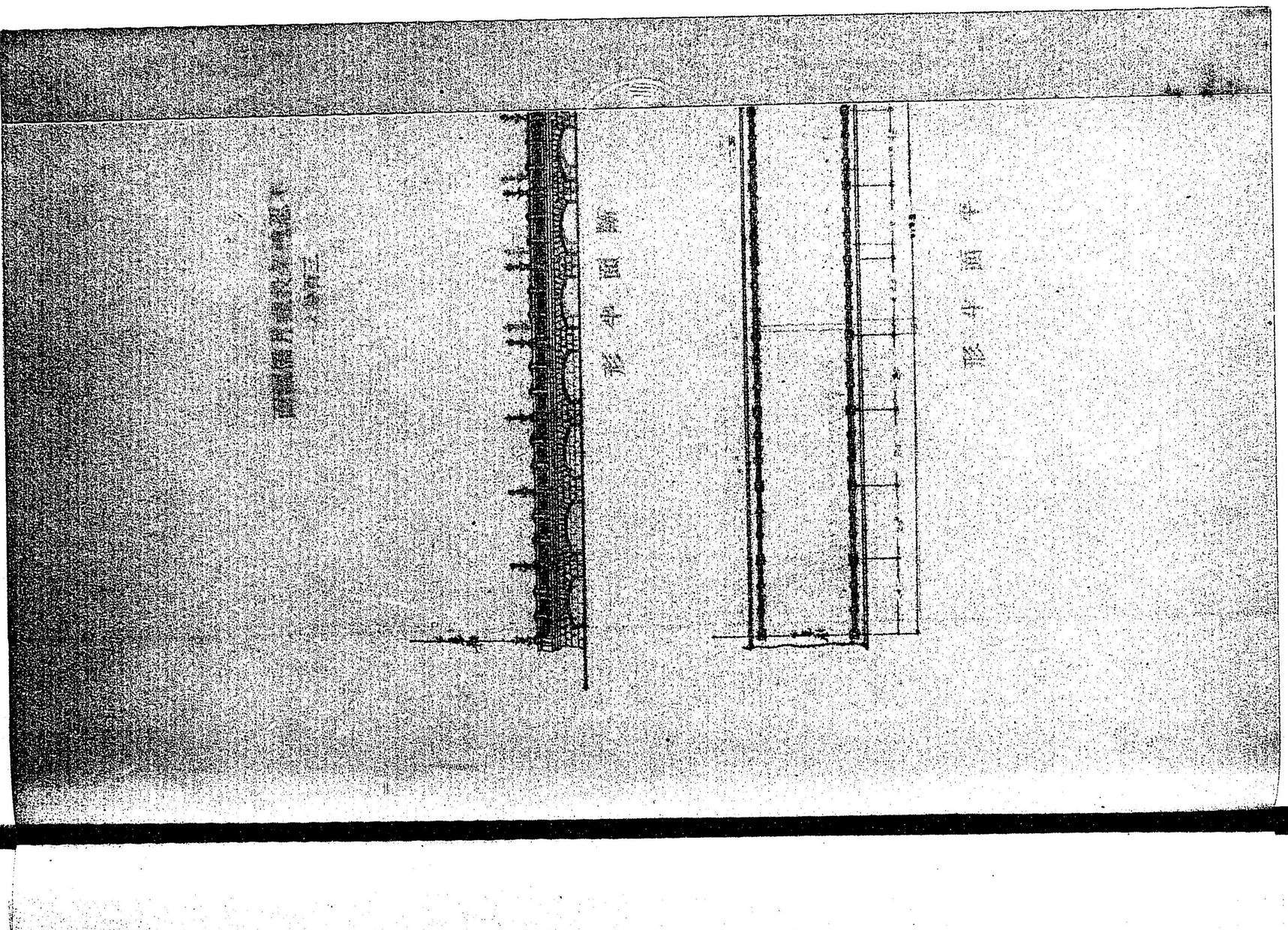
不忍池架設觀月橋側面

三百分ノ一

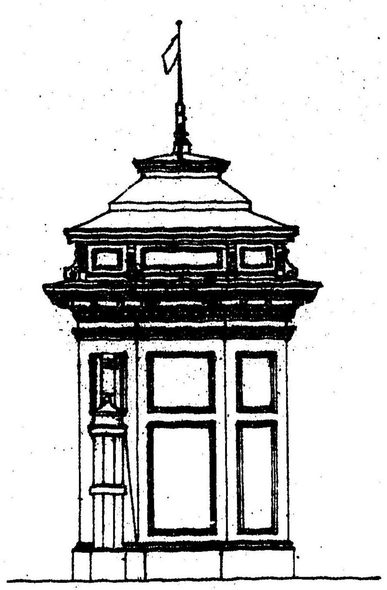


斷面半形

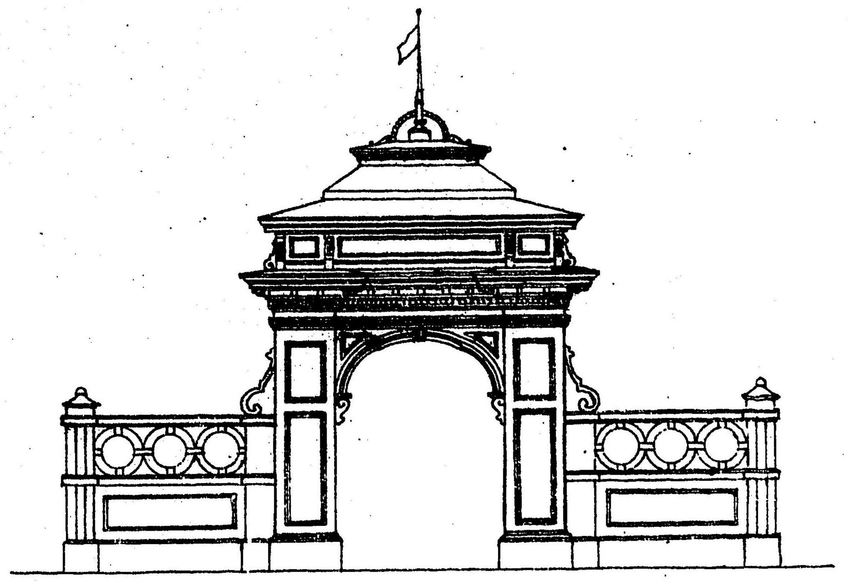

22.5
2.5
2.5
2



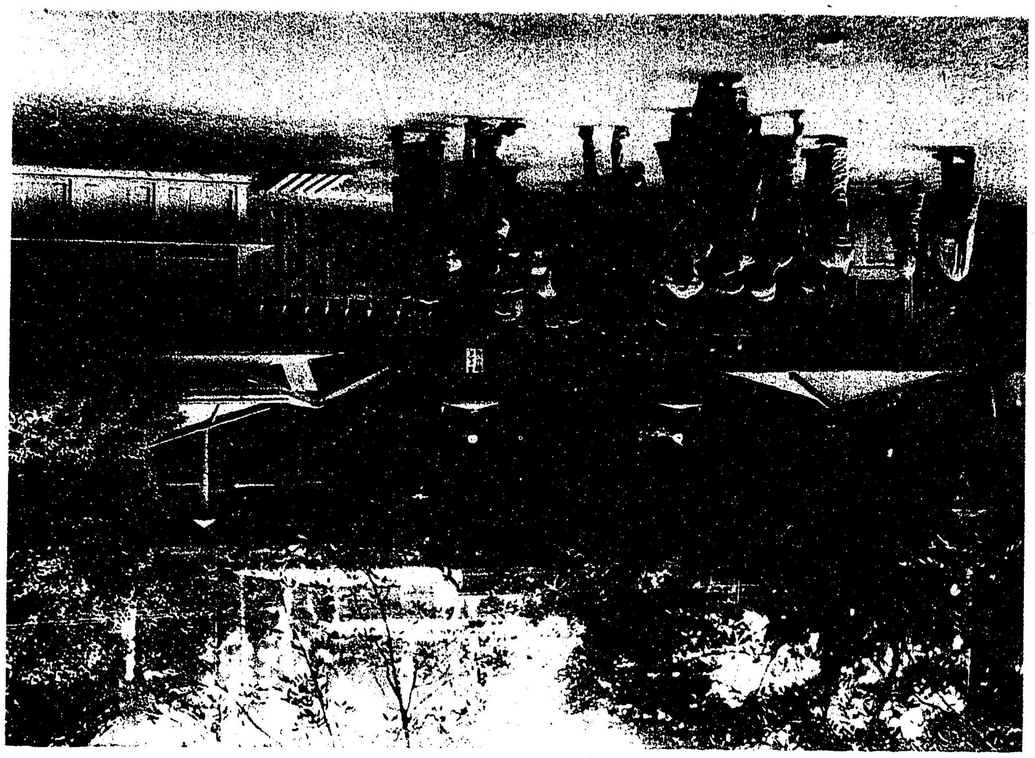
第二會場觀月門正面
二百分ノ一



側面

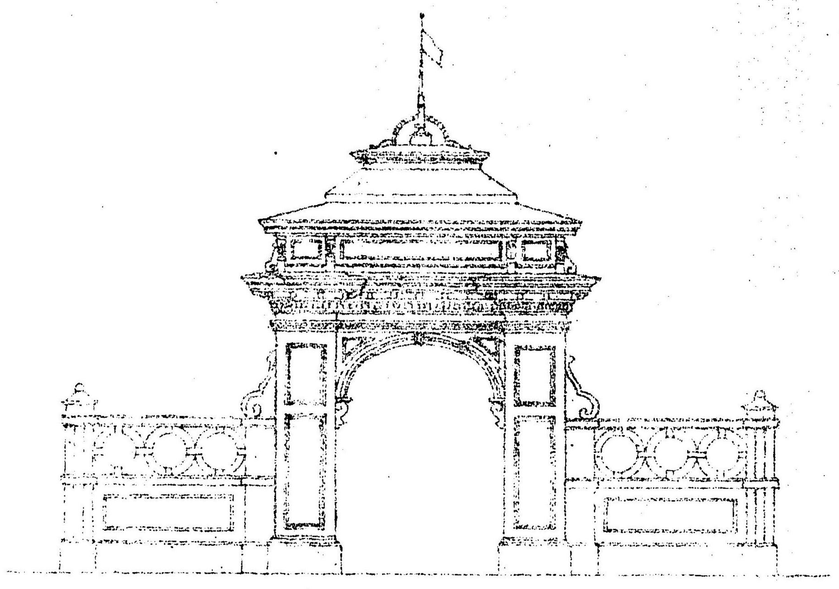


第三號 [illegible]

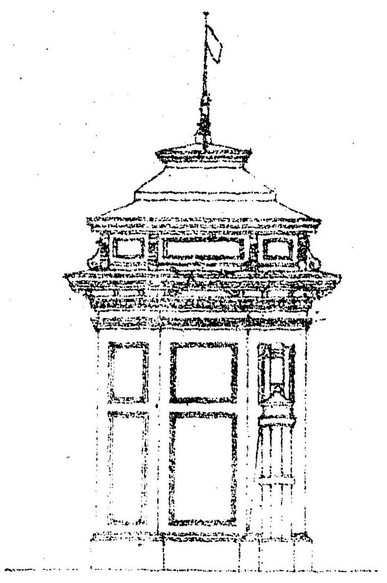


面五門月[illegible]會二第

一八分百二

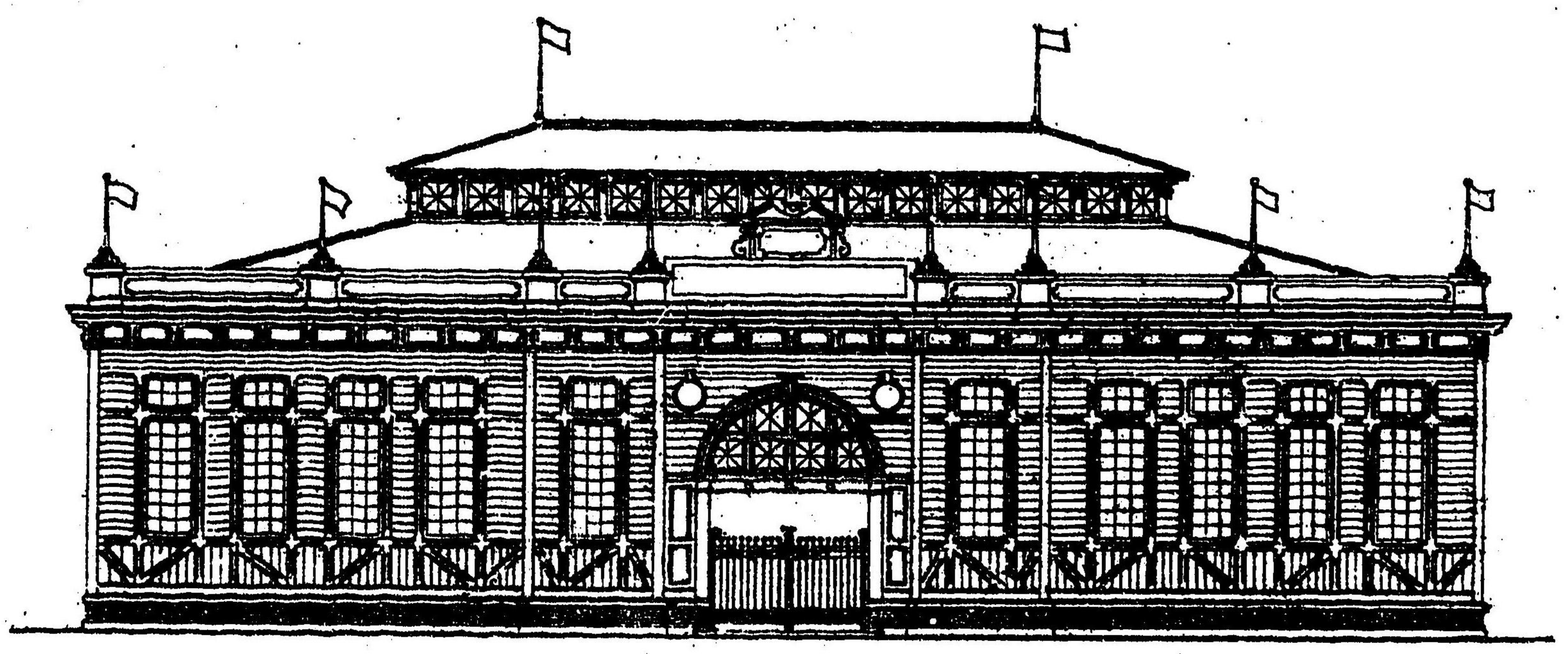


面側



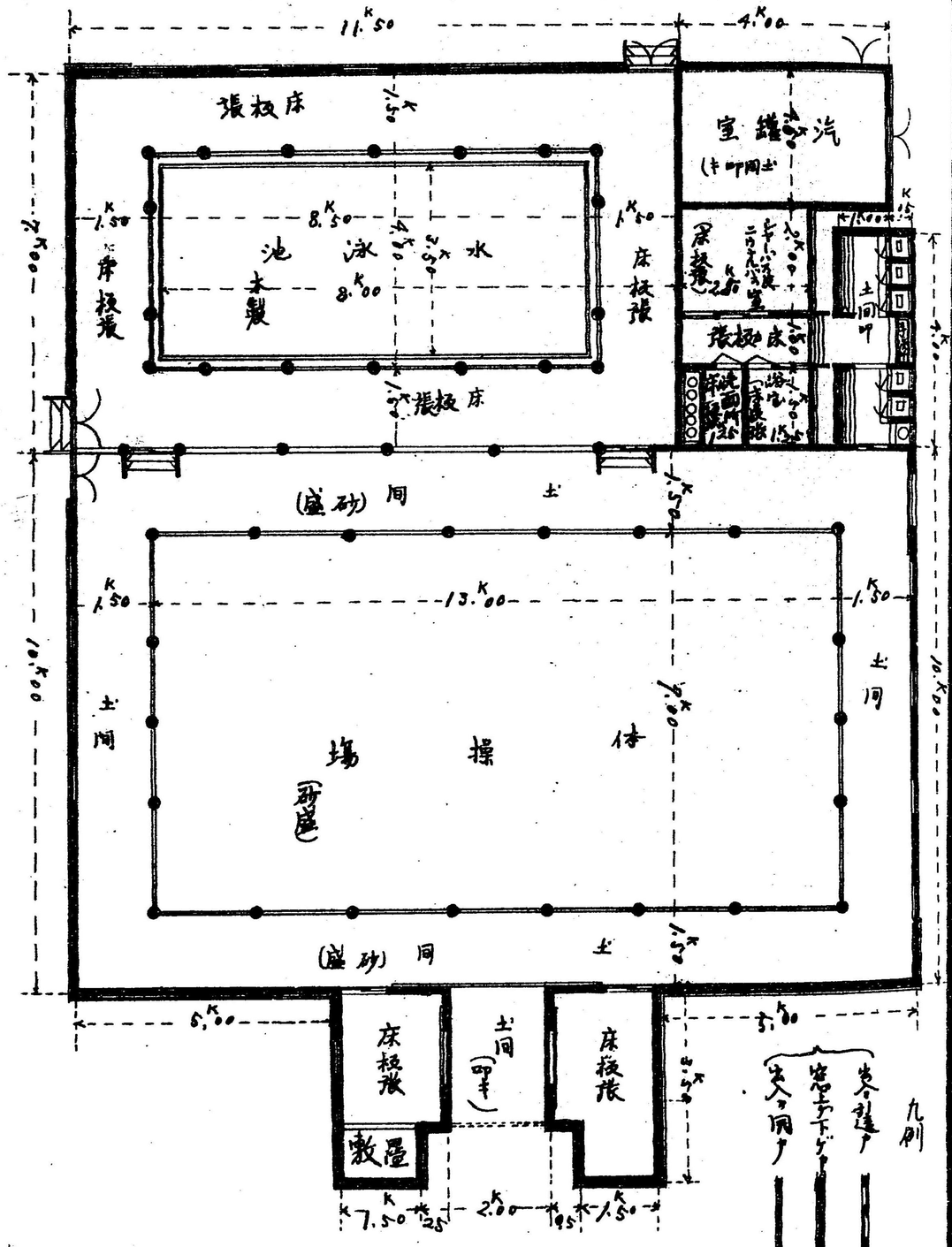
體育館正面

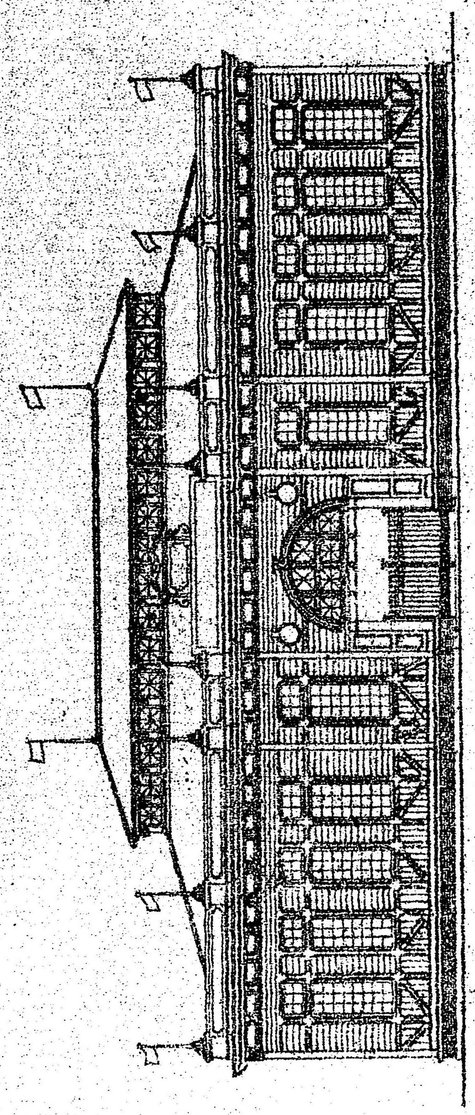
一ノ分百二



體育館平面

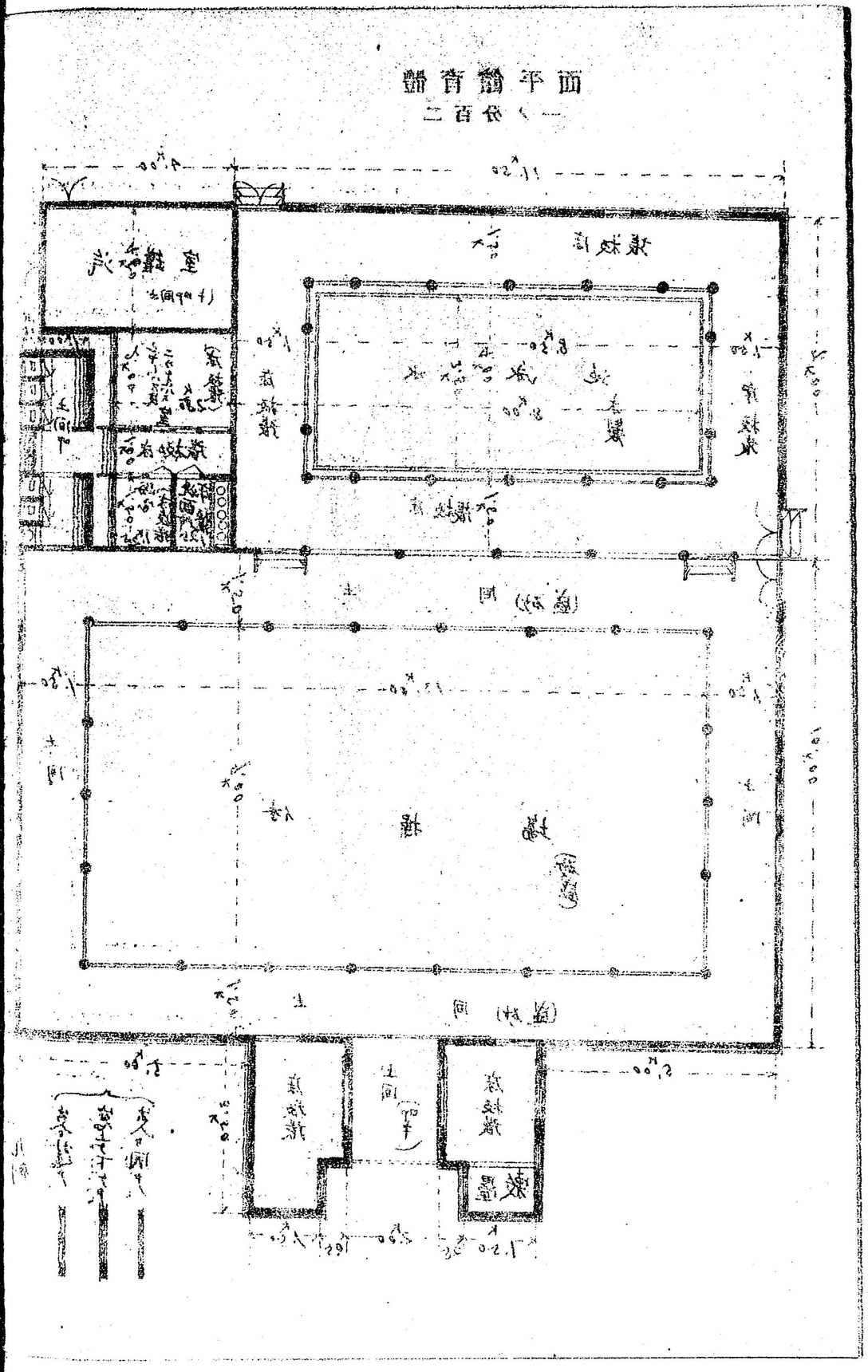
二百分ノ一





體育館平面

二百分ノ一



第五節　道路水道及下水

其一　道路

本會ノ道路ハ上野廣小路袴腰ヨリ起レル大道路ハ勿論會場周圍ノ各道路ハ開會前ニ於テ修理シ全部川砂利ヲ敷キ場內各館ノ連絡通路ハ重ニ東京鐵道會社ヨリ無償ニテ借入レタル花崗石板ヲ敷キ其他敷地全部ニ砂利ヲ敷込ミ交通ニ不便ナカラシメタリ尙敷地ハ竹ノ臺一帶ノ地卽チ第一號館第二號館第四號館ノ在ル處ハ高低ヲ平均シ尙ホ第一號館ノ右翼及第二號館ノ地ハ一帶ニ四尺以上ノ低地ナリシヲ築立テ平均シ元四軒寺跡卽チ美術館第三號館ノ所在地ハ舊道路ヲ毀チ高低ヲ平均シ一帶ノ廣場ト爲シ第二會場ハ馬見所跡ヨリ池畔一帶ノ地ヲ盛土又ハ高低ヲ平均シタリ又各會場連絡道路ニ關シテハ既ニ前章ニ於テ記述セル如ク設備セリ

其二　水道

水道ハ東京市ノ施設ニ係ル公園袴腰ヨリ博物館ニ至ル六吋鐵管ヲ幹線トシ是ヨリ分水線ヲ設ケ一ハ四吋鐵管ヲ內庭中央部ヨリ左折シテ第一號館第四號館前ニ至リテ分岐シ美術館前ハ車坂門ニ至リ第三號館前ハ兩大師前鐵管ト連絡シ又凌雲院前ニテ右折シ第五號館裏ニ到ルモノト一ハ博物館正門前ヨリ六吋鐵管ニテ右折シ兩大師前ニ至リテ他ノ管ト連絡ス又錦小路ニ至ルモノハ市設管ヨリ四吋鐵管ヲ分岐シテ動物舍前ニ至リ第三會場ニ至ルモノハ谷中方面美術學校裏市設管ヨリ分岐シ音樂學

校前ヨリ第三會場脇ニ至リ又第一會場ノ補水ニ供用スルモノトセリ第二會場ハ七軒町ヨリ分岐シテ藍染川ヲ渡リ池ノ端馬見所跡ヲ通シテ機械館前ヲ外國製品館正面ニ至リ同館中央ヲ横斷シテ中庭中央ニ至ルモノト他ハ同館前ヨリ右折シテ瓦斯館脇ニ至ルモノトス火災防備消火栓ハ第一會場ニ十箇所第二會場ニ三箇所第三會場ニ一箇所ヲ設置セリ其配置ハ第一會場ニ在リテハ中庭ニ二箇所(外ニ一箇所ハ在來ヨリ存置セルノモノ)凌雲院前通リニ三箇所美術館第三號館前通リニ三箇所錦小路通リニ二箇所尚正門前ニハ在來ヨリ存置セルモノ一箇所トス第二會場ニ在リテハ外國製品館前ニ二箇所同館裏ニ一箇所トス又第三會場ニ在テハ一箇所ヲ設置シタリ之レニ要セシ鐵管ハ六吋鐵管千二十三尺四吋鐵管二千十四尺九寸三吋鐵管八百三十八尺八寸トス

又一般觀覽人ノ飲用料館内撒水及賣店等ノ爲メニ共用栓及計量栓八十五箇所ヲ設置セリ其細別ハ一般觀覽人ノ飲用ニ供シタルモノ第一會場ニ三箇所第二會場ニ二箇所館内撒水ノ用ニ供シタルモノ十一箇所事務所ニ三箇所溫室ニ二箇所動物舍ニ二箇所機械館ニ一箇所動力室ニ五箇所醫員詰所ニ二箇所トス而シテ之レニ要セシ鉛管ハ一吋鉛管千五百五十六尺四分ノ三吋四千五十九尺八分ノ五吋四百六十八尺二分ノ一吋千八百十六尺八分ノ三吋六十尺トス又料理店飲食店興行場其他各自ノ飲用ニ供スルモノハ事務所ノ認可ヲ受ケ東京市水道課ニ要求シテ自費ヲ以テ布設セシメタリ

以上ノ水道布設ニ付テハ東京市水道課ハ多大ノ便宜ヲ與ヘラレ鐵管等ノ如キハ價格ニ對スル約一割ノ損料ヲ以テ供給セラレ本會ハ單ニ鉛管水栓等ノミヲ購入シタリ

其三　下水

第一會場ノ敷地ハ公園中央部ニ位シ土地高燥ニシテ排水ニ幾分ノ便ヲ得タルモ第二會場ハ不忍池畔ノ低地ニ在ルヲ以テ頗フル不便ヲ感セリ殊ニ各會場トモ漸次擴張セシヲ以テ豫メ一定ノ計畫ヲ定ムルコト能ハス逐次必要ニ應シテ施行スルノ止ヲ得サルニ至レリ而シテ第一會場ニ在テハ各館雨樋ヨリ來ル雨水排除及敷地内要所ニ溜桝ヲ設ケ雨水ヲ吸收セシメ各土管ヲ埋設シテ之ヲ連結シ大半ハ博物館前ヨリ兩大師前ヲ屏風坂下東京市溝渠ニ導キ一半ハ錦小路ヨリ動物園前ニ至ル間ニ煉瓦ヲ以テ溝渠ヲ築造シ動物園内溝渠ニ導キタリ

第二會場ハ前面不忍池ニ面シ後方ハ藍染川及東京市管理ノ溝渠ニテ繞ラセシニ依リ雨樋及敷地内ノ雨水ハ土管ヲ以テ便宜之レヲ排除セシメタルモ敷地ハ低地ナルヲ以テ大雨ノ際ハ排水ニ好結果ヲ得ル能ハサリシ事アリ又池ノ周圍約二十間毎ニ土管ヲ以テ雨水ヲ池中ニ排除スルノ方法ヲ取レリ而シテ是等ニ要セシ土管ハ圓徑三寸乃至一尺ノモノ二千三百五十五間七分ヲ要シ溜桝ハ煉瓦造ノモノ五十五箇所ヲ要セリ飲食店興行物其他私設建築物ノ排水ハ事務所ノ認可ヲ經テ便宜ノ場所ニテ本會埋設ノ土管ニ連結セシメタリ

第六節　建築費

前數節ニ記セル建築物ノ費額ハ左表ノ如シ

名稱	個數	坪數	金額	備考
正門及第一號館	一棟	一、九八一・一六〇	七八、二二一・〇四四	
第二號館	一棟	一、二四八・〇〇〇	七五、四三〇・七九四	
第三號館	一棟	八〇五・五五六	三三、四九二・五三四	
第四號館	一棟	二八〇・〇〇〇	一二、八二〇・五二一	
第五號館	一棟	六八・〇〇〇	二、八八一・一六七	
美術館	一棟	七〇四・〇〇〇	二七、九八九・〇六四	
機械館	一棟	五〇四・〇〇〇	二五、五三一・一〇一	
動力室	一棟	八二五・〇〇〇	四、二八一・五四五	
外國製品館	一棟	一、五一二・〇〇〇	一五五、八四三・四八二	東京勸業協會ヨリ寄附
蔬菜館	一棟	五二五・〇〇〇	一、六一〇・〇〇〇	
農業別館	一棟	一五〇・〇〇〇	六五〇・〇〇〇	
車輛館	一棟	五〇・〇〇〇	一、七五八・六〇〇	
温室	三棟	四八四・三六	七、六四一・七五〇	
動物舍	四棟	一五七・七七六	四、二五七・二三七	
奏樂堂	一棟	一三・二五五	一、一四三・一八四	
事務所	一棟	二一八・〇〇〇	七、五八八・五〇〇	
郵便局	一棟	一六・五〇〇	五七六・〇〇〇	
醫員詰所	二棟	五八・五〇〇	二、三一二・六五〇	
消防夫詰所	四棟	一八・〇〇〇	八五六・三五〇	

名稱	個數	坪數	金額	備考
守衛詰所及見張所				
憲兵詰所	一棟	七一・三三〇	五、七九七・八四五	
事務所分室	一棟	二二・五〇	一七四・八二五	
新聞記者詰所	一棟	三九・五〇〇	一、五三七・五六五	
人民控所	一棟	二一・五〇〇	九三一・七四〇	
空箱置場	一棟	一〇〇・〇〇〇	四〇六・四二〇	
便所	三棟	六四・五〇〇	一、八八三・五四四	
看守人食堂	一棟	八九・〇〇〇	七六九・〇〇〇	
凌雲院模様替			二、二七八・二九六	
各館連絡敷石工事			六、二三三・六九〇	
日除取設費			九七七・九二五	
噴水塔	一箇所		九八四〇〇	
池中張出シ	一箇所		八、〇〇一・九〇〇	
觀月橋	一箇所		三、九九三・二五〇	
忍川架橋	三箇所		二〇、〇六三・二六〇	
凌雲橋	一箇所		一、〇五六・二六〇	
第二會場正門	一棟		七、四一〇・〇〇〇	
觀月門	一棟		二、六一四・三六〇	
北門	一箇所		八三五・八六〇	
脇門	一箇所		四七四・三六〇	
御成門	一箇所		一六八・〇〇〇	
車坂門	一箇所		二九〇・〇〇〇	

審査室ヲ含ム

直徑十間
長百三間
幅三間

第三號館賣約所	一棟	板塀六百七十六間五分 木柵三百六十二間通用門七箇所			四五〇〇
温室用物置	一棟				六〇〇〇
衛生係用物置	一棟				六〇〇〇
鐵製貯油庫	一箇所				一〇〇〇
電氣變壓所	一箇所				七五〇〇
第三會場揭示場	一箇所				一八五八三
警察官休憩所	一箇所				六一〇〇〇
各館渡廊下					
第一會場正門鐵鎖垣					二〇二五〇〇
衝立及入口手摺					六〇〇〇
板塀及木柵竝ニ通用門					六〇〇〇
庭園					一〇〇〇
敷地々均シ					一四〇〇〇〇
敷砂利土購入					八九二五
連絡道路開鑿工事					八二九五〇〇
機械運轉設備					八九一〇〇〇
下水及溜桝竝土管					四四一〇〇〇
水道費					一、六一〇、一二〇
雜工事費					八、〇一九、四四〇
補助金					一、三三七、九五五
雜費					八、八二五、五七四
計					一八、一九九、六一〇
					一、八五四、五〇〇
					八、五二〇、五五一
					四、三七七、九二三
					三、一九〇、九二〇
					一、〇三四、三一五
					一、六五〇〇〇
					一七、六一三、九七二
					五九、一一三、六八三

辯天堂廊下改築補助金人類學陳列館建築補助金凌雲院へ補助金

第七章　出品

第一節　出品ニ關スル規程

其一　出品人心得

出品人ノ心得ヘキ細節ニシテ本會規則ニ於テ規定セサリシモノ少ナカラサリシヲ以テ更ニ之ヲ列記シテ三十九年五月告示第七十號ヲ以テ左ノ通リ出品人心得ヲ告示セリ

東京勸業博覽會出品人心得

第一條　出品人ハ本會開設ノ主旨ニ基キ殖産興業殊ニ海外貿易上有益ノ出品ヲ爲シ徒ニ珍奇ニ走リ虛飾ニ流ルルカ如キ無益ノ出品ヲ爲スヘカラス

第二條　出品願書出品目錄說明書ノ提出及出品物ノ搬入陳列ノ期限ハ嚴ニ之ヲ恪守シ遲滯ナキコトヲ期スヘシ

第三條　解說書ハ審查ノ用ニ供スヘキモノナルヲ以テ其ノ記載ハ切實簡明ヲ期シ誇張ニ流レ或ハ事實ヲ隱蔽スル等ノコトアルヘカラス但製作法ノ如キ特別ノ方法ヲ以テスルニアラサル以上ハ普通ノ製造法ニ據ルト記載シテ妨ケナシ

第四條　部類ノ區分ハ出品物ノ陳列及審查ニ重大ノ關係アルヲ以テ出品人ハ其ノ選定ニ注意スヘシ

第五條　二以上ノ部類ニ屬スルコトヲ得ヘキ出品ト雖モ一人ニシテ二以上ノ部類ニ重複出品スルコトヲ得

但原料ニ製品ヲ添ヘ製品ニ原料ヲ添示セント欲スルトキハ豫メ許可ヲ受クヘシ

第六條　同種ノ物品ヲ一家内親子夫妻等ノ名ヲ以テ別々ニ出品スルコトヲ得ス但特種ノ技能ヲ要シタルモノハ此限ニアラス

第七條　出品數量ハ左ノ通リトス但出品ノ種類又ハ性質等ニ依リ必要アルトキハ此制限ニ據ラサルコトヲ得

一　升量ヲ以テ計フルモノハ　毎品一升

二　衡量ヲ以テ計フルモノハ　同一斤（英斤ヲ用ウルモノハ英一斤ト記スヘシ）

三　箇數ヲ用ヰルモノハ　同一箇一本一枚一反一匹一羽一尾一俵一箱一櫃一打

四　卷束シタルモノハ　同一卷一束一括一連

五　揃ヘモノハ　同一組一對一揃一打

第八條　繪畫彫塑ハ一人ノ出品數量ハ二枚其ノ他ハ一製作ニ付三品以内トス但シ繪畫ハ三幅對ニ限リ一組ヲ出品スルコトヲ得

第九條　織物ノ出品目錄ニハ一本一匹一反等ノ稱呼ヲ記入スル外必ス丈尺ヲ添記スヘシ

第十條　鑛物及土石ノ出品ハ方五寸内外ハ建築、土木裝飾彫刻用石材ハ方一尺内外ノモノニ限ル但出品物ノ性質效能ヲ示ス爲メ特別ノ必要アルモノハ此制限ニ依ラサルコトヲ得

第十一條　地質及鑛床ノ圖面及模型、鑛山、地形圖、坑内實測圖ハ縮尺千二百分ノ一乃至六千分ノ一トス

第十二條　實業學校ノ實業科目ノ成績品ハ敎育ノ效果ヲ示スニ必要ナル程度ニ於テ之ヲ出品スヘシ

第十三條　商業上包裝ヲ以テ取引スル慣行アルモノハ包裝ノ儘出陳スルコトヲ得但長大ノ包裝物ハ此ノ限リニアラス

第十四條　陳列品ニ出品人ノ商標若クハ廣告文ヲ記シタル額面等ヲ揭クルハ固ヨリ妨ケナシト雖モ其ノ寸法等ハ豫メ許可ヲ受クヘシ

第十五條　陳列品飾箱等ニ家名家章等ノ旗幟ヲ揭ケ望觀ヲ妨遮スルコトヲ得ス若シ之レアルトキハ撤却セシムヘシ

第十六條　同種ノ物品ヲ出品セントスル者ハ成ルヘク團體ヲ組織シ出品ノ選拔整理陳列裝飾等ヲナスヘシ

第十七條　前條ノ團體ヲ組織シタルトキハ代表者ヲ選出シ其ノ住所氏名印鑑ヲ本會事務所ニ届出ヘシ

第十八條　遠隔ノ地ニ居住スル出品人ハ出品物ニ關スル取扱ヲ爲ス爲メ必ス東京市内ニ代理人ヲ置クヘシ

第十九條　出品人又ハ其ノ代理人ニアラサレハ會場内ニ於テ出品物ヲ取扱フコトヲ得ス

第二十條　出品人及其ノ代理人ハ本會事務所ニ徽章ヲ請求シ會場ニ出入スルトキ之ヲ佩用スヘシ徽章ハ他人ニ交付スルコトヲ得ス

第二十一條　出品人ニシテ本會事務所ニ宛テ出品物ヲ發送スルトキハ發送目錄ヲ送付シ別ニ入記目錄ヲ製シ之ヲ發送荷物中ニ入レ置クヘシ入記目錄記載ノ品名數量等ハ發送目錄記載ノモノト同一タルヘシ

第二十二條　出品物ヲ搬入スルトキハ搬入目錄ヲ提出シ其ノ陳列ヲ終リタルトキハ現品ト搬入目錄トノ對照ヲ受クヘシ

第二十三條　搬入目錄ハ別記樣式ニ依リ調成スヘシ但其ノ出品部類ヲ、名數量賣價ハ出品目錄記載ノモノト符合スヘク注意スルヲ要ス

第二十四條　出品人又ハ其ノ代理人ニシテ會場外ニ物品ヲ搬出スルトキハ事務員ノ點檢ヲ受ケ搬出證ヲ受取リ之ヲ門衛ニ渡スヘシ門衛ハ事宜ニ依リ更ニ其ノ物品ヲ點檢スルコトアルヘシ

第二十五條　出品物ノ空箱ハ陳列館内ニ適當ニ藏置シ得ルモノノ外ハ悉ク會場外ニ搬出シ出品人ニ於テ之ヲ保管スヘシ

第二十六條　賣約スヘキ物品中容器又ハ臺等ノ代價ヲ別ニ得ントスルモノ若ハ容器臺等ノ賣約ヲ欲セサルモノハ出品附札ニ其ノ旨ヲ明記スヘシ

第二十七條　出品人又ハ其ノ代理人ハ出品ニ關シ褒賞授與式前審査官又ハ審査ニ從事スル職員ニ面談ヲ求ムルコトヲ得ス

樣式（用紙半紙）

搬入目錄

第　部第　類			市郡區　町村　番地 出品人　氏　名
番號	品名	數量	賣價

右搬入候也

明治　年　月　日

東京勸業博覽會御中

備考　部類ノ異ナルモノハ各別ニ之ヲ調製スヘシ

右何　某㊞

蓋出品上ノ希望ハ普通商品若クハ農產物ニアリテハ他ノ需用ニ應シテ容易ニ供給シ得ヘキモノヲ出陳セシムルニアリテ單ニ出品ヲ目的トシテ特ニ技巧ヲ弄シ若クハ鄭重ニ製作シタルモノノ如キハ之ヲ忌避スルノ主旨ナリシヲ以テ備ニ其主旨ヲ敷衍シ出品準備時期ニ於テ出品希望者ニ通告スル所アリ出品人心得ニ於テモ第一ニ其要ヲ規定セリ而シテ第五回内國勸業博覽會ニ於テハ右ノ旨趣ヲ貫徹センカ爲メ農產水產ノ或者ニ對シ出品數量ト陳列數量トヲ區分シ（例之米麥ノ陳列數量ハ一升ナルモ出品數量ハ各五升ナリシカ如シ）少量ノ出品ニ對シ多量ノ同種物品ヲ提供セシメタルヲ以テ是等ノ物品ハ事務所ニ堆積シ保管ニ困難ヲ極メ之カ返還ノ場合ニ於テハ混雜少ナカラサリシ而カモ陳列品ニ對シ特別ニ技巧ヲ施スカ如キ弊風ヲ芟除スルニ於テ如上ノ困難混雜ヲ侵シテ贏シタル所ハ甚タ僅少ナリシカ如シ依テ本會ニ於テハ出品ト陳列トノ數量ノ區分ヲ爲サス第七條ニ於ケル如ク出品數量ノミヲ規定セリ又繪畫彫塑ハ第五回内國勸業博覽會ニ於テハ一人ノ出品數毎種三品以内ニ限定セラレタリト雖モ美術出品ニ關スル本市ノ實況ヲ察スルニ美術家ト出品人トハ其人ヲ異ニスルノ場合多ク美術家ハ美術品ヲ製作スルモ其製作品ヲ出品スルハ美術品ヲ取扱フ商人ヲ多シトス依テ一人ノ出品數量ヲ僅カニ二三點ニ止ムルトキハ廣ク優秀ナル作品ヲ蒐集シ得サルノ

事情アリシヲ以テ彫塑ノ出品ハ一製作者ニ付三品以内トシ出品人心得第八條ニ於テ之ヲ規定セリ而シテ繪畫ノ出品數ヲ二枚ニ限定シタルハ陳列館ノ狹隘ナルヲ憂ヒタルニ由ルモノニシテ三幅對ニ限リ三枚ヲ出陳スルヲ得セシメタルハ繪畫道ニ於テハ三幅對ノ揮毫ヲ難シトスルヲ以テ特ニ之ヲ奬勵センカ爲ニ例外規定ヲ設ケタルニ外ナラス又陳列館内ニ於テハ何レノ通路モ見透シヲ妨クルカ如キ裝置ヲ避クルハ館内ノ美觀ヲ保チ光線ノ作用ヲ充分ナラシムル爲メ緊要ナルモノナリト雖モ從來ノ博覽會共進會等ニ於テハ出品人カ自己ノ陳列品ニ衆目ヲ集メ自己ノ店舗製造所名等ヲ廣告スルニ急ナルヲ以テ相爭フテ各種ノ徽章商號ヲ表示セル旗幟ヲ陳列所ノ前面ニ掲ケタルヲ以テ館内ノ通路ハ殆メト旗幟ヲ以テ塡塞シ高價ノ代金ヲ拂フテ善美ヲ盡シタル陳列意匠ノ觀望ヲ妨クルノミナラス自ラ光線ヲ遮蔽スルヲ以テ品質ノ識別上快明ナル光線ノ射照ヲ要スル物品ニシテ幽光底裡僅カニ糢糊ノ影ヲ留ムルモノアリ誠ニ有害無益ノ施設ナルヲ以テ出品人心得第十五條ニ於テ之ヲ禁止シ嚴ニ之ヲ勵行セリ而シテ又從來陳列上ノ裝飾ハ陳列箱ノ外部若クハ陳列館ノ天井等ニ力ヲ用ユルコト多ク陳列品夫レ自身ノ裝飾又ハ陳列箱ノ内部ニ意ヲ用ユルコト比較的薄弱ナリシ爲メニ觀覽者ハ外部ノ燦然タル光景ニ炫惑シ陳列品ノ視察ヲ忘ルルノ傾アリシカ故ニ是等ハ特ニ出品勸誘ノ際洽ネク注意シタリ博覽會ノ出品ハ巧ニ之ヲ利用シテ商品廣告ノ用ニ供スヘキハ出品人ノナスヘキ當然ノ事項ナリトス然ルニ從來此等ノ用意頗ル周到ヲ缺キタリシヲ以テ會場ノ秩序整頓ニ妨ケナキヲ度トシ出品物ニ關スル案内書引札及繪葉書等ノ製造ヲ勸メ之ヲ觀覽人ニ頒タシメタリ同種物品ノ多數出品アル場合ハ出品人ニ於テ團體ヲ組織セシメ團體ニ於テ統一的ニ出品ノ選擇配合陳列及裝飾ヲ爲サシムルハ出品ノ整頓陳列ノ美觀ヲ裝フニ最モ便宜ナル方法ナルノミナラス諸般ノ事務ノ進行上非常ノ利益アルヲ以テ出品人心得第十六條ニ於テ團體出品ノ規定ヲ設ケ且ツ之ヲ勸誘セリ其結果果シテ良好ニシテ平常組合ヲ組織セルモノハ大抵協同シテ團體出品ヲ爲セリ

其二　機械館出品人心得

本會ノ出品物中第十五第十六部ニ屬スル機械類ノ出品物ハ概ネ其狀況ヲ殊ニシ就中鉅重ナルモノ又ハ之ヲ運轉スルモノニ在リテハ他ノ出品物ト其規模ヲ同フスル能ハサルモノアリ故ニ本會ハ豫メ出品人ヲシテ注意スル所アラシメ以テ陳列ノ體裁ヲ完全ナラシメンカ爲メ左ノ通機械館出品人心得ヲ定メテ夫々通達セリ

機械館出品人心得

一　機械館出品人ハ本會出品人心得ニ規定スルモノノ外尚ホ左記ノ事項ヲ遵守ス可シ

二　出品人ハ陳列場前後左右ノ出品人ト相互遜讓調和シ陳列及作業ニ不便ナカラシムヘシ

三　陳列場ノ柵欄、裝飾、飾棚及飾臺等ハ出品ノ種類ニ從ヒ其狀況ヲ異ニスルモノアルヘシト雖モ成ルヘク一定ニシ甚シキ高低偏差ヲ生セサル樣注意スヘシ

四　陳列場ニ於テ出品ノ取扱又ハ作業ニ從事スル者ノ服裝ハ見苦シカラサル樣注意スヘシ

五　出品附札ハ成ルヘク和英兩文ヲ以テ記入シ其寸法地色文字色等モ種類毎ニ成ルヘク一定シ觀覽人ヲシテ
　視易カラシムヘシ
六　出品及其陳列區域ニ屬スル通路ノ掃除ハ出品人ニ於テ負擔シ其通路ニ關スルモノハ觀覽時刻以前ニ於テ
　守衛ノ檢査ヲ受ク可シ
七　運轉機軸ハ共通ナルヲ以テ妄ニ運轉ヲ中止シ又ハ成規以外ニ運轉ヲ請求スルヲ得ス
八　本會ノ都合又ハ事故アリテ運轉ヲ休止スルコトアルモ故障ヲ申出ツルコトヲ得サルモノトス
九　運轉工ハ自己ノ監守スヘキ機械ノ運轉中擅ニ現場ヲ離ルルヲ得ス
十　運轉工ハ他人ニ危險ヲ及ホサヽル樣注意ヲ怠ルヘカラス
十一　機械館出品人ハ全部若クハ種類ニ從ヒ出品組合ヲ設ケ出品ニ關スル共同ノ事務ヲ處辨スヘシ

其三　出品物取扱心得

出品物ニ對シテハ極メテ細心ナル注意ヲ以テ秩序的ニ取扱フノ必要アリ故ニ左ノ通出品物取扱心得ヲ定メタリ

出品物取扱心得

一　管外東京府下出品人ヨリ送付シタル出品荷物ハ各部主任ニ於テ之ヲ保管スルコト
二　陳列ノ爲メ前號ノ荷造ヲ解クトキハ搬入目錄ト現品トヲ對照シテ更ニ出品臺帳ニ照合スルコト
三　前號ノ對照中不符合ノ點ヲ發見スルトキハ直ニ出品人ニ通知シ之ヲ修正セシムルコト
四　他府縣ヨリ到著シタル出品荷物ハ當該掛員ニ於テ包裝ノマヽ之ヲ各部主任ニ分配スルコト但シ分配ニ際シテハ帳簿ヲ以テ受渡ヲナスコト
五　前號ノ搬入目錄現品及出品臺帳ノ照合竝ニ是等不符合ノ場合ニ於ケル取調方及修正ハ各部主任ニ於テ之ヲ爲スコト
六　荷造ヲ解キタルトキ破損若クハ其他ノ損傷ヲ發見シタルトキハ其狀況ヲ明記シ直ニ出品人ニ通告スルコト
七　出品物ノ空箱ニシテ保管ヲ要スルモノハ空箱ノ見易キ處ニ何部何類出品人何某ト明記シ之ヲ凌雲院內ノ倉庫ニ送ルコト但シ出品人他府縣ノ者ナルトキハ更ニ其府縣名ヲ附記スルコト
八　荷詰ニ用ヒタル詰物ハナルヘク空箱ニ入レ置クコト
九　凌雲院內ニハ空箱整理ノ爲メ主任ヲ駐留セシム主任者ハ空箱ヲ成ルヘク部類ヲ分チ取出シ易キ樣藏置スルコト
出品物ノ取扱ニ關シ最モ困難ヲ感シタルハ倉庫卽チ出品物ノ藏置所ヲ設備セサリシコト是レナリ蓋シ本會開設ノ準備時期ニ於テ多少其必要ヲ感知セサルニアラサリシト雖モ本會出品ノ多數ハ東京市內ニアルヲ以テ陳列ノ場合ニ之ヲ搬入セシムルモノトスレハ强ヒテ藏置所ノ設備ヲ要セス其他ハ管內郡部及他管廳下ノ出品ナルヲ以テ便宜臨機ノ處置ヲナシ得ヘシト信シタリシニ依ル然ルニ出品物ノ到著一時ニ輻湊シタルヲ以テ甚シク藏置ノ方法ニ窮シ從ヒテ其取扱ニ關シテモ頗ル不便ヲ感シタリ又空箱ヲ整理シ之ヲ取出シ易キ樣藏置スルハ閉會ノ際出品物ノ還送ヲ迅速ナラシムル爲メ極メテ必要ナルノミナラス出品物還送ノ場

合ニ出品人當初輸送ノ際ニ使用シタル容器ヲ用ヒテ荷造ヲ爲スハ出品人ヲ滿足セシムル好手段タルヲ以テ中途凌雲院内ニ一地ヲ借リ受ケ之ニ六十坪ノ假倉庫ヲ建築シ空箱ヲ府縣別ニ區分シ順序好ク之ニ藏置セリ故ニ今後此種ノ開設ニ際シテハ豫メ出品數量ニ適應シタル假倉庫ヲ建設シ開會前ニハ出品貨物ヲ藏置シ開會後ハ空箱ヲ藏置スルノ用ニ供スルハ必要缺クヘカラサルモノナルコトヲ信ス

第二節　出品ニ關スル協議及注意

出品願書ノ提出竝ニ取扱順序ハ本會規則第六條ニ於テ規定セリト雖モ其願書ノ調査取纏及出品物ニ關スル郡區役所農會ノ斡旋方法等ハ之ヲ統一セシムルノ必要ヲ認メ以テ明治三十九年七月二十七日本府ニ於テ郡區長ヲ召集シタルヲ機トシテ左記ノ協議事項及注意事項ヲ提出シ其意アルヲ徴シ總テ本案ノ通リ協定施行セリ

協議事項

一　出品及其他ノ願書ハ之ヲ取揃ヘ九月五日迄ニ本廳ヘ到著スル樣發送セラレタシ但願書ノ記載事項不明ナルモノ及著シキ誤謬ハ之ヲ書換又ハ訂正セシメラルヽヲ要スルモ其他ハ之ニ及ハス

二　組合又ハ協會等ノ團體員ノ出品願書ハ其首長ト打合セ成ルヘク其首長ヲシテ之ヲ取纏メサス樣ニセラレタシ

首長ニ於テ取纏メタル出品願書ハ便宜首長ヲシテ直接本廳ヘ提出セシメラルヽモ差支ナシ

三　出品及其他ノ願書ノ郡區長ヲ經由シタルト否トヲ問ハス願書提出後出願人ト交渉ノ爲メ郡區長ヲ煩ハスノ必要アルトキハ隨時新規ノ事件トシテ其取扱ヲ依囑致度シ

四　第四部（農業及園藝）ノ出品ハ郡部ニ於テハ主トシテ農會ヲシテ斡旋セシメ郡役所ハ之ヲ監督幇助シテ農會ノ活動ヲシテ毫モ遺憾ナカラシメラルヘシ但農會ノ出品勸誘及出品物取扱ハ大略別紙記載ノ方法ニ致度（別紙）

一　出品人ノ爲成ルヘク町村農會ヲシテ出品願書及解說書ヲ調製セシメ尙出品物ノ取纏及返還等ノ斡旋ヲナサシムルコト

二　出品願書及解說書ハ町村役場ヲ歷テ郡役所ニ送付セシメ現品ハ之ヲ郡農會ニ送付セシムルコト

三　米麥菽及雜穀ハ郡農會ニ於テ選別セシメ其願書ハ願書ニ就キ種類點數ヲ取調ヘ陳列面積ノ見込ヲ附シ九月十五日迄ニ本廳ニ報告スルコト

四　前號選別ノ結果不良ト認メタルモノハ出願人ヲシテ願書ヲ撤回セシメ現品ハ郡農會ヨリ返附セシムルコト

五　成ルヘク郡農會ノ職員ニ出品人總代ヲ兼ネシメ出品人ニ代リ用務ヲ措辨セシムルコト

注意事項

一　東京勸業博覽會ヲ五二共進會又ハ政府ニ於テ計畫中ノ大博覽會ト混同シ又ハ本會ノ開設ヲ知ラサルモノアリ故ニ本會ノ開設ヲ周知セシメ誤解ヲ解クコトニ注意セラレタシ

二　出品出願期限ノ八月中ナルニ氣付カサルモノアルヲ以テ特ニ注意セラレタシ

三　出品願書中ノ容積ハ出品物ノ長幅高ヲ記シ陳列箱及臺等ヲ自辨スルモノハ其箱臺ノ間口奥行及高ノ間數

ヲ記セシムルコト又壁面ヲ要スルモノハ壁面ノ中縦横各何尺ト記セシムルコト

四　陳列箱及臺等ヲ自辨スルモノハ其寸尺體裁等ニ付キ設計決定前係員ニ一應協議スルノ便利ナルコトヲ注意セラレタシ

五　府内ニアル支店出張所等ヨリノ出品ハ參考品トシテ取扱ハレタシ

本店ノ府内ニアルモノヽ出品ハ他府縣ニ生産スルモノト雖モ普通出品トシテ取扱フハ勿論ナリ

六　同業者ニハ成ルヘク左ノ方法ニ依リ共同出品ヲ勸告セラレタシ

一　陳列箱、陳列臺等ヲ整然タラシムルコト

二　裝飾ノ共通シ得ヘキ部分ハ共同ニテ之ヲ爲サシムルコト

三　出品ノ選擇ヲ嚴ニシ疎惡品ヲ排シ尚成ルヘク類似品ノ重複出品ヲ避クルニ努ムルコト

七　左ノ物品ハ最モ出品ヲ奬勵セラレタシ

一　普通品ハ商品トシテ價値アル物品（陳列上善良ナル物品ト雖モ商品トシテ注文ニ應スル能ハサルモノヽ如キハ奬勵ヲ望マス）

二　外國輸出品及其見込アル物品

三　輸入防遏品又ハ其見込アル物品

四　機械及工作器具ノ嶄新ナルモノ

八　第二部ノ出品トシテ鑑査ニ合格セサルモノハ繪畫彫塑ノ外ハ他ノ部類ニ變更出品ヲ許可スルコトアルヘシ

九　左ノ事項ハ陳列ノ場合ニハ現品ニ添附セシムル樣注意セラレタシ

一　工業製作品ニシテ現ニ輸出物トナリ生產巨額ナルモノハ其輸出先及數量金額ノ最近統計年表

二　現今已ニ輸出スルモノ又ハ未タ輸出セサルモ將來大ニ輸出シ得ヘキ目的アルモノハ其目的及向後ノ意見

三　從前輸入ヲ仰キタル物品ヲ創製シテ現今全ク其輸入ヲ防キ一地方ノ需要ニ充テ生產巨額ナルモノハ其數量金額ノ統計表

四　發明創新ノ器具機械等ニシテ實用上著シク効果ヲ顯シ製出高巨額ニ上ルモノハ其使用解說書但シ多大ノ容積ヲ要スルモノハ其雛形若クハ縮圖ヲ以テ之ニ代フルコト

五　美術及美術工藝品ニシテ特ニ一地方又ハ一派ヲ代表シ其技能ヲ示スニ足ルヘキモノハ作者ノ經歷若クハ畫題製作ノ意匠ノ說明書

十　出品物ハ新ニ考案シ製造スル爲メ八月中ニハ出品願書ヲ提出シ難シトスルモノアリ然レトモ出品物ハ一月中ニ提出スル出品目錄ニヨリテ確定スルモノナルカ故ニ願書ニ記載スル種類品名等ハ部及類ニ該當スル品目ニテモ差支ナキヲ以テ此旨一般ヘ周知セシムルコト

十一　郡部ニ於テハ農產物出品勸誘ニハ周密ニシテ工產物ノ勸誘ニハ疎ナルノ傾向アルカ如シ之カ偏倚ニ陷ラサルコト

十二　工場内又ハ會社等ニハ使用人若クハ勞働者ノ奬勵貯蓄救濟等ニ關シ相當ノ方法ヲ立ツルモノナルカ如シ精査ノ上是等ノ出品ハ大ニ奬勵セラルヽコト

十三　普通行ハルヽ共進會ト異リ博覽會ハ出品部類廣況ニシテ從來政府ニ於テ開設セラレタル博覽會ニ出品シ得タルモノハ何レモ今回出品シ得ルヲ以テ勸誘ハ局部ノ物品ニ偏セサル樣注意スルコト

十四　左ノ事項ハ可成周知セシメラレタシ

一　賣店ノ豫定地ハ不忍池畔ノ馬場ナルコト

二　賣店敷地ハ無料ナルコト

三　賣店ノ建設費ハ出店人ノ自辨ナルコト

四　參考品ノ出品人ト雖モ賣店ヲ出願シ得ヘキコト

五　賣店開設人ハ出品人ノ委託ヲ受ケ其出品ト同種物品ノ販賣ヲ爲スコトヲ得ルコト

第三節　出品ノ勸誘

博覽會ニ於テ出品ノ饒多ナランコトヲ期スルニハ豫カシメ出品ノ勸誘ニ努ムヘキハ勿論各官廳又ハ團體等ノ援助ヲ必要トスルヲ以テ本會開設ノ議ヲ決スルヤ各省大臣ニ具申シテ施設計畫ニ關シ諸般ノ便宜ヲ與ヘラレンコトヲ乞ヒ樺太民政長官臺灣總督關東都督韓國統監及府縣知事ニ對シテハ規模計畫ノ要領ヲ述ヘテ其管內ノ出品勸誘ヲ求メ尙ホ必要ト認ムル府縣ニハ勸誘ノ爲メ委員ヲ派遣シ左ノ事項ヲモ希望セリ

一　工業製作品ニシテ現ニ輸出物トナリ巨額ノ生產アルモノハ其輸出先及數量金額ノ最近統計年表ヲ現品ニ添付セラルヽコト

一　現今既ニ輸出シ又ハ未タ輸出セサルモ將來大ニ輸出ノ見込アルモノハ其ノ目的地及向後ノ意見ヲ付シテ現品ニ添付セラルヽコト

一　從前輸入ヲ仰キタル物品ヲ創製シテ現今全ク其輸入ヲ防キ一地方ノ需用ニ充テ生產巨額ナルモノハ其數量金額ノ統計年表ヲ現品ニ添付セラルヽコト

一　米麥其他ノ農產水產物ニテ盛ニ輸出シ來レルモノハ其地方團體ノ出品トシテ包裝ノ儘陳列シ商業取引ノ慣行ヲ示シ併セテ統計年表ヲ付セラルヽコト

一　發明創新ノ器具機械等ニシテ實用上著シク效果ヲ顯ハシ生產多額ニ上レルモノハ其ノ使用法解說書ヲ現品ニ添ヘ統計年表ヲモ添付セラルヽコト

一　美術及美術工藝ニシテ特ニ一地方ヲ代表シ其技能ヲ示スニ足ルヘキモノハ作者ノ經歷若クハ畫題製作ノ意匠等ヲ記シテ現品ニ添ヘラルヽコト但シ鑑查ノ上第二部ニ入ルヘカラサルモノハ繪畫彫像ノ外ハ他ノ部類ニ變更ヲ許スコトアルコト

出品ノ勸誘ハ專ラ郡區長ヲシテ之ニ當ラシメタルノ外本府ニ於テハ直接出品ノ勸誘ヲ爲シタルハ東京市文部省直轄學校府市立學校美術及美術工藝ニ關スル各種團體各種實業組合等ニシテ特ニ各種實業組合ニ對シテハ協同出品ノ方法ヲ採リ出品物ハ可成的團體ニ於テ代表的出品ヲ爲サシメ陳列裝飾ノ如キモ指定ノ場所ニ於テ其代表者ヲシテ適宜執行セシムルノ方針ヲ採レリ

外國人ニ對シテハ本府ニ於テ直接之ヲ勸誘シタルコトナシト雖モ本會開設ノ事漸ク世上ニ傳ハルヤ外人ノ出品ヲ希望スルモノ續々相踵テ申出タルヲ以テ評議ノ上初メハ單ニ土地ヲ

供スルニ止メテ陳列館ノ建設ハ彼等ノ自營ニ一任スルコトニ定メシカ其後東京勸業協會ト交渉ノ上外國製品館ヲ建設シテ之ヲ賃貸シ陳列裝飾看守等ハ總テ出品人ヲシテ擔當セシムルコトヽシテ出品ヲ承諾セリ

第四節　出品ノ鑑査

其一　鑑査ニ關スル規定

第二部及第三部ノ出品ハ其許可ニ先チ豫メ實物ヲ鑑別精査シテ之カ採否ヲ決定スルノ必要アルヲ以テ四十年三月告示第四十七號ヲ出テ出品鑑査規則ヲ左ノ通リ發布セリ

鑑査規則

第一條　第二部及第三部ノ出品ハ左ノ分科ニ類別シテ之ヲ鑑査ス

第一科　東洋畫
第二科　西洋畫
第三科　彫刻鎚起像、鑄像
第四科　彫版、寫眞
第五科　篆刻
第六科　金工
第七科　漆工
第八科　木竹牙角介甲工
第九科　陶磁器、七寶、玻璃
第十科　染織刺繍
第十一科　建築圖案
第十二科　美術及工業圖案廣告表紙レッテル繪葉書等ノ圖案

第二條　鑑査員ハ審査員中ニ於テ各科三人以上ヲ命シ其ノ中一人ヲ主任トス

第三條　鑑査員ハ各自擔當ノ物品ニ就テ美術及美術工藝品トシテ出品セシムルノ適否ヲ鑑査シ各自又ハ合議ノ上評點ヲ附シ主任鑑査員ニ交付スヘシ

第四條　鑑査評點ハ百點ヲ以テ最高トシ三十點以上ヲ合格トス但シ合格品中ニ就テハ評點高キモノヨリ之ヲ陳列シ評點低キモノハ出品ヲ許可セサルコトアルヘシ

第五條　鑑査評點ハ鑑査員三人以上評點ノ平均ヲ以テ之ヲ定ムルモノトス

第六條　第二部及第三部ノ審査部長ニ於テ必要ト認ムルトキハ再鑑査ヲ爲サシムルコトヲ得

第七條　各科主任鑑査員ハ鑑査ノ成績ヲ取纏メ第二部及第三部ノ審査部長ヲ經テ審査總長ニ提出スヘシ

第八條　鑑査員ハ自己ノ製作品又ハ製作ニ關與シタル物品ヲ鑑査スルコトヲ得ス

第九條　出品ヲ許可セラレサル者ハ事務所ノ命令ニヨリ直ニ其ノ物品ヲ搬出スヘシ若シ一週間以上ヲ經ルモ搬出セサルトキハ事務所ニ於テ相當ノ處分ヲ爲スヘシ

第十條　鑑査ノ結果第二部及第三部ニ出品ヲ許可セサル場合ニ於テ他ノ部類ニ出陳ヲ許可スルコトアルヘシ

其二　鑑査

出品部類別第二部及第三部ノ出品人ニシテ鑑査ヲ請求セシモノ第二部(美術)ニ在テハ第十八

類(東洋畫)七百十六人(八百六十五點)第十九類(西洋畫)百七十人(二百四十三點)第二十類(彫刻物)百五十六人(二百九十三點)第二十一點(美術工藝品)百七十三人(三百三十五點)又第三部(圖案)ニ在テハ第二十二類(建築圖案)十一人(十三點)第二十三類(美術及工藝品圖案)八十四人(百七十四點)第二十四類(廣告表紙レッテル繪葉書圖案)二十二人(四十一點)アリ依テ美術及圖案ノ出品ヲ擔當セル審査官ヲシテ會場附近ナル凌雲院ニテ鑑査ヲ執行セシムルコトヽシ左ノ二項ヲ洽ク出品人ニ通知セリ

一　鑑査場所　東京市下谷區上野公園內凌雲院

一　搬入期間　自明治四十年二月二十五日至同年三月五日

然ルニ美術及圖案ノ製作ニ就テハ普通ノ製作品ト同シカラスシテ最モ多クノ時日ヲ要スルヲ以テ右ノ期間內ニ搬入シ能ハサルモノ頗フル多數ニシテ搬入期間ノ繰下ケヲ申出ツルモノ少ナカラス依テ本會ハ更ニ搬入期間ヲ三月六日ヨリ同月十日マテトシ其旨出品人團體ノ代表者ヘ通牒セリ

扨鑑査ノ結果出品ヲ許可セシモノ第二部ニ於テ東洋畫三百二十七點西洋畫九十九點彫刻物百九點美術工藝品百四十二點第三部ニ於テ建築圖案十三點美術工藝圖案百四十六點廣告表紙レッテル繪葉書圖案三十六點ヲ得タリ

依テ鑑査ニ及第セシ出品人ニ對シテハ夫々出品許可ノ旨ヲ通知シ其餘ハ盡ク之ヲ請求人ニ返附セリ今其鑑査ノ及落ヲ管內管外ニ區別スレハ左ノ如シ

鑑査及落表

部	類	管轄	出願人員	鑑査點數	及第人員	及第點數	落第人員	落第點數
二	一八	管內	六七三	八一〇	二九三	三一八	三八〇	四九二
		管外	四三	五五	九	九	三四	四六
		計	七一六	八六五	三〇二	三二七	四一四	五三八
	一九	管內	一六三	二二九	七七	九三	八六	一三六
		管外	七	一四	五	六	二	八
		計	一七〇	二四三	八二	九九	八八	一四四
	二〇	管內	一三九	二六一	五八	九八	一六三	一八一
		管外	一七	三二	七	一一	一〇	二一
		計	一五六	二九三	六五	一〇九	一八四	二三五
	二一	管內	一三八	二七三	六四	一一八	七四	一五五
		管外	三五	六二	一六	二四	一九	三八
		計	一七三	三三五	八〇	一四二	九三	一九三
三	二二	管內	一一	一三	一一	一三	一	一
		管外	一	一	一	一	一	一
		計	一二	一三	一二	一三	一	一
	二三	管內	七七	一四七	五五	一二二	二五	二七
		管外	七	一七	五	一四六	三	一四
		計	八四	一六四	六〇	一二八	二八	一六一
	二四	管內	二	三九	一七	三四	五	三五
		管外	一	二	一	二	一	二
		計	三	四一	一八	三六	四	五
總計		管內	一、三三二	一、七七二	五七五	七九六	六四七	九七六
		管外	一一〇	一九二	四三	七六	六七	一一六
		計	一、三三二	一、九六四	六一八	八七二	七一四	一、〇九二

又管外ノ出品ヲ類別ニ依リテ其及落ヲ府縣每ニ區別スレハ左ノ如シ

府縣名	鑑查人員	鑑查點數及第人員	及第點數	落第人員	落第點數
京都府	四	六	二	二	四
大阪府	三	五	一	二	八
愛知縣	四	九	三	四	五
埼玉縣	一	二	一	一	四
栃木縣	三	五	一	一	二
長野縣	一	二	一	一	二
石川縣	一	二	一	一	二
北海道廳	三	四	一	一	二
三重縣	一	二	一	一	二
福岡縣	一	二	一	一	二
群馬縣	一	二	一	一	二
茨城縣	一	二	一	一	二
岡山縣	一	二	一	一	二
廣島縣	一	二	一	一	二
岐阜縣	一	二	一	一	二
愛媛縣	一	二	一	一	二
山梨縣	一	二	一	一	二
富山縣	一	二	一	一	二
福井縣	一	二	一	一	二

府縣名	鑑查人員	鑑查點數及第人員	及第點數	落第人員	落第點數
德島縣	一	一	一	一	二
靜岡縣	一	一	一	一	二
計	四三	五五	九一	三四	四六

府縣名	鑑查人員	鑑查點數及第人員	及第點數	落第人員	落第點數
京都府	一	二	一	一	二
神奈川縣	二	四	二	二	八
三重縣	一	二	一	一	二
新潟縣	一	二	一	一	二
宮城縣	一	三	一	一	二
德島縣	一	四	一	一	二
計	七	一四	五	二	八

縣名	鑑查人員	鑑查點數及第人員	及第點數	落第人員	落第點數
神奈川縣	三	八	一	二	五
新潟縣	五	九	二	三	七
埼玉縣	一	二	一	一	二
群馬縣	一	一	一	一	二

府縣名	鑑査人員	鑑査點數及第人員	及第點數落第人員	落第點數
京都府	一六	二八	八	一三
神奈川縣	三	六	一	五
新潟縣	一	二	一	二
山梨縣	三	七	一	六
愛知縣	二	四	一	二
岐阜縣	一	三	一	二
香川縣	二	四	二	二
福岡縣	一	三	一	二
佐賀縣	一	三	一	二
石川縣	四	一	二	一
富山縣	一	二	一	一
計	三五	六二	一六	三八

府縣名	鑑査人員	鑑査點數及第人員	及第點數落第人員	落第點數
茨城縣	一	一	一	一
山梨縣	三	五	五	一
富山縣	二	一	三	一
形縣	一	一	一	一
計	一七	三二	一五	二一

類別	府縣名	鑑査人員	鑑査點數及第人員	及第點數落第人員	落第點數
第廿三類	京都府	一	一	一	一
〃	大阪府	一	五	一	一
〃	栃木縣	三	三	二	一
〃	群馬縣	一	三	一	一
〃	青森縣	一	二	一	一
〃	群馬縣	一	六	一	一
第廿四類	群馬縣	一	二	一	一
計		八	二九	六	二

第五節　出品ノ査定及許可

出品願書ハ府下ニ於テハ郡區長ヲシテ其所轄內ノ分ヲ取纏メ規定ノ期日ニ本會事務所ニ送付セシメ特ニ團體出品者ニ限リ團體ノ首長ヲシテ其ノ取纏メニ任セシメ直接之ヲ事務所ニ送付シ得ルコトヽセリ出品願書ノ到達シタルモノハ出品係ニ於テ豫メ出品部別ニ主任ヲ置キ出品係長統督ノ下ニ之ヲ處理セリ其査定ノ方法ハ出品願書ニ付キ出品物ノ實質効用ヲ確メ次ニ其容積ヲ算定シ之ヲ綜合シテ各部ノ容積ヲ量リ又此ノ容積ヲ基礎トシ按分比例ヲ以テ陳列館ニ於ケル陳列面積ヲ算定シタリ然ルニ出願ノ出品容積ハ殆ント陳列場面積ノ倍數ヲ超過シタルヲ以テ陳列場ニ收容シ得ル程度トシテ出品ヲ削減セサルヲ得サリシヲ以テ出願人ヲシテ適宜出品ヲ取捨セシメ其結果ニ就キ出品ノ適否ト容積ノ大小ヲ量リ以テ許否

ヲ決定セリ

出品人中ニハ僅カニ數點零碎ノ出品ヲナス者ト或ハ多數尨大ノ出品ヲナス者アリ營業狀態ニ從テ必シモ一樣ナルコト能ハサルハ實ニ止ムヲ得サルモノナリトス而シテ前者ニ對シテハ一一物品ニ對シ指令スル所アリシト雖モ後者ニ至リテハ許可ノ點數ニ對シテ概括的ニ陳列面積ヲ指定シ指定面積ヲ以テ陳列シ得ルモノトシテ機械類ノ出品ニ至リテハ陳列上各特種ノ裝置ヲ要スルモノナルヲ以テ出品許可ノ指令ハ前三者ニ對シ各形式ヲ異ニスルノ必要アリシヲ以テ左ノ三樣ニ區別セリ

出品許可指令書

第一號樣式

第　號

東京勸業博覽會出品願ノ件許可ス

但左ノ通心得ヘシ

明治　年　月　日

一出品ハ第何部何類何々トス

一出品數ハ(何點以內タルヘシ)(何點ヲ減ス)(願出ノ通)

府縣郡市町村番地

何　某

東京府知事

一出品本目錄ハ明治四十一年一月十五日迄ニ必ス提出スヘシ

一陳列場所ハ別ニ指定スヘシ

第貳號樣式

第　號

東京勸業博覽會出品願ノ件許可ス

但シ左ノ通心得ヘシ

明治　年　月　日

一出品ハ第何部何類トス

一出品點數ハ(何點以內タルヘシ)(何點ヲ減ス)(願出ノ通)

一出品目錄ハ十二月中ニ必ス提出スヘシ

一陳列容積ハ間口外法何間何尺奥行外法何間何尺壁面縱何尺何寸橫何尺何寸トシ陳列箱及裝飾ハ自辨タルヘシ

一陳列場所ハ別ニ指定スヘシ

一陳列箱陳列棚及陳列臺ノ設計圖面ハ十二月二十日迄ニ本會ニ提供シ承認ヲ受クヘシ

一前項ニ違背スルトキハ出品ヲ取消シタルモノト見做スコトアルヘシ

府縣郡市町村番地

何　某

東京府知事

第　　號

東京勸業博覽會出品願ノ件許可ス

但シ左ノ通心得ヘシ

明治　年　月　日

東京府知事

府縣郡市町村番地

何　某

一何機械ハ機械館内第何號區間口外法何尺何寸奥行外法何尺何寸何坪(或ハ異形狀ニ付何坪)壁面外法縱何尺何寸横何尺何寸ノ面積ニ陳列スヘシ

一基礎ノ構造及陳列裝飾危險豫防ニ要スル特種ノ工事ハ本指令ノ日付ヨリ三週間以内ニ其設計書及圖面ヲ提供シテ本會ノ許可ヲ受クヘシ

一動力ヲ要スルモノハ其ノ實馬力數ヲ申報シテ本會ノ認諾ヲ受クヘシ「カウンターシヤフト」及「ベルデング」ハ出品人ノ自辨タルヘシ

出品本目錄ノ確定ハ事甚タ容易ナルカ如キモ其實然ラス蓋出品人ニ於テ甲乙二種ノ中ニ付一ノ出品物ヲ選擇センカ必ラス賞ヲ期スルヲ以テ動モスレハ其採擇ニ苦ミ逡巡躊躇スルヲ常トスルカ故ニ其決定非常ニ遲延スルノミナラス一旦決定シタル後ト雖モ他人ノ云爲ヲ見テ別種ノ出品ニ變更スルモノモ亦少カラス又意匠計畫ノ剽窃ヲ防クカ爲メ自己ノ出品準

備ヲ可成的他人ニ秘スルヲ以テ能事トナシ故意ニ目錄ノ提出ヲ遲延スルモノ亦少ナカラス而シテ殊ニ美術工藝品ノ如キハ製作人ニ於テ出陳ノ物品ヲ豫定スト雖製作完了ノ後ニアラサレハ果シテ豫定通リノ物品ヲ製作シ得ルヤ否ハ不明ナルヲ以テ豫メ出品物ヲ確定スルハ頗ル困難トスル所ナリ而シテ此ノ困難ハ天產物ハ勿論一般ノ物品ニモ隨伴スルモノナルヲ以テ開會數ケ月前ニ提出スル願書ニ出陳ノ物品ヲ確然指定セシムルハ事實不可能ノ場合多シトス右ノ次第ニ由リ開會前或一定ノ時期ニ出品物ヲ確定シ之ニ依リ陳列其他諸般ノ準備ヲ整頓スルハ事甚タ難事ニ屬スルカ故ニ本會ニ於テハ願書面ニ記載スル物品名ハ單ニ出品部類名ヲ知ルヲ得レハ足レリトシ必シモ願書ト願書提出後ニ提出スル目錄トノ符合ヲ責メサルノ方針ヲ採レリ而シテ願書ハ出品人ノ要スル各部類ノ陳列容積ヲ定ムルノ具トナシ出品物ハ一般ニ開會間際ニ提出スル目錄ニ依リ確定セシムルコトトシ特ニ團體出品ニ對シテハ其ノ代表者ヲシテ物品ヲ搬入陳列セシメ其整頓ヲ待チテ雙方立會ノ上陳列品ト臺帳トヲ對照シ其符合ヲ認メタル上之ヲ本會ノ保管ニ移シ以テ出品ヲ確定スルコトヽセリ

第六節　出品臺帳ノ整理

出品臺帳ハ本會ニ於ケル最モ重要ノモノニシテ搬入出ノ照合賣約記入等總テ出品整理ノ基礎タルヲ以テ當初ヨリ出品主任ヲ督勵シテ苟モ遺漏誤謬ノナカランコトヲ期セリ而シテ其整理ノ方法ハ出品部類別ニ據リ部毎ニ之ヲ調製シ更ニ之ヲ類別ニ編製セリ其樣式左ノ如シ

通番號	出品番號	品名	箇數	價額	搬入	列品搬出	賣約	目錄解說	出品人 住所	出品人 氏名
				円						

第七節　出品統計

部別	類別	種類	管内 人員	管内 點數	管内 價格	管外 人員	管外 點數	管外 價格	計 人員	計 點數	計 價格
第一部	第十一類	第一類 教育、學藝	六五人	九、五四七點	一三、三〇五四六圓	七人	六五〇點	一〇、九七一、六〇圓	七三人	一〇、五七七點	一三、三〇三、四七圓
		第二類 家庭教育ニ關スル方法用品	三	三	三〇	—	—	—	三	三	三〇
		第三類 幼稚園、小學校、中學校、高等女學校、其他ノ學校ニ於ケル教育ノ方法ニ關スル書籍、地圖、標本、器具、模型、繪畫、寫眞、標本、器具、器械、計器、度量衡、比較器、時計及測候ニ關スル器具、用品（手工教材及教具ヲ除ク）竝ニ其ノ他教育ニ關スル物品	一七	一六五	一一、六八五圓	一	一	—	一八	一六六	一一、六八五圓
		第四類 特殊學校、盲啞學校及小學校ニ於ケル教育ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他教育ノ方法ニ關スル物品	一五	一五三	三、七五〇圓	—	—	—	一五	一五三	三、七五〇圓
		第五類 成績品ニ關スル物品（手工教材及教具ヲ除ク）竝ニ其ノ他教育ノ方法ニ關スル物品	二	四三	一、〇九〇圓	—	—	—	二	四三	一、〇九〇圓
		第六類 美術、音樂、演藝、文學、理學、醫學、法律、經濟、商業、農業、工業、商船、水產等ノ學術ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他教育ノ方法ニ關スル物品	一三	一二九	三、〇九〇圓	九	五五	一、八四〇、九六〇圓	二二	一八四	一、八四三、九六〇圓
		第七類 通俗教育ニ關スル方法、用品	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		第八類 圖書館、博物館等ノ設計、管理法及器具、用品ノ設計、管理法	一	九	二六〇圓	—	—	—	一	九	二六〇圓
		第九類 標本、器械、器具、模型、繪畫、寫眞、圖表等ニ關スル方法、用品	一四	三五	一、一二〇圓	二六	一三五	八三、三〇一圓	四一	一六〇	九四、四二一圓
		第十類 教育ニ關スル統計、圖表、報告、書籍、雜誌、新聞紙	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第十一類 其他教育ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第十二類	第一類 衛生ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他衛生ノ方法	五	一三四	六五、七〇〇圓	—	—	—	五	一三四	六五、七〇〇圓
		第二類 醫學、藥學、齒科醫學、產婆學、看護婦學、獸醫學ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他醫學、藥學、齒科醫學、產婆學、看護婦學、獸醫學ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第三類 警察、消防ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他警察、消防ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第四類 監獄、感化院ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他監獄、感化院ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第五類 救恤、慈善、博愛ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他救恤、慈善、博愛ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第六類 其他衛生ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第十三類	第一類 土木ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他土木ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 建築ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他建築ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第三類 其他土木建築ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第十四類	第一類 鑛業ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他鑛業ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 冶金ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他冶金ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第三類 其他鑛業冶金ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第十五類	第一類 機械ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他機械ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 電氣ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他電氣ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第三類 其他機械電氣ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第十六類	第一類 化學ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他化學ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 染色ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他染色ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第三類 其他化學染色ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第十七類	第一類 紡織ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他紡織ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 染織ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他染織ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第三類 其他紡織染織ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第十八類	第一類 製紙ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他製紙ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 印刷ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他印刷ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第三類 其他製紙印刷ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第十九類	第一類 製造ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他製造ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 其他製造ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第二十類	第一類 農業ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他農業ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 園藝ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他園藝ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第三類 其他農業園藝ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第二十一類	第一類 水產ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他水產ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 其他水產ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第二十二類	第一類 商業ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他商業ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 其他商業ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第二十三類	第一類 交通ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他交通ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 其他交通ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第二十四類	第一類 家事ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他家事ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 其他家事ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第二十五類	第一類 雜ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他雜ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 其他雜ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第二十六類	第一類 美術ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他美術ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 其他美術ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第二十七類	第一類 理學ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他理學ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 其他理學ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第二十八類	第一類 醫學、藥學、齒科醫學、產婆學、看護婦學、獸醫學ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他醫學、藥學、齒科醫學、產婆學、看護婦學、獸醫學ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 其他醫學、藥學、齒科醫學、產婆學、看護婦學、獸醫學ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第二十九類	第一類 法律ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他法律ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 其他法律ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第三十類	第一類 經濟ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他經濟ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 其他經濟ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第三十一類	第一類 財政ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他財政ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 其他財政ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第三十二類	第一類 統計ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他統計ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 其他統計ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第三十三類	第一類 地理ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他地理ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 其他地理ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第三十四類	第一類 歷史ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他歷史ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 其他歷史ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第三十五類	第一類 語學ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他語學ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 其他語學ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第三十六類	第一類 文學ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他文學ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 其他文學ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第三十七類	第一類 哲學ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他哲學ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 其他哲學ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第三十八類	第一類 宗教ニ關スル書籍、器具、用品竝ニ其ノ他宗教ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 其他宗教ニ關スル物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
	第三十九類	第一類 其他ノ書籍、器具、用品竝ニ其ノ他ノ方法	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓
		第二類 其他ノ物品	一	一	一〇圓	—	—	—	一	一	一〇圓

第二十九類	第二十八類	第二十七類	第二十六類	第二十五類	第二十四類	第二十三類	第二十二類	第二十一類	第二十類	第十九類	第十八類	第十七類	第十六類	第十五類	第十四類	第十三類	第十二類	第十一類	第十類	第九類	第八類	第七類	第六類	第五類	第四類	第三類	第二類	第一類
茶、珈琲、粗糖、蜜、乳、乾物、乾果等	窯、鹽、畜乳、皮毛、羽、角、骨等及肥、	纖維、繭	蔬菜、果實、花卉、樹苗等	草料、米、麥、雜穀、豆、雜穀、煙草、葉煙草、繭、絲、染色原料、製油原料、製紙原料、牧草	農業、園藝	動植金石標本、模型、圖	美術及工藝圖案	建築圖案	圖案	美術工藝品	彫刻、塑像、鑄造、繪畫、寫像、影版、寫	西洋畫	東洋畫	美術	演藝ニ關スル設備、用具、衣裝	遊戲具、玩具	成教育、學藝ニ關スル協會ノ事業、	有形學藝ニ關スル書籍、圖畫、雜誌、新聞紙	樂器、樂譜、樂歌	物字寫幻燈及活用字品、印刷、帝國憲法、各映關ス印刷器具、器械、用品	製本、紙類、文房具	文具	製圖用器械、器具	度量衡、計量器	電氣應用器械、器具	電氣ノ發生及傳導ニ關スル機械、器具	電信、電話ニ關スル機械、器具	鐵道ニ關スル機械、器具
三四六	一	三三九	一三六	一九四	三六五	六	三	九	五	九	五	九	四六三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三四七	一	三九	二三二	二四六	四六	三	三	五	五	四	五	七	六	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三三五	一	三四	一三四	二四六	四四四	三	一	四	五	四	五	七	六	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三四六	一	三四	一三四	二四六	四四四	三	一	四	五	四	五	七	六	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三四七

第七部

第六十七類　氷、豆腐、氷蒟蒻、湯波、麩、燒麩等

第六十六類　燈臺、加工香料、食油等

第六十五類　煉乳、乾酪、乳油、牛肉等

第六十四類　菓餅、半平等

第六十三類　味附海苔、細工昆布等

第六十二類　煉羊羹、最中、饅頭、カステラ、ビスケット、ボーロ等

第六十一類　醬味噌、納豆、沢庵漬、福神漬、生姜漬、蕗砂煮、椎茸煮、筍煮、慈姑煮、蕨煮、田麩等

第六十類　糖蜜、水飴、果實水等

第五十九類　醋、醸造酢、生酒、洋醬、酢等

第五十八類　醬油、生溜、洋醬、酢等

第五十七類　成清酒、參酒、葡萄酒、味淋、火酒、泥

第五十六類　水產蒸ノ方法、成績及原本

第五十五類　養殖器具、養殖場ノ模型

第五十四類　製造用具及製造場ノ設計、模型

第五十三類　防腐、乾燥、其他處理ノ器具、鮮魚運搬器、貯藏用

第五十二類　漁具原料及製網

第五十一類　漁船、漁獵具及其設計圖、模型

第五十類　養殖魚介類

第四十九類　餌料及其採集、貯藏ノ方法

第四十八類　珊瑚、玳瑁甲、龜甲、介殼、鰾其他

第四十七類　魚油、魚蠟、魚膠、肝油

第八部

第八十七類　メントール、石灰、漂白、石膏及其製

第八十六類　硝子、瑠璃

第八十五類　七寶

第八十四類　琺瑯

第八十三類　煉瓦、瓦、敷磚、土管等

第八十二類　陶、磁

第八十一類　黑業品、金石品、塗物、化具、材料、標本等ノ製造ニ關スル方法、器

第八十類　化學應用製品

第七十九類　紙

第七十八類　薫香

第七十七類　其香水、香油、化粧用油脂、白粉、齒磨、石鹼

第七十六類　爆發性藥品（模型品ニ限ル）

第七十五類　顏料、塗料、繪具

第七十四類　ワニス、燈心、燈火、燈臺、蠟燭、蠟引紙、護謨及之主要原料

第七十三類　工業及農業用藥品

第七十二類　化學製品

第七十一類　特殊ノ考案ニ係ル飲食品器具、製造及貯藏ノ圖、模型、標本

第七十類　乾葡萄、乾梨、打栗等

第六十九類　寫眞、ビクスット、活字、鉛等

第六十八類　等細工、砂糖、寒天、シャム

第十部

第百六類　角、介甲、鼈甲製品

第百七類　牙角、介甲、鼈甲製品

第十一部

第百五類　皮革、羽毛、牙角、介甲製品

第百四類　匿名類ノ製造ニ關スル方法、器具、裝

第百三類　加工皮革、皮革製品

第百二類　毬、鞠、羽蒲團其他羽毛製品

第百一類　鞄、嚢、行李等

第百類　雛作物、曲物、桶、樽等

第九十九類　指物、木具、建具、彫物等

第九十八類　匿名類ノ製造ニ關スル方法、器具、裝

第九十七類　塗物、機械

第九十六類　膠漆其他ノ塗物

第九十五類　漆器、蒔繪品

第九十四類　玉石製品

第九十三類　刺繍、綴、縫、編、組、網、レース

第九十二類　染色、捺染、型附、洗張、染抜

第九十一類　織物、織布、織糸

第九十類　紡績、撚糸、糸

第八十九類　蚕、蚕種、繭、生糸、玉糸、副蚕糸、蚕糸綿

第八十八類　匿名類ノ製造ニ關スル方法、器具、裝

第八十七類　繊維、繊維製品

第八十六類　繊維、繊維製品

第八十五類　繊維、繊維製品

第八十四類　繊維、繊維製品

第八十三類　繊維、繊維製品

第八十二類　繊維、繊維製品

第八十一類　繊維、繊維製品

第八十類　繊維、繊維製品

第七十九類　繊維、繊維製品

第七十八類　繊維、繊維製品

第七十七類　繊維、繊維製品

第七十六類　繊維、繊維製品

第七十五類　繊維、繊維製品

第七十四類　繊維、繊維製品

第七十三類　繊維、繊維製品

第七十二類　繊維、繊維製品

第七十一類　繊維、繊維製品

第七十類　繊維、繊維製品

第六十九類　繊維、繊維製品

第六十八類　繊維、繊維製品

第六十七類　繊維、繊維製品

第六十六類　繊維、繊維製品

第六十五類　繊維、繊維製品

第六十四類　繊維、繊維製品

第六十三類　繊維、繊維製品

第六十二類　繊維、繊維製品

第六十一類　繊維、繊維製品

第六十類　繊維、繊維製品

第五十九類　繊維、繊維製品

第五十八類　繊維、繊維製品

第五十七類　繊維、繊維製品

第五十六類　繊維、繊維製品

第五十五類　繊維、繊維製品

第五十四類　繊維、繊維製品

第五十三類　繊維、繊維製品

第五十二類　繊維、繊維製品

第五十一類　繊維、繊維製品

第五十類　繊維、繊維製品

第四十九類　繊維、繊維製品

第四十八類　繊維、繊維製品

第四十七類　繊維、繊維製品

第四十六類　繊維、繊維製品

第四十五類　繊維、繊維製品

第四十四類　繊維、繊維製品

第四十三類　繊維、繊維製品

第四十二類　繊維、繊維製品

第四十一類　繊維、繊維製品

第四十類　繊維、繊維製品

第三十九類　繊維、繊維製品

第三十八類　繊維、繊維製品

第三十七類　繊維、繊維製品

第三十六類　繊維、繊維製品

第三十五類　繊維、繊維製品

第三十四類　繊維、繊維製品

第三十三類　繊維、繊維製品

第三十二類　繊維、繊維製品

第三十一類　繊維、繊維製品

第三十類　繊維、繊維製品

第二十九類　繊維、繊維製品

第二十八類　繊維、繊維製品

第二十七類　繊維、繊維製品

第二十六類　繊維、繊維製品

第二十五類　繊維、繊維製品

第二十四類　繊維、繊維製品

第二十三類　繊維、繊維製品

第二十二類　繊維、繊維製品

第二十一類　繊維、繊維製品

第二十類　繊維、繊維製品

第十九類　繊維、繊維製品

第十八類　繊維、繊維製品

第十七類　繊維、繊維製品

第十六類　繊維、繊維製品

第十五類　繊維、繊維製品

第十四類　繊維、繊維製品

第十三類　繊維、繊維製品

第十二類　繊維、繊維製品

第十一類　繊維、繊維製品

第十類　繊維、繊維製品

第九類　繊維、繊維製品

第八類　繊維、繊維製品

第七類　繊維、繊維製品

第六類　繊維、繊維製品

第五類　繊維、繊維製品

第四類　繊維、繊維製品

第三類　繊維、繊維製品

第二類　繊維、繊維製品

第一類　繊維、繊維製品

| | | |

總計

	計	地圖、海圖、統計表	造船及土木工事ノ模型、圖畫	軍事通信ニ關スル方法、器具、材料	軍事衛生及救護ニ關スル方法、器	教育及練習用具	雜綵	被服、裝具	雜用器具、材料
	九、八六七				一		八	一〇	
	七一、四三三				一		二七六	四三	
	一、四六〇、〇四一				四五、〇〇〇		一、九九九	一、五二九	
	四、九九六								
	三、三四三							三	
	三四、八九二、三五							四、〇〇〇、〇四	
	一四、八七六						八	二	
	九、八五四				一		三六	四五	
	一、七三九、二六				四五、〇〇〇		一、九九九	一、五二九	

（備考）

一　本表ニハ農商務省、陸軍省、海軍省、統監府、東京市、日本赤十字社、帝國海事協會ノ出品及ヒ臺灣製品、外國製品、特許品ハ之ヲ包含セス

一　本表中ノ價額ハ出品價額ノ明瞭シ居ルモノヽミヲ掲ケ其不明ノモノ又ハ未定ノモノハ之ヲ除外シタルヲ以テ實際ハ本表ノ價額ヨリ高額ナルモノトス

其一　出品府縣別表

府縣別／部別		第一部	第二部	第三部	第四部	第五部	第六部	第七部	第八部	第九部	第十部	第十一部	第十二部	第十三部	第十四部	第十五部	第十六部	第十七部	第十八部	第十九部	合計
北海道	人員	一	一	一		七	三	一五	一五	二											五
	點數	二九	一	一		一六	六	三三	四三	一		三	二	一	四	一	一	一	一	一	一四七
東京	人員	六五	四六	九三	六三	三〇	三三	四七	三六	五五	三六	一五	一	四	一	一	一	一	一	一	一七七
	點數	九、五四七	六、一四一	一、五〇五	一、四八六	一、六一一	一、〇一一	一、五四〇	一、二七三	九、六七五	三、〇六一	一、三九五	九、六三六	一、〇一二	九、四五五	五、六五七	三、三三	一、七五	一、三五	九、八六六	一、三三、四三五
京都	人員	六	一一	一	一	一		一四	六	七	三〇	一一	一	三	一	二	一	一	一	一	一三五
	點數	六四	一七	一〇	一	一	一	三一	一四五	三三	一五六	三六一	一三六	一三	一六五	一一	二	一	一	一	一、四七六

其二　出品府縣別表

府縣別／部別		大阪	神奈川	兵庫	長崎	新潟	埼玉	千葉	茨城	群馬	栃木	奈良	三重	愛知	靜岡	山梨
第一部	人員	二三	三四	七六	一一	三四	一一	三一	一一	三一	一一	一一	一一	五五	三一	一一
	點數	七六	三三	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一七三	一一	二五	一三	一一
第二部	人員	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	點數	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第三部	人員	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	點數	四二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第四部	人員	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	點數	一三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第五部	人員	一七	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	點數	四〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第六部	人員	四〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	點數	一〇五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第七部	人員	一二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	點數	四五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第八部	人員	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	點數	四九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第九部	人員	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	點數	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第十部	人員	一七	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	點數	四〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第十一部	人員	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	點數	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第十二部	人員	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	點數	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第十三部	人員	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	點數	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第十四部	人員	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	點數	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第十五部	人員	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	點數	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第十六部	人員	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	點數	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第十七部	人員	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	點數	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第十八部	人員	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	點數	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第十九部	人員	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	點數	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
合計	人員	二三	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
	點數	一、三六六	一、三五七	一、三五九	一、三五七	一、三五三	一、三五三	一、三五六	一、三五三	一、三五七	一、三五三	一、三五七	一、三五三	一、三五六	一、三五三	一、三五六

府県	合計		沖縄		鹿児島		宮崎		熊本		佐賀		大分		福岡		高知		愛媛		香川		徳島		和歌山		山口		鳥取	
種別	総数	比率	総数	比率	総数	比率	総数	比率	総数	比率	総数	比率	総数	比率	総数	比率	総数	比率	総数	比率	総数	比率	総数	比率	総数	比率	総数	比率	総数	比率
人員	1,010,000	千人	1,000	千人	11,000	千人	11,000	千人	11,000	千人	11,000	千人	11,000	千人	11,000	千人	11,000	千人	11,000	千人	11,000	千人	11,000	千人	11,000	千人	11,000	千人	11,000	千人
戸数	1,000,000	千戸	1,000	千戸	11,000	千戸	11,000	千戸	11,000	千戸	11,000	千戸	11,000	千戸	11,000	千戸	11,000	千戸	11,000	千戸	11,000	千戸	11,000	千戸	11,000	千戸	11,000	千戸	11,000	千戸
人員	1,000

備考

本表ニハ前表同樣農商務省陸軍省海軍省統監府東京市日本赤十字社帝國海事協會ノ出品及臺灣製品外國製品特許品ハ之ヲ包含セス

其三 特種出品部類別表

部別	類別	種類	臺灣製品 人員	臺灣製品 點數	外國製品 人員	外國製品 點數	特許品 人員	特許品 點數	計 人員	計 點數
第一部	第一類	教育學藝 家庭教育ニ關スル方法用品	五人	二三點	一九人	二八、一三點	二四人	七七點	四八人	二、九一三點
	第二類	幼稚園、小學校、盲啞學校、其他初等教育ニ關スル學校ノ設計、教育ノ方法及特殊ノ器具用品、(手工科ニ限リ材料及成績品)	—	—	—	—	一	一	一	一
	第三類	中學校、高等女學校其他中等教育ニ關スル學校ノ設計教育ノ方法及特殊ノ器具、用品	—	—	—	—	—	—	—	—
	第四類	師範學校及教員養成ニ關スル學校ノ設計、教育ノ方法及特殊ノ器具、用品(手工科ニ限リ材料及成績品)	—	—	—	—	—	—	—	—
	第五類	農業、工業、商業、商船、水產等ノ實業ニ關スル學校及講習所ノ設計、教育ノ方法、特殊ノ器具用品及成績品	—	—	—	—	—	—	—	—
	第六類	美術、音樂、法學、文學、理學、醫學等專門教育ニ關スル學校ノ設計、教育ノ方法及特殊ノ器具、用品(美術學校、醫學校ニ限リ成績品)	—	—	—	—	五	一三	五	一三
	第七類	通俗教育ニ關スル方法用品	—	—	—	—	五	二二	五	二二
	第八類	圖書館、博物館等ノ設計、管理法及特殊ノ器具、用品	—	—	—	—	—	—	—	—
	第九類	各種學術及體操ニ關スル標本、器具、器械、模型、圖畫等	三	一五	一	六	—	—	四	二二
	第十類	醫療、調劑ニ關スル標本、器具、器械、材料、模型、圖畫等	—	—	二	五五〇	—	—	二	五五〇
	第十一類	度量衡、比重計、顯微鏡、時計及測量、測候等ニ關スル器具、器械	—	—	五	一、一四六	二	三	七	一、一四九
	第十二類	寫眞、幻燈ニ關スル器具、器械、用品、寫眞及映畫	二	八	一	一七	一	一	四	二六
	第十三類	活字、字母、各種印刷器具、用品及印刷物	—	—	四	七七	一	七	五	八四
	第十四類	樂譜、樂器	—	—	三	六四五	二	一三	五	六五七
	第十五類	演藝ニ關スル設備、用具、衣裳	—	—	—	—	—	—	—	—
	第十六類	遊戲品、玩具	—	—	三	三七二	七	二〇	一〇	三九二
	第十七類	教育、學藝ニ關スル協會ノ事業、成績	—	—	—	—	—	—	—	—
第二部		美術	—	—	—	—	—	—	—	—
	第十八類	東洋畫	—	—	—	—	—	—	—	—
	第十九類	西洋畫	—	—	—	—	—	—	—	—
	第二十類	彫像、塑像、鎚起像、鑄像、彫版、篆刻	—	—	—	—	—	—	—	—
	第二十一類	美術工藝品	—	—	—	—	—	—	—	—
第三部		圖案	—	—	—	—	—	—	—	—
	第二十二類	建築圖案	—	—	—	—	—	—	—	—
	第二十三類	美術及工業圖案	—	—	—	—	—	—	—	—
	第二十四類	廣告、表紙、レッテル、繪葉書等ノ圖案	—	—	—	—	—	—	—	—
第四部		農業、園藝	—	—	—	—	—	—	—	—
	第二十五類	米、麥、豆、雜穀、棉、麻、蘭、製紙原料、雜纖緝染色原料、製油原料、牧草、藥草、香辛類、種苗等	一、二三九	一、五〇九	六	一五八	六	一六	一、二五一	一、六八三
	第二十六類	蔬菜、果實、花卉、裝飾植物、種苗等	七九四	九六〇	一	七三	—	—	七九五	一、〇三三
	第二十七類	蠶種、繭	三五	三七	—	—	—	—	三五	三七

第五部

第三十六類　獣畜、鳥類、蟲類、魚類、貝類、海藻類、動物ノ製品、動物ノ標本、模型、圖畫等　二七四

第三十七類　木及竹材、木材ノ性質、木材ノ缺點、木材ノ防腐、木材ノ乾燥、木材ノ保存、木材ノ利用、木材ノ加工、木材ノ接合、木材ノ彫刻、木材ノ塗料、木材ノ染色、木材ノ膠着、木材ノ屈曲、木材ノ試驗、木材ノ檢査、木材ノ標本、模型、圖畫等　二七九

第三十八類　木材ノ種類、木材ノ性質、木材ノ缺點、木材ノ防腐、木材ノ乾燥、木材ノ保存、木材ノ利用、木材ノ加工、木材ノ接合、木材ノ彫刻、木材ノ塗料、木材ノ染色、木材ノ膠着、木材ノ屈曲、木材ノ試驗、木材ノ檢査、木材ノ標本、模型、圖畫等　二八四

第三十九類　種子、苗木　二九〇

第四十類　林業ノ方法及器具　二九一

第四十一類　林政及森林ノ管理統計等　二九二

第四十二類　狩獵產物、器具、方法　二九三

第四十三類　林業、狩獵ニ關スル標本、模型、圖畫等　二九四

第四十四類　製氷、貯氷、水產其他雜種　二九五

第四十五類　海藻其他食用海藻等　二九六

第四十六類　製鹽、加工香辛、食油等　二九七

第四十七類　煉乳、乾酪、乳油、燻肉等　二九八

第四十八類　痛鉄、牛爪等　二九九

第四十九類　味附海苔、細工昆布等　三〇〇

第五十類　罐詰　三〇一

第五十一類　福神漬、佃煮、調味料、魚煎餅、田麩、ポロ等　三〇一

第五十二類　味噌、納豆、漬物、醋、醤油、海鼠腸、鰹節等　三〇二

第五十三類　沸騰水、鑛水、果實水等　三〇三

第五十四類　醤油、生醤、洋醤、酢　三〇四

第五十五類　清酒、麥酒、葡萄酒、味淋、火酒、混成酒等　三〇五

第五十六類　水產業ノ方法、成績及標本　三〇六

第五十七類　養殖器具、養殖場ノ模型　三〇七

第五十八類　製造用具及製造場ノ設計、模型　三〇八

第五十九類　漁獲物處理具、餌魚運搬器、貯藏用防腐劑　三〇九

第六十類　漁具原料及染料　三一〇

第六十一類　漁船、漁撈具及其設計圖、模型　三一一

第六十二類　養殖魚介類　三一二

第六十三類　飼料及其採集貯藏ノ方法　三一三

第六十四類　魚油、魚粉、魚肥、肝油　三一四

第六十五類　海綿其他ノ糊狀及廢原料　三一五

第六十六類　海鼠、其他ノ工業原料　三一六

第六部

第三十類　林業、狩獵ニ關スル標本、模型、圖畫等　二四四

第三十一類　林業ノ方法及器具　二四四

第三十二類　林政及森林ノ管理統計等　二四四

第三十三類　狩獵產物、器具、方法　二四六

第三十四類　獸皮、齒牙、乾飽、雜毛其他雜乾製小物　二四七

第三十五類　業天、昆布、石花菜、海苔其他食用海藻等　二四八

第三十六類　獸畜、鳥類、蟲類、魚類、貝類、海藻類、動物ノ製品、動物ノ標本、模型、圖畫等　二四九

第三十七類　木及竹材、木材ノ性質、木材ノ缺點、木材ノ防腐、木材ノ乾燥、木材ノ保存、木材ノ利用、木材ノ加工、木材ノ接合、木材ノ彫刻、木材ノ塗料、木材ノ染色、木材ノ膠着、木材ノ屈曲、木材ノ試驗、木材ノ檢査、木材ノ標本、模型、圖畫等　二五四

第三十八類　木材ノ種類、木材ノ性質、木材ノ缺點、木材ノ防腐、木材ノ乾燥、木材ノ保存、木材ノ利用、木材ノ加工、木材ノ接合、木材ノ彫刻、木材ノ塗料、木材ノ染色、木材ノ膠着、木材ノ屈曲、木材ノ試驗、木材ノ檢査、木材ノ標本、模型、圖畫等　二五九

第三十九類　種子、苗木　二六五

第四十類　林業ノ方法及器具　二六六

第四十一類　林政及森林ノ管理統計等　二六七

第四十二類　狩獵產物、器具、方法　二六八

第四十三類　林業、狩獵ニ關スル標本、模型、圖畫等　二六九

第四十四類　製氷、貯氷、水產其他雜種　二七〇

第四十五類　海藻其他食用海藻等　二七一

第四十六類　製鹽、加工香辛、食油等　二七二

第四十七類　煉乳、乾酪、乳油、燻肉等　二七三

第四十八類　痛鉄、牛爪等　二七四

第四十九類　味附海苔、細工昆布等　二七五

第五十類　罐詰　二七六

第五十一類　福神漬、佃煮、調味料、魚煎餅、田麩、ポロ等　二七六

第五十二類　味噌、納豆、漬物、醋、醤油、海鼠腸、鰹節等　二七七

第五十三類　沸騰水、鑛水、果實水等　二七八

第五十四類　醤油、生醤、洋醤、酢　二七九

第五十五類　清酒、麥酒、葡萄酒、味淋、火酒、混成酒等　二八〇

第五十六類　水產業ノ方法、成績及標本　二八一

第五十七類　養殖器具、養殖場ノ模型　二八二

第五十八類　製造用具及製造場ノ設計、模型　二八三

第五十九類　漁獲物處理具、餌魚運搬器、貯藏用防腐劑　二八四

第六十類　漁具原料及染料　二八五

第六十一類　漁船、漁撈具及其設計圖、模型　二八六

第六十二類　養殖魚介類　二八七

第六十三類　飼料及其採集貯藏ノ方法　二八八

第六十四類　魚油、魚粉、魚肥、肝油　二八九

第六十五類　海綿其他ノ糊狀及廢原料　二九〇

第六十六類　海鼠、其他ノ工業原料　二九一

第七部

第三十類　林業、狩獵ニ關スル標本、模型、圖畫等　二四四

第三十一類　林業ノ方法及器具　二四四

第三十二類　林政及森林ノ管理統計等　二四四

第三十三類　狩獵產物、器具、方法　二四六

第三十四類　獸皮、齒牙、乾飽、雜毛其他雜乾製小物　二四七

第三十五類　業天、昆布、石花菜、海苔其他食用海藻等　二四八

第三十六類　獸畜、鳥類、蟲類、魚類、貝類、海藻類、動物ノ製品、動物ノ標本、模型、圖畫等　二四九

第三十七類　木及竹材、木材ノ性質、木材ノ缺點、木材ノ防腐、木材ノ乾燥、木材ノ保存、木材ノ利用、木材ノ加工、木材ノ接合、木材ノ彫刻、木材ノ塗料、木材ノ染色、木材ノ膠着、木材ノ屈曲、木材ノ試驗、木材ノ檢査、木材ノ標本、模型、圖畫等　二五四

第三十八類　木材ノ種類、木材ノ性質、木材ノ缺點、木材ノ防腐、木材ノ乾燥、木材ノ保存、木材ノ利用、木材ノ加工、木材ノ接合、木材ノ彫刻、木材ノ塗料、木材ノ染色、木材ノ膠着、木材ノ屈曲、木材ノ試驗、木材ノ檢査、木材ノ標本、模型、圖畫等　二五九

第三十九類　種子、苗木　二六五

第四十類　林業ノ方法及器具　二六六

第四十一類　林政及森林ノ管理統計等　二六七

第四十二類　狩獵產物、器具、方法　二六八

第四十三類　林業、狩獵ニ關スル標本、模型、圖畫等　二六九

第四十四類　製氷、貯氷、水產其他雜種　二七〇

第四十五類　海藻其他食用海藻等　二七一

第四十六類　製鹽、加工香辛、食油等　二七二

第四十七類　煉乳、乾酪、乳油、燻肉等　二七三

第四十八類　痛鉄、牛爪等　二七四

第四十九類　味附海苔、細工昆布等　二七五

第五十類　罐詰　二七六

第五十一類　福神漬、佃煮、調味料、魚煎餅、田麩、ポロ等　二七六

第五十二類　味噌、納豆、漬物、醋、醤油、海鼠腸、鰹節等　二七七

第五十三類　沸騰水、鑛水、果實水等　二七八

第五十四類　醤油、生醤、洋醤、酢　二七九

第五十五類　清酒、麥酒、葡萄酒、味淋、火酒、混成酒等　二八〇

第五十六類　水產業ノ方法、成績及標本　二八一

第五十七類　養殖器具、養殖場ノ模型　二八二

第五十八類　製造用具及製造場ノ設計、模型　二八三

第五十九類　漁獲物處理具、餌魚運搬器、貯藏用防腐劑　二八四

第六十類　漁具原料及染料　二八五

第六十一類　漁船、漁撈具及其設計圖、模型　二八六

第六十二類　養殖魚介類　二八七

第六十三類　飼料及其採集貯藏ノ方法　二八八

第六十四類　魚油、魚粉、魚肥、肝油　二八九

第六十五類　海綿其他ノ糊狀及廢原料　二九〇

第六十六類　海鼠、其他ノ工業原料　二九一

第九部

第八類　陶磁
第八十二類　煉瓦、瓦、敷瓦、土管等
第八十三類　玻璃
第八十四類　窯業品、金石品、塗物
第八十五類　材料ノ製造ニ關スル方法、器具、裝置、材料、標本等
第八十六類　化學製品
第八十七類　紙
第八十八類　香
第八十九類　糊料、粘着性製品（模型ニ限ル）
第九十類　糖菓、香水、香油、醬脂、白粉、齒磨、石鹼其他ノ化粧用品
第九十一類　燈火用品
第九十二類　油脂及ロウ
第九十三類　工藝及參考用標品
第九十四類　化學製品

第十部

第九十五類　木竹製品、紙製品其他植物製品
第九十六類　塗物、假漆其他ノ塗物
第九十七類　玉石製品
第九十八類　漆器、皮革製品
第九十九類　刃物、利器、釘鋏、針等
第百類　金庫、煖爐、竈爐、銅壺、鍋釜等
第百一類　把手、把鉄、釘鋲、鎖鑰等
第百二類　板金、針金製品
第百三類　銅、鐵、鋼鉱、安置、亜鉛製品、鐵金品
第百四類　貴金屬製品
第百五類　セメント、石灰、漆喰、石材及其製品
第百六類　氷、豆腐、氷蒟蒻、澱、麺、燻製等
第百七類　乾物、乾葡萄、乾梨、打栗等
第百八類　麺麭、ビスケット、菓子、飴等
第百九類　椎茸、鰹節、砂糖漬、堂漬、ジャム等
第百十類　器具、器械、器物、材料及貯藏、機械ニ關スル法、本等、飲食器、飲食品ノ製造、特殊ノ考案ニ係ル飲食品容器

第十一部

第百十一類　皮革、羽毛、牙角、介甲製品
第百十二類　加工皮革、皮革製品
第百十三類　剛毛、剛子、羽毛其他羽毛製品
第百十四類　加工紙、紙製品、提灯、傘骨等
第百十五類　莚、茣蓙、簾、行李等
第百十六類　籠、箱、曲物、桶、樽等
第百十七類　指物、木具、竹具、彫物等
第百十八類　木竹製品、紙製品其他植物製品
第百十九類　標本等ノ製造ニ關スル方法、器具、裝置、材料、標本

第百二十六類　陶磁、琺瑯、煉瓦、瓦管ノ原料
第百二十七類　雲母其他雜用石、砂
第百二十八類　金、銀、銅、鐵、鉛、錫、安質母尼、硫黄等ノ製
第百二十九類　石灰、石油、土瀝青等ノ製除品及其副産物

第十六部

第百三十類　硫酸、硝酸、鹽酸、王水、曹達、加里、燐酸、亞砒酸、青酸、過酸化水素、アンモニア、アルコール、エーテル、クロロホルム、ベンゾール、ニトロベンゾール、アニリン、フェノール、ピクリン酸、ナフタリン、アントラセン、ピリジン、キノリン、ピペリジン、ニコチン、アルカロイド、ペプトン、ゼラチン、アルブミン、カゼイン、グルテン、ジアスターゼ、ペプシン、トリプシン、ヂアスターゼ、ペプシン、トリプシン、ヂアスターゼ、ペプシン、トリプシン、ヂ

| | | |

第八節　出品ノ搬入及搬出

其一　出品ノ搬入

出品物ノ搬入ニ就テハ規則第十一條ニ於ケル如ク明治四十年二月十日ヨリ同年三月五日迄ヲ以テ其期限ト定メ嚴ニ勵行ヲ力メタリト雖モ實際其期限內ニ搬入ヲ了スル能ハサルモノ多カリシハ寔ニ遺憾トスル所ナリ又多クノ博覽會ニ於テ出品搬入ノ場合ニハ門衞ニ於テ物品檢査ヲ施行セシカ本會ニ於テハ單ニ通門ノ際誰何ニ止メタレトモ取締上別ニ不都合ヲ來タサヽリキ又出品人或ハ其代理人共ニ出頭セスシテ單ニ出品物ヲ運送業者ニ托シテ送付シタルモノハ貨物係ニ於テ之ヲ受取リ差出人及貨物ノ何タルヲ檢シ之ヲ各部ノ陳列主任ニ交付シ陳列主任ニ於テ搬入目錄(記入目錄)ト現品トヲ對照シタル後陳列ヲ爲セリ

其二　出品ノ搬出

開會中物品ヲ會場外ニ搬出スル場合若クハ閉會後出品物ヲ構外ニ搬出スル場合ニハ搬入ノ時ニ反シテ最モ其ノ取締ヲ嚴ニシ一々搬出セントスル物品及其ノ數量ヲ當該係員ニ示シ搬出ノ許可ヲ受ケシメ當該係員ニ於テ不都合ナキヲ認メタル上ニテ搬出證書ヲ作リ之ニ交付シ出門ノ際更ニ守衞ノ點檢ヲ受ケシメタリ而シテ開會前ヨリ開會後ニ至ル迄ノ間ニ於テ交付セル搬出證ハ一千八百七十四枚ニ上レリ其樣式ハ左ノ如シ

明治　年　月　日　許可ス

東京勸業博覽會事務所

現　　在

主　　任　㊞

一　一　向　向　向　　繪畫　一八
一　一　々　々　々　　出品　一八
一　一　向　向　向　　雜品

第九節　陳列

其一　陳列主任及裝置

出品物陳列ノ巧拙ハ博覽會全體ノ毀譽ニ關スルモノナルヲ以テ豫メ各部毎ニリ陳列主任ヲ置キ專ラ其事務ヲ擔當セシメタリ其人員左ノ如シ

第一部(教育學藝)　一八

第二部(美術第三部圖按)　一八

第四部（農業園藝）　一人
第五部（林業狩獵）　一人
第六部（水產第十七部建築土木）　一人
第十八部（經濟衞生救濟）　一人
第七部（飮食品）　一人
第八部（化學製品）　一人
第九部（窯業品金石品塗物）　一人
第十部（木竹製品紙製品其他植物製品）　一人
第十一部（皮革羽毛牙用介甲製品）　一人
第十三部（裝身具携帶品組編物布帛製品）　一人
第十二部（染織刺繡第十三部被服）　一人
第十四部（採鑛冶金）　一人
第十五部（機械第十六部運輸通信）　一人

（外國品）

第十九部（陸海軍用品武品）

右ノ外第九第十第十一及第十三部中ノ裝身具携帶品ニシテ他府縣出品ニ係ルモノヽ爲メ別ニ陳列主任一人ヲ置キ又陳列事務ヲ補助スル爲メ出品アル各種團體ヨリ一名若クハ二名ヲ

擧ケテ之ニ陳列委員ヲ囑託セリ猶ホ陳列委員ニハ自己ノ屬スル團體ノ出品ヲ陳列スルノ外本會ニ於テ直接施設スヘキ陳列事務ヲモ取扱ハシメタリ蓋出品陳列ノ事務ハ本會規則第十四條ニ依リ出品人若クハ其代理人ニ於テ之ヲ爲スヘキ規定ナルヲ以テ團體出品者ハ各其代表者ヲ選定シ又個人出品者ト雖モ壯大ノ陳列ヲ爲スモノハ自身若クハ其代理人ニ於テ陳列裝飾ニ從事シタルモ其他ハ何レモ本會ニ陳列其他ノ處理ヲ一任シタルヲ以テ整然タル陳列ヲ爲シ出品ノ光彩ヲ發揮セシメントセハ自ラ多數ノ人員ヲ要スルノミナラス出品物ニ依リテハ當業者ニアラサレハ適當ナル陳列ヲナスコト能ハサルモノアリ是レ特ニ各種ノ業體ヨリ陳列委員ヲ選定セシ所以ナリ

又出陳團體及個人中延長一間以上ノ陳列ヲ爲スモノニ對シテハ豫メ陳列區ヲ指定シ自費ヲ以テ陳列裝置及裝飾ノ設計ニ就テハ先ツ詳細ナル說明書ヲ徵シ本會ノ認可ヲ受ケシメタリ而シテ其裝飾トシテハ如何ニモ美觀ヲ顯ハシタレトモ玆ニ遺憾トスヘキハ設計認可ノ際高サノ制限ニ重キヲ措カサリシヲ以テ競爭ノ結果嵩大ノ裝置ヲナシタルカ爲メニ幾分光線ノ透射ヲ妨ケ陳列館內暗冥ニ陷リタルモノ無キニシモアラサリシ是レ等ハ將來大ニ注意ヲ加ヘ平面積ノ縱橫制限ト同時ニ陳列裝置ノ高サハ天井ノ高サト明窓ノ釣合ヒ及通路ノ廣狹ニ應シテ適應ノ範圍內ニ制限スルコトヲ忽ニスヘカラサルモノトス

其二　陳列容器

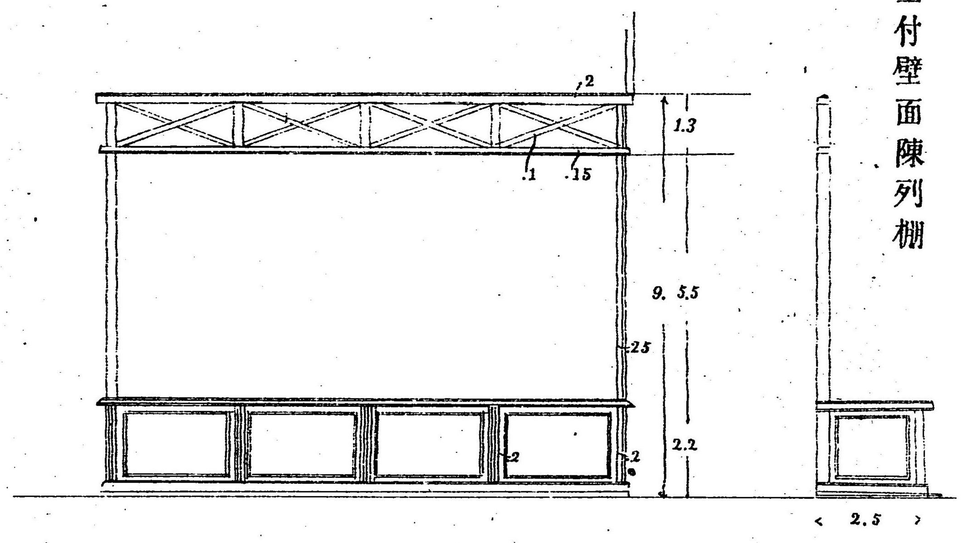
出品物ニシテ其陳列面積ノ多大ナル場合ニハ其陳列ニ要スル容器卽チ箱、臺、棚ノ類ハ出品人ノ自辨タルヘシト雖モ其間口一間未滿ノモノハ本會ニ於テ設備スルコトアルヘキ旨本會規則ニ於テ規定セリ然ルニ出品物ノ大部分ハ後者ニ屬スルヲ以テ本會ニ於テ陳列箱、陳列棚、及陳列臺ノ三種ヲ設備セリ其延長四千坪ニシテ總テ奥行二尺五寸ト定メタリ

其三　陳列面積及通路

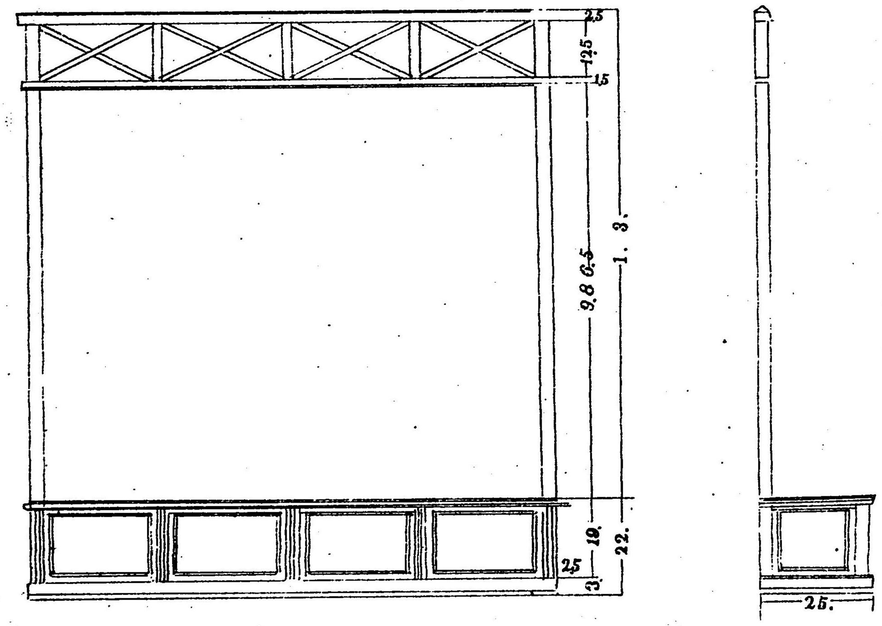
各館ニ於ケル全面積ト陳列及通路ノ面積竝ニ陳列ノ延長ハ左ノ如シ

館別	陳列延長	陳列面積	道路面積	館全面積	全面積ニ對スル陳列面積ノ割合
第一號館	一、七五八・〇 間尺	六三八・六 坪合	一、三四二・四 坪合	一、九八一・〇 坪合	・三二 %
第二號館	一、二六八・一	四七〇・〇	七八三・〇	一、一五三・〇	・三八
第三號館	八二四・三	三六一・〇	四四七・〇	八〇八・〇	・四五
第四號館	三三三・五	一五四・五	一二五・五	二八〇・〇	・五五
第五號館	六九・三	二四・〇	四四・〇	六八・〇	・三五
美術館	六〇八・〇	一一八・八	五八五・二	七〇四・〇	・一七
農業別館	一七・三	七・一	七・九	一五・〇	・四七
機械館	—	二八四・四	二一九・六	五〇四・〇	—
輛車館	—	二四五・一	二五四・九	五〇〇	—
蔬菜館	六六・四	三六・五	二五・五	六二・〇	・五九
温室	—	—	—	—	—
動物舍	五〇・四	四七・六	一〇九・四	一五七・〇	・三〇
合計	四、九九六・五	二、三八七・六	三、九四四・四	五、八二・〇	・四〇五

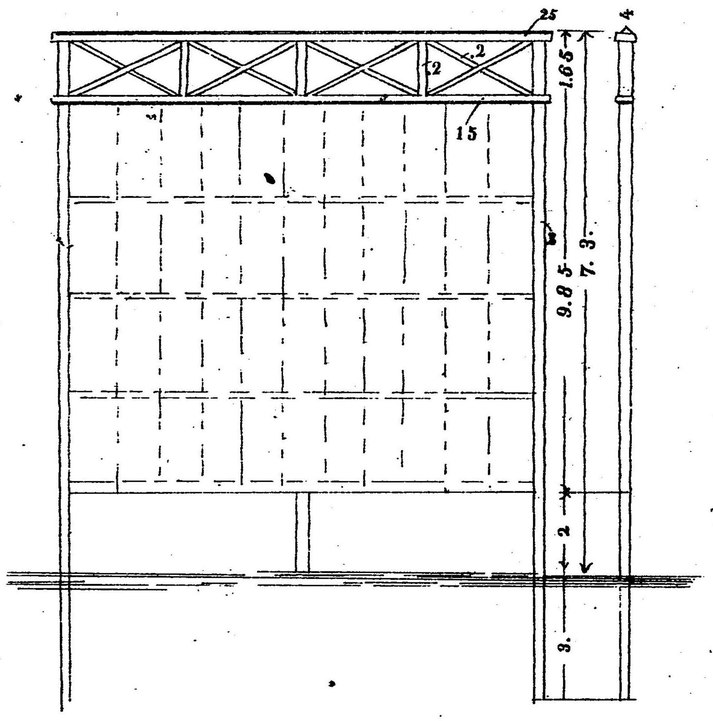
第壹號臺付壁面陳列棚



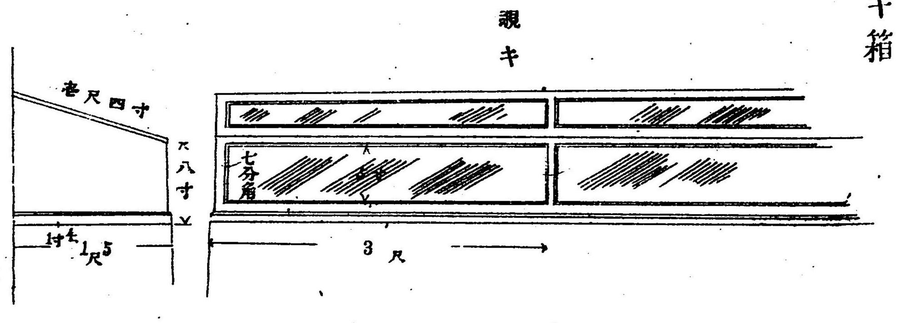
第二號臺付壁面陳列棚



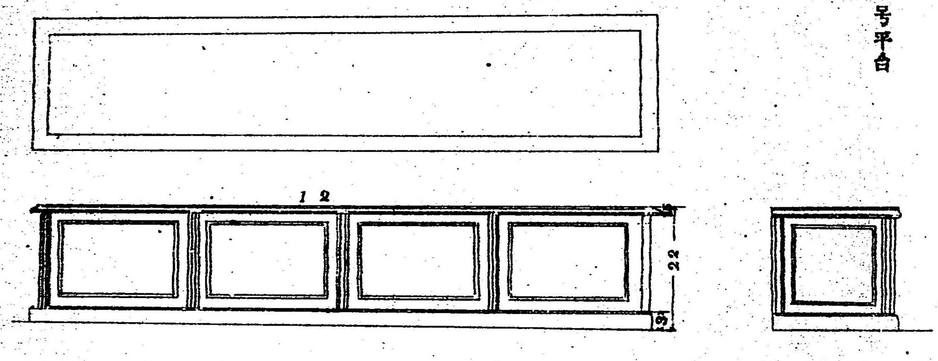
第三號両面用壁枠



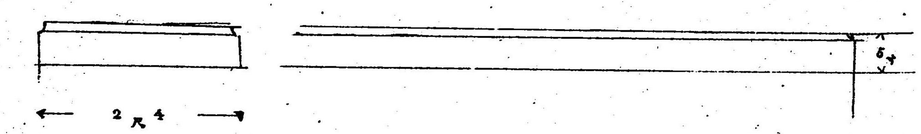
覗キ箱



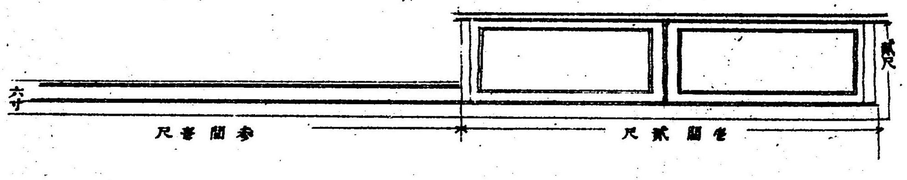
甲号平台



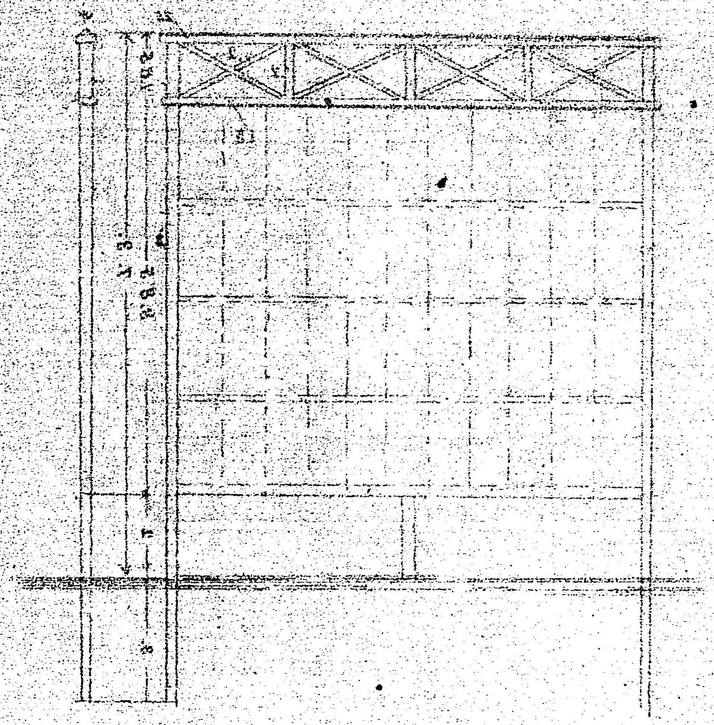
乙号平台

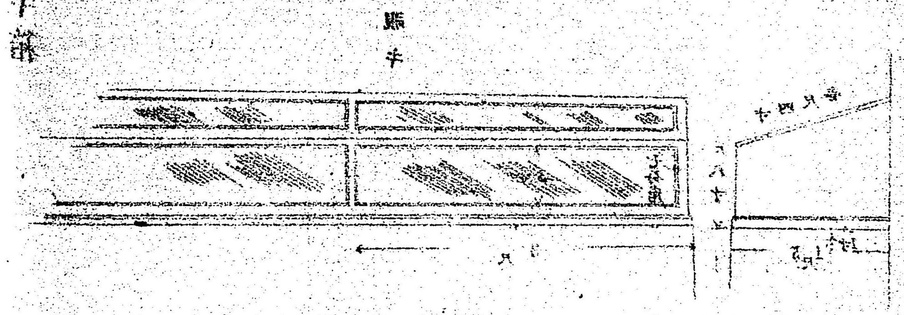


丙号平台

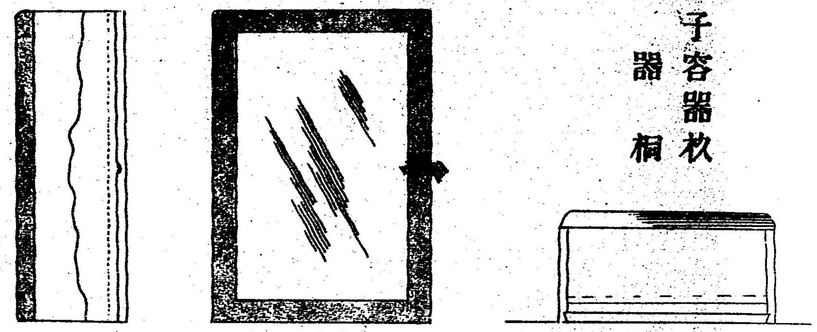


第三號兩面用壁外



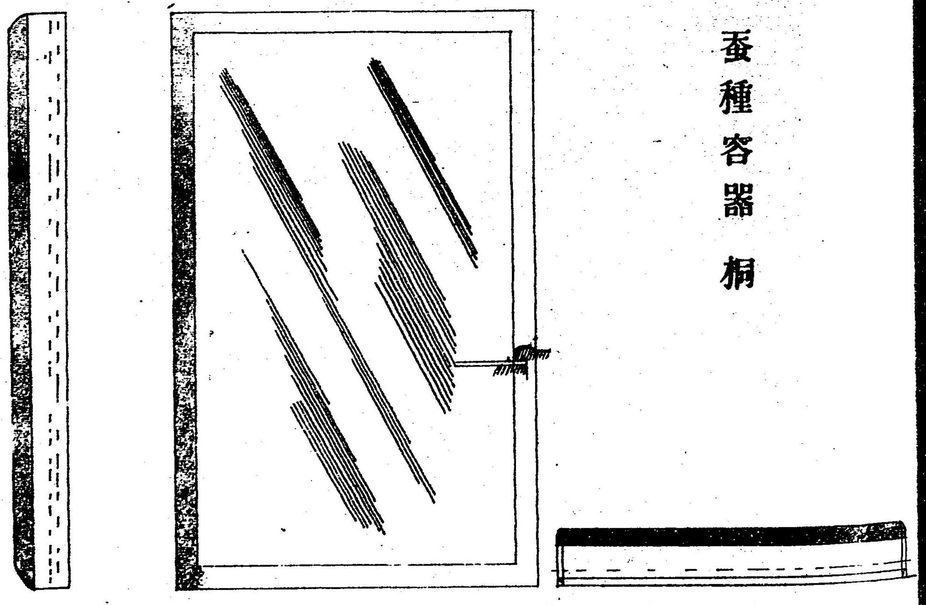


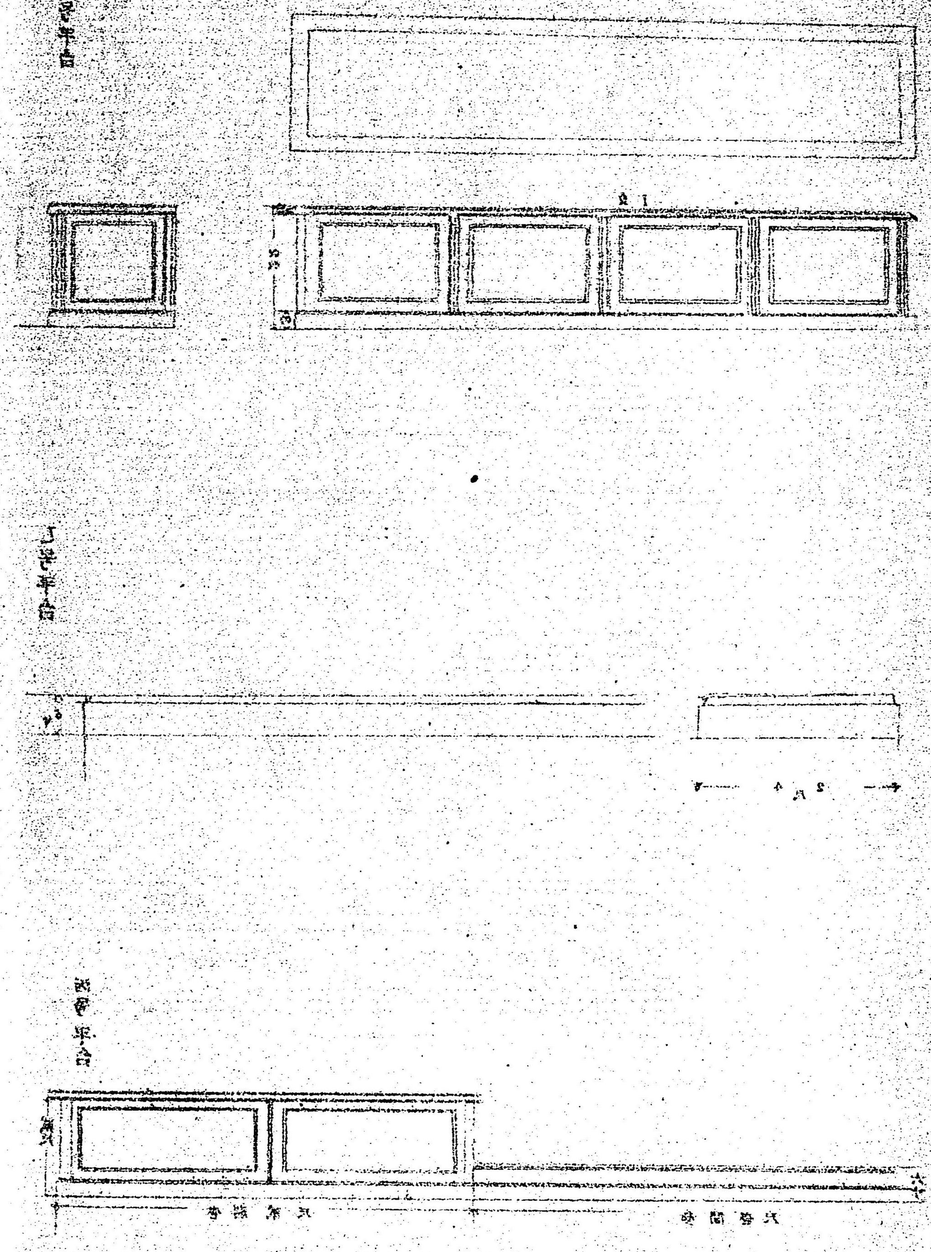
殼菽種子容器枚
繭容器桐

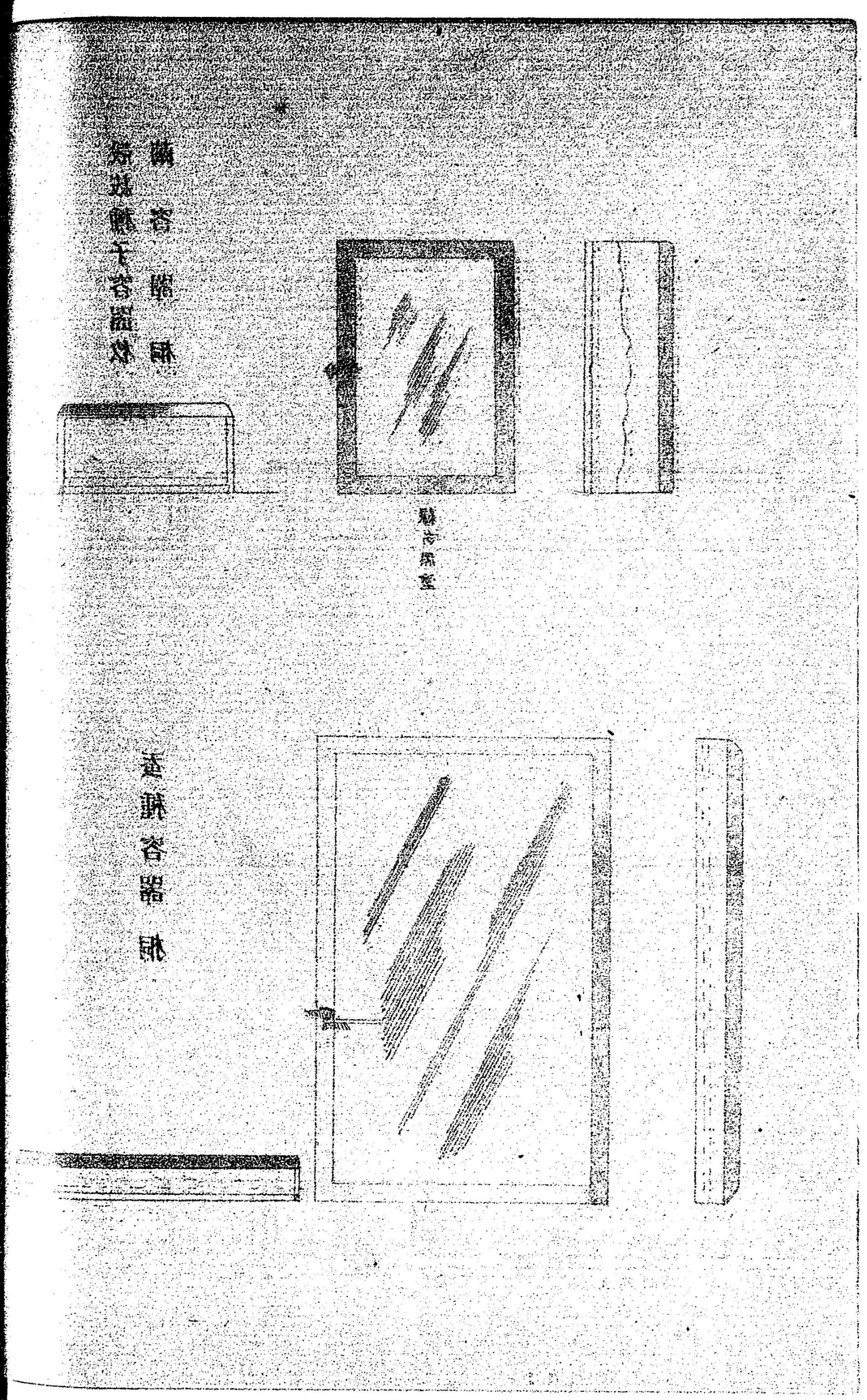


緑の黒塗

蚕種容器桐







備考　外國製品館ハ別ニ記述スルヲ以テ算入セス

更ニ各陳列館ニ於ケル部別陳列延長及陳列其他ノ面積ヲ擧クレハ左ノ如シ

部別	陳列延長	陳列面積	通路面積	館全面積ニ對スル陳列面積ノ比例	館全面積ニ對スル通路面積ノ比例	陳列面積ニ對スル通路面積ノ比例
第一號館（一、九八一坪）						
一	六八四・〇 間尺	二五三・〇 坪合	一、三四二・四 坪合	・三二 %	・六八 %	二・一三 %
八	二一五・三	七八・〇				
九	六九一・五	二五〇・〇				
一〇	七・〇	三・〇				
一一	四九・一	一六・五				
一三ノ内	六〇・一	一九・六				
一四	五〇・二	一八・五				
第二號館（一、二五二坪）						
四	一五七・〇 間尺	五三・四 坪合	七八三・〇 坪合	・三八 %	・六二 %	一・六二 %
五	六八・二	二七・六				
六	七四・〇	二五・四				
七	一八一・四	六八・六				
九	一三	五				
一〇	三三五・三	一三七・五				
一一	四〇・三	一五・五				
一三ノ内	二八六・一	一〇二・六				

一七	特許品	二七・五	九・五				
一八		二五・〇	三・四				
		七〇・四	二六・〇				
一二	第二號館(八〇八坪)	七三七・三	三二四・七				
一三ノ内		八・七〇	三六・三				
一九	第四號館(二八〇坪)	三三三・五	一五四・五				
二	第五號館(六八坪)	六九・三	二四・〇				
三	雜						
	美術館(七〇四坪)	五五八・〇	一〇八・三				
		五〇・〇	一〇・五				
四ノ内	農業別館(一五坪)	一七・三	七・一				
	機械館(五〇四坪)						
一五		二一七・三					
一六		一五・八					

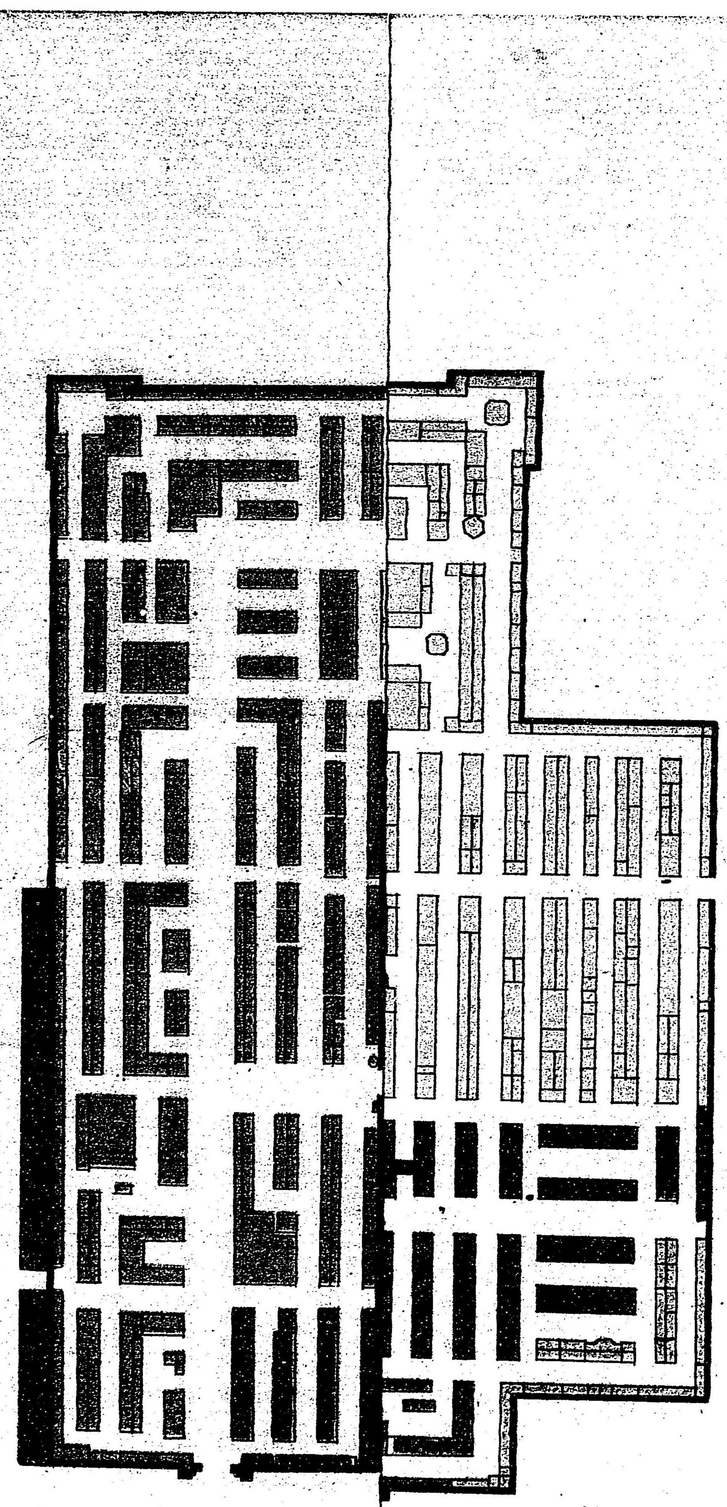
		四四七・〇	・四五				
			・五五				
			一・二二				
		一二五・五	・五五				
			・四五				
			・八二				
		四四・〇	・三五				
			・六五				
			一・八六				
		五八五・二	・一七				
			・八二				
			四・八九				
		七・九	・四七				
			・五三				
			一・三四				
		二一九・六					

車輛館(五〇坪)

一六		二四・五					
	蔬菜館(六二坪)						
四ノ内		六六・四	三六・五				
	動物舍(一五七坪)						
四ノ内		五〇・四	四七・六				
		二五・五	・五九				
			・四一				
			六・九				
		一〇九・四	・三〇				
			・七〇				
			二・三三				

備考　外國製品館ハ別ニ記述スルヲ以テ算入セス

通路ノ廣狹ヲ適當ニ決定スルハ是レ亦困難ニ屬スルモノヽ一ナリ蓋繪畫ヲ初メ多數ノ出品物ハ或ル一定ノ距離ヲ保チテ觀覽スルヲ要スルト通行上ノ混雜ヲ避ケサルヘカラサルヲ以テ通路ノ幅員ハ可成廣濶ナルヲ望ムト雖モ陳列館ノ面積ニ限リアルヲ以テ通路ヲ廣メントスレハ陳列面積ヲ減シ動モスレハ出品ヲ收容スルコト能ハサルニ至ルモノアリ故ニ通路ヲ定ムルニハ第一出品ノ多少陳列ノ狀態第二觀覽人輻湊ノ度合ヲ酌量シテ成ルヘク通路ニ餘裕アル設計ヲナサヽルヘカラサルモノトス本會ニ於テハ陳列館中央大通路ノ幅員ヲ一丈二尺トシ其他ノ小通路ヲ六尺トナシタレトモ是レサヘ頗ル狹隘ノ感アリシヲ免カレサリキ是レ可及的多數ノ出品ヲ許可シテ出品人ニ滿足ヲ與ヘント欲シタル餘弊ニシテ寔ニ已ムヲ得サルモノトス



其四　各館出品ノ排列

本會規則第十三條ニ依ルトキハ各館內ニ於ケル出品ノ排列ハ專ラ部類別ニ分ツヘシト雖觀覽ノ便ヲ圖リ又ハ陳列館建築ノ廣狹ニ應シ其他出品者ノ冀望ヲ容レ一部類ニシテ二館ニ分陳シ又ハ數部類ヲ一館ニ合陳シ若クハ出品物ノ形狀ニ依リテ館外ニ陳列シタルモノ少カラス今各館內ニ於ケル出品ノ排列ヲ擧クレハ概ネ左ノ如シ

(イ)　第一號館

第一號館ニ陳列シタルモノハ左ノ各部ニ屬スル出品トス

第一部(教育學藝)

第八部(化學製品)

第九部(窯業品金石品塗物)

第十一部(皮革羽毛牙角介甲製品)

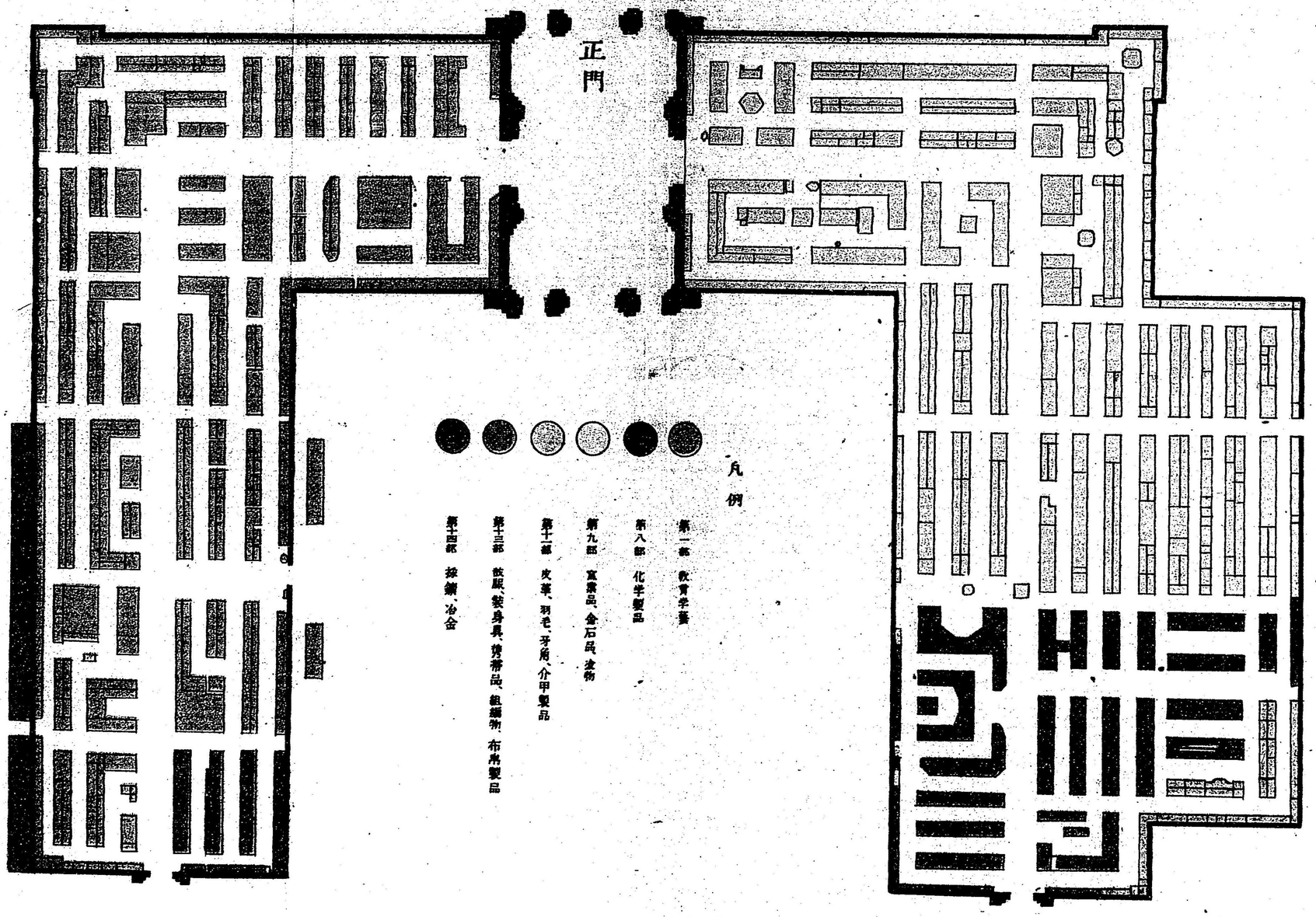
第十三部ノ內(裝身具携帶品組編物布帛製品)

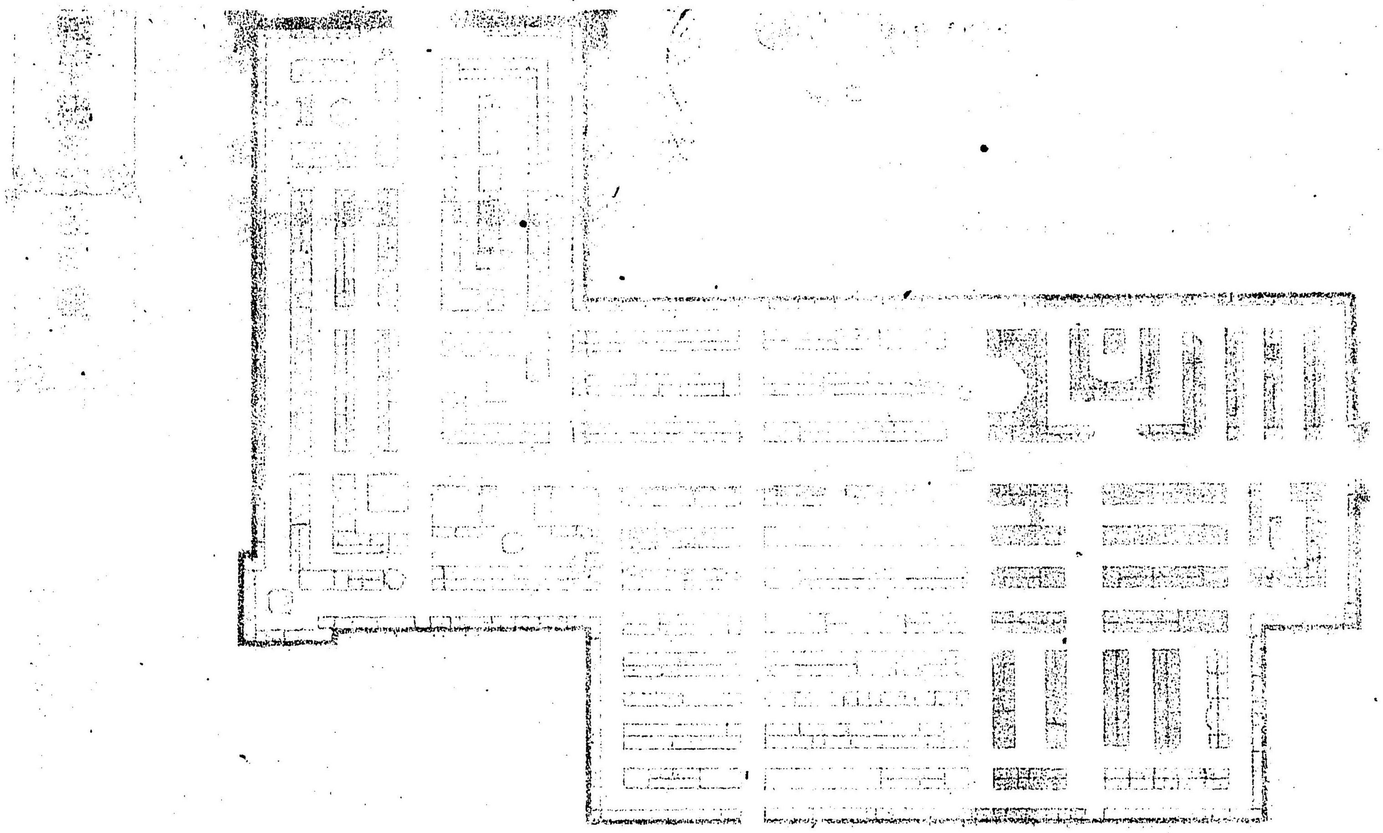
第十四部(採鑛冶金)

右ノ內第十三部中ノ被服ハ外觀ノ整備ヲ期スル爲メ特ニ第三號館ニ陳列シ裝身具携帶品布帛製品組編物等ノ一部ハ陳列區畫ノ都合ニ依リ之ヲ第二號館ノ一部ニ分陳セリ

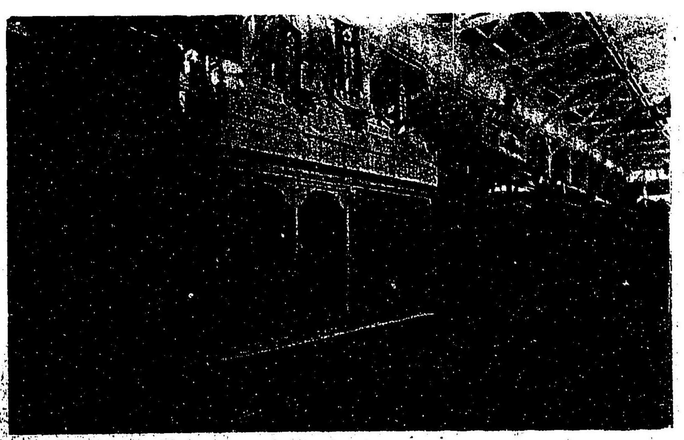
又本館ノ中央ハ本會ノ正門タルヲ以テ其左右兩翼ヲ陳列場トシ卽左翼ニ第一部及第十四部右翼ニ第八部第九部第十一部及第十三部ノ出品ヲ陳列シタリ

第一號館出品部別陳列圖

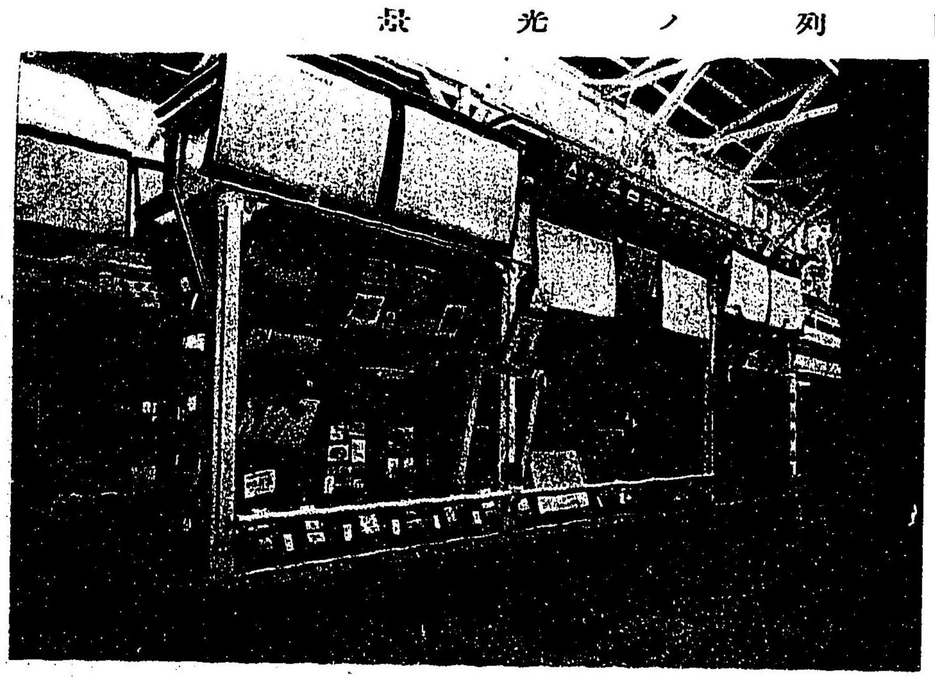




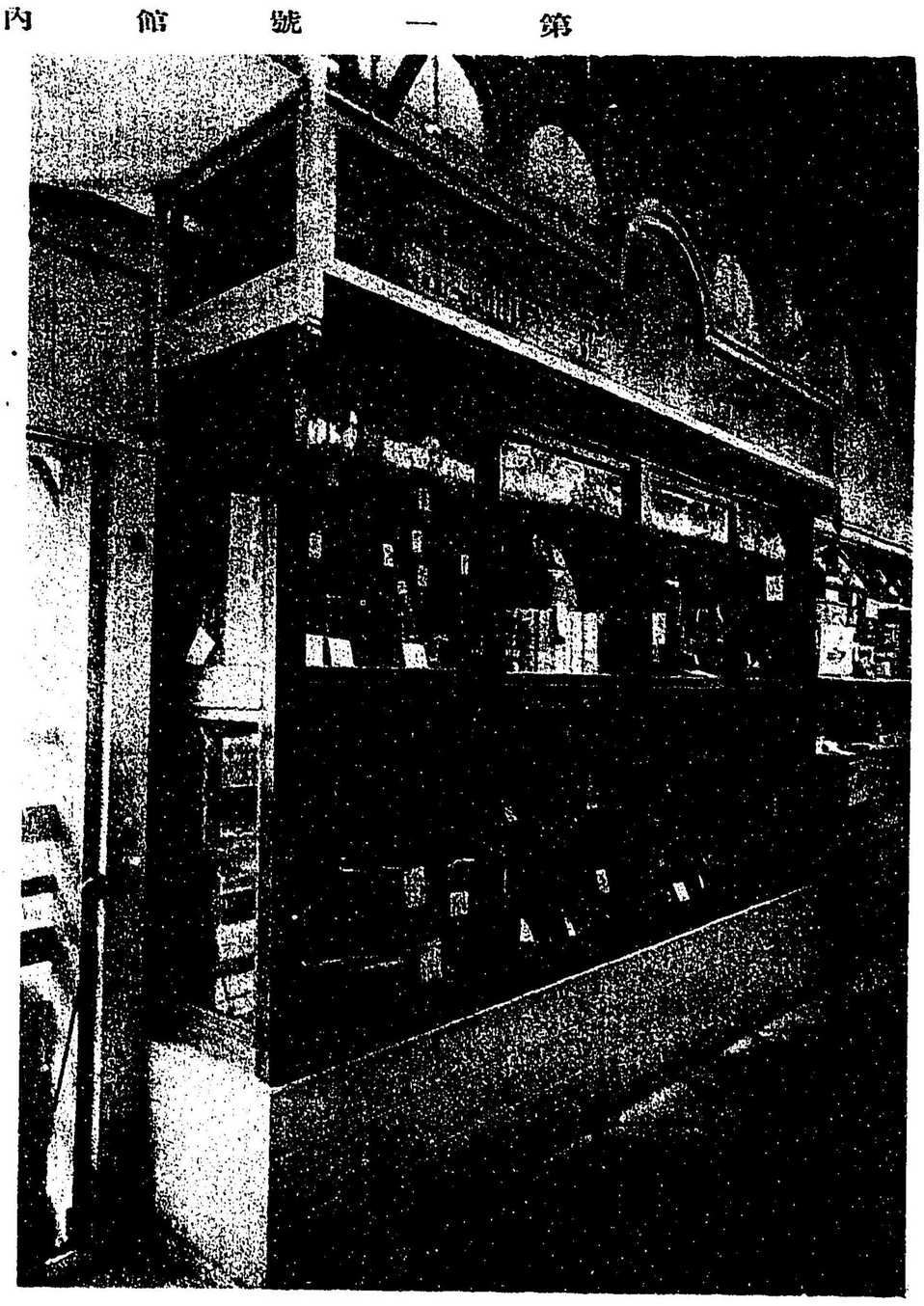
第一號館內陳列ノ光景



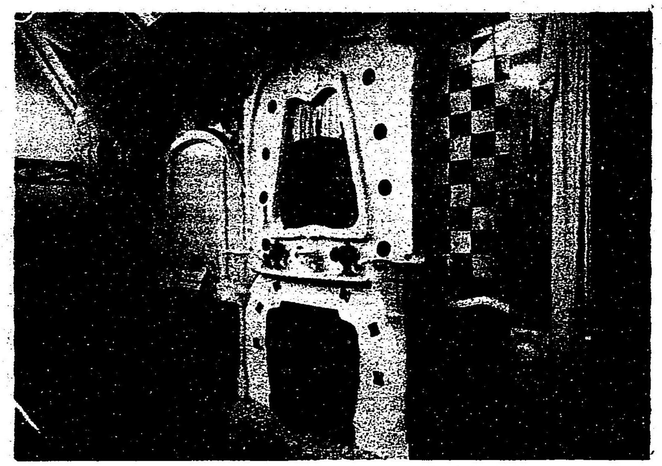
第一號館內陳列ノ光景



G.R.G
G.R.G



第一號館內陳列ノ光景



第一號館內陳列ノ光景